

第6次総合計画後期基本計画策定に係る
まちづくりアンケート調査

報告書

宮城県 柴田町

令和4年3月

◆◆ 目 次 ◆◆

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 実施概要	1
2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	4
1	あなたご自身のことについて	4
	(1) 性別	4
	(2) 年齢	5
	(3) 職業・仕事	6
	(4) 通学・勤務先	7
	(5) 居住年数	8
	(6) 居住地区	9
	(7) 同居家族	11
2	まちへの定住意向と魅力などについて	12
	(1) まちの住みやすさについて	12
	(2) まちの魅力について	14
	(3) まちの不十分なところについて	17
	(4) 定住意向について	20
3	まちの現状と今後の取り組みについて	22
	(1) 各施策の満足度・重要度について	23
	(2) まちの将来像について	53
	(3) まちに必要な公共施設について	56
4	地域公共交通について	58
	(1) 運転免許証の所持状況について	58
	(2) 自動車の所持状況について	61
	(3) 出かけ先について	63

(4) 出かけ先への移動手段について	75
(5) デマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度について	77
(6) デマンドタクシーの利用状況について	79
(7) デマンドタクシー利用の理由について	81
(8) 今後のデマンドタクシーの利用について	84
(9) デマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについて	86
(10) 日ごろの移動手段について	89
5 SDGs（持続可能な開発目標）について	91
(1) SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について	91
(2) SDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについて	93

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

第6次柴田町総合計画後期基本計画策定に係るまちづくりアンケート調査(以降、「本調査」とします。)は、新たな時代のまちづくりの指針として、第6次総合計画の後期基本計画を町民の皆様と一緒に策定するにあたり、皆様のご意見・ご要望等を収集し、計画に反映させることを目的として実施しました。

(2) 実施概要

本調査の対象及び配付、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調査対象:柴田町内にお住まいの18歳以上の方
- 抽出方法:18歳以上の町民の中から4,000名を無作為抽出
- 調査内容:新たな時代のまちづくりに関すること
 1. あなたご自身のことについて
 2. まちへの定住意向と魅力などについて
 3. まちの現状と今後の取り組みについて
 4. 地域公共交通について
 5. SDGs(持続可能な開発目標)について
 6. 自由意見について
- 調査期間:令和4年2月
- 調査方法:郵送配付・回収、WEBアンケート
- 配付・回収:

配付数 (A)	うち 不達票 (B)	有効 発送数 (A-B)	返送数 (C)	有効票			無効票	未回収 票数 (A-B-C)	回答率 C÷(A-B)
				有効票	郵送回答	WEB回答			
4,000票	6票	3,994票	1,945票	1,945	1,545票	400票	0票	2,049票	48.7%

2 集計結果を読む際の留意事項

本調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を 100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。
(※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が 100.0%とならない場合があります。)
- 複数回答の設問では、各比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。（分析の軸とした調査回答者の属性（年齢別、居住地域別など）でnが少ないもの（10人未満を目安）は、分析の対象から外す場合があります。）
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。
- 集計結果の構成比を割合で表記する際は、下記のとおりとします。
(例) 40%台

表記	4割	4割強	4割台半ば	5割近<	5割
範囲	40.0~40.9%	41.0~43.9%	44.0~45.9%	46.0~48.9%	49.0~49.9%

II 調査結果

Ⅱ 調査結果

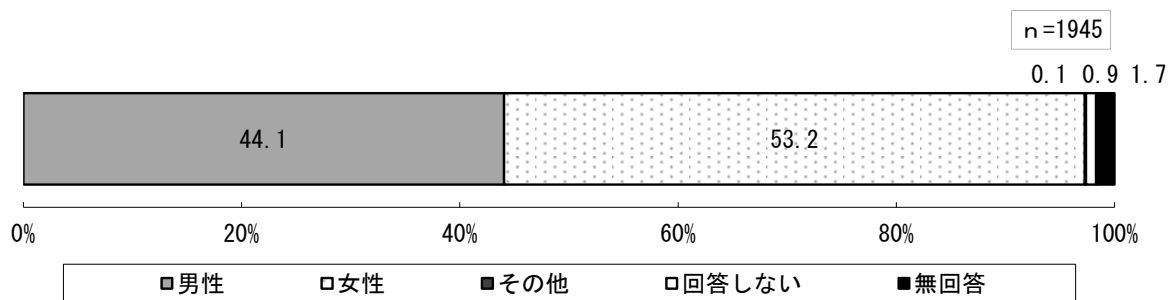
1 あなたご自身のことについて

(1) 性別

問 あなたの性別についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の性別は「男性」が44.1%、「女性」が53.2%となっています。
- 前回調査※との比較では「男性」が0.7ポイント減少、「女性」が1.9ポイント減少となっています。

図表 性別



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	男性	857	44.1%	44.8%	-0.7
2	女性	1,035	53.2%	55.1%	-1.9
3	その他	2	0.1%	-	-
4	回答しない	18	0.9%	-	-
	無回答	33	1.7%	0.1%	1.6

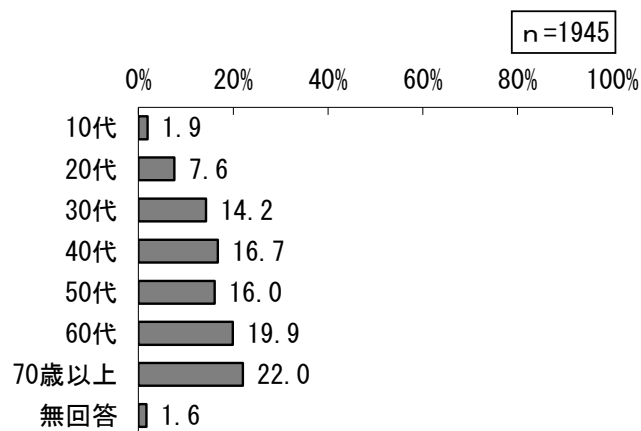
※前回調査：平成30年1月「柴田町まちづくりアンケート調査」(以下、共通)

(2) 年齢

問 あなたの年齢についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の年齢は「70歳以上」が22.0%と最も高く、「60代」が19.9%、「40代」が16.7%と続きます。
- 回答全体としては、60代以上の占める割合が4割強(41.9%)となっています。
- 前回調査との比較では「70歳以上」が4.5ポイント上昇、「60代」が10.3ポイント減少となっています。

図表 年齢



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	10代	37	1.9%	1.8%	0.1
2	20代	147	7.6%	8.2%	-0.6
3	30代	277	14.2%	12.7%	1.5
4	40代	325	16.7%	14.8%	1.9
5	50代	312	16.0%	14.6%	1.4
6	60代	387	19.9%	30.2%	-10.3
7	70歳以上	428	22.0%	17.5%	4.5
	無回答	32	1.6%	0.1%	1.5

図表 年齢(性別)

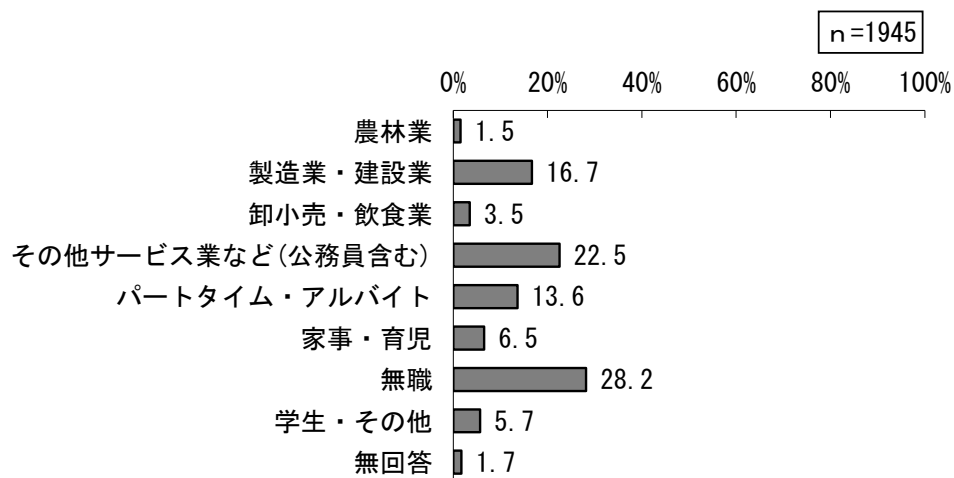
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
男性 (n=857)	2.2%	6.4%	13.0%	15.1%	15.5%	21.8%	26.0%	0.0%
女性 (n=1,035)	1.6%	8.4%	15.6%	18.4%	17.1%	19.2%	19.5%	0.2%

(3) 職業・仕事

問 あなたの職業・仕事(主たるもの)についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の職業・仕事は「無職」が 28.2%と最も高く、「その他サービス業など(公務員含む)」が 22.5%、「製造業・建設業」が 16.7%と続きます。
- 前回調査との比較では「無職」が 8.2 ポイント上昇、「家事・育児」が 12.5 ポイント減少となっています。

図表 職業・仕事



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	農林業	30	1.5%	1.2%	0.3
2	製造業・建設業	324	16.7%	14.0%	2.7
3	卸小売・飲食業	68	3.5%	2.3%	1.2
4	その他サービス業など(公務員含む)	438	22.5%	23.4%	-0.9
5	パートタイム・アルバイト	265	13.6%	13.8%	-0.2
6	家事・育児	127	6.5%	19.0%	-12.5
7	無職	548	28.2%	20.0%	8.2
8	学生・その他	111	5.7%	6.0%	-0.3
	無回答	34	1.7%	1.2%	0.5

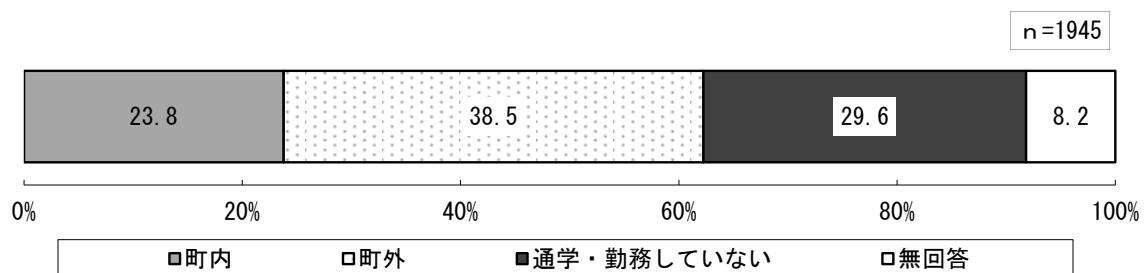
※「家事・育児」：前回調査「主婦(夫)」

(4) 通学・勤務先

問 あなたの通学・勤務先についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の通学・勤務先は「町外」が 38.5%と最も高く、「通学・勤務していない」が 29.6%、「町内」が 23.8%と続きます。
- 前回調査との比較では「町内」が 1.5 ポイント上昇、「町外」が 1.1 ポイント上昇、「通学・勤務していない」が 6.0 ポイント減少となっています。

図表 通学・勤務先



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	町内	463	23.8%	22.3%	1.5
2	町外	748	38.5%	37.4%	1.1
3	通学・勤務していない	575	29.6%	35.6%	-6.0
	無回答	159	8.2%	4.8%	3.4

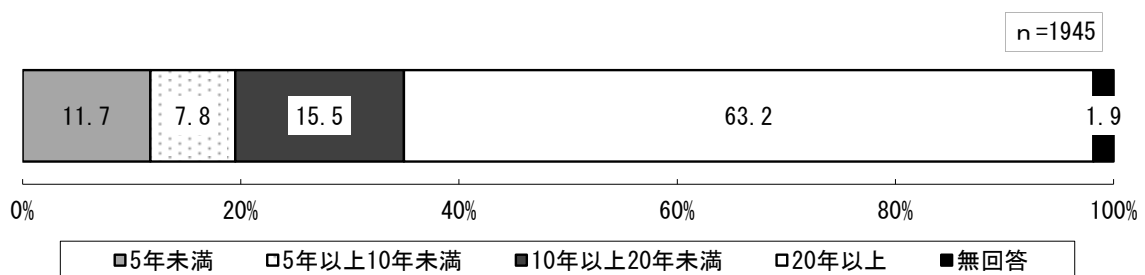
※「通学・勤務していない」：前回調査「通学・通勤していない」

(5) 居住年数

問 あなたの居住年数(通算して)についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の居住年数は「20年以上」が63.2%と最も高く、「10年以上20年未満」が15.5%、「5年未満」が11.7%と続きます。
- 前回調査との比較では「5年未満」が1.5ポイント上昇、「20年以上」が3.2ポイント減少となっています。

図表 居住年数



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	5年未満	228	11.7%	10.2%	1.5
2	5年以上10年未満	151	7.8%	8.2%	-0.4
3	10年以上20年未満	301	15.5%	15.2%	0.3
4	20年以上	1,229	63.2%	66.4%	-3.2
	無回答	36	1.9%	0.1%	1.8

図表 居住年数(性別・年齢別)

	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
男性 (n=857)	10.2%	6.2%	12.7%	70.6%	0.4%
女性 (n=1,035)	12.8%	9.5%	18.4%	59.1%	0.3%
10代 (n=37)	32.4%	2.7%	64.9%	0.0%	0.0%
20代 (n=147)	36.7%	8.8%	14.3%	39.5%	0.7%
30代 (n=277)	24.9%	20.2%	17.0%	37.2%	0.7%
40代 (n=325)	14.5%	12.6%	31.4%	41.5%	0.0%
50代 (n=312)	6.4%	6.7%	18.3%	68.3%	0.3%
60代 (n=387)	4.9%	2.8%	7.0%	85.3%	0.0%
70歳以上 (n=428)	1.6%	1.9%	5.1%	90.9%	0.5%

図表 居住年数（居住地区別）

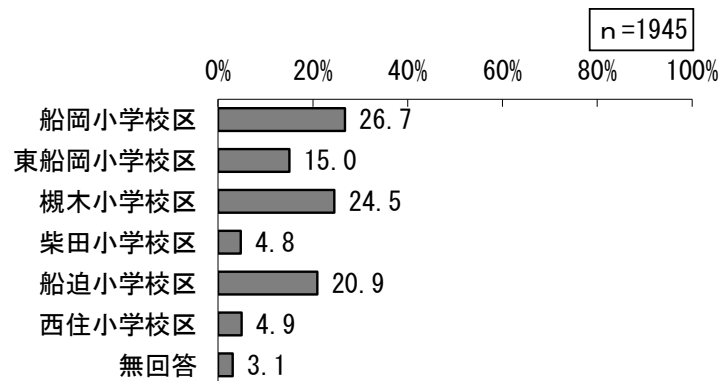
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答
船岡小学校区（n=520）	15.6%	7.7%	19.6%	56.9%	0.2%
東船岡小学校区（n=292）	8.2%	8.6%	14.7%	68.2%	0.3%
槻木小学校区（n=477）	10.7%	9.0%	14.5%	65.6%	0.2%
柴田小学校区（n=93）	9.7%	5.4%	11.8%	73.1%	0.0%
船迫小学校区（n=407）	9.8%	6.4%	14.3%	69.5%	0.0%
西住小学校区（n=96）	16.7%	12.5%	15.6%	54.2%	1.0%

（6）居住地区

問 あなたの居住地区についてあてはまるものをお選びください。（1つに○）

- 回答者の居住地区は「船岡小学校区」が 26.7%と最も高く、「槻木小学校区」が 24.5%、「船迫小学校区」が 20.9%と続きます。
- 前回調査との比較では「柴田小学校区」が 0.8 ポイント上昇、「槻木小学校区」が 2.0 ポイント減少となっています。

図表 居住地区



（今回：n=1,945、前回：n=1,832）

		回答数	構成比	前回値	比較
1	船岡小学校区	520	26.7%	27.3%	-0.6
2	東船岡小学校区	292	15.0%	14.7%	0.3
3	槻木小学校区	477	24.5%	26.5%	-2.0
4	柴田小学校区	93	4.8%	4.0%	0.8
5	船迫小学校区	407	20.9%	20.8%	0.1
6	西住小学校区	96	4.9%	4.4%	0.5
	無回答	60	3.1%	2.2%	0.9

図表 居住地区（性別・年齢別）

	船岡 小学校区	東船岡 小学校区	槻木 小学校区	柴田 小学校区	船迫 小学校区	西住 小学校区	無回答
男性 (n=857)	26.3%	15.5%	25.3%	6.7%	19.8%	5.6%	0.8%
女性 (n=1,035)	27.7%	15.1%	24.8%	3.4%	22.5%	4.3%	2.1%
10代 (n=37)	29.7%	16.2%	27.0%	2.7%	21.6%	2.7%	0.0%
20代 (n=147)	34.0%	12.9%	30.6%	2.7%	12.9%	4.8%	2.0%
30代 (n=277)	29.6%	14.8%	23.1%	5.4%	20.6%	5.8%	0.7%
40代 (n=325)	30.2%	12.3%	25.5%	3.4%	20.6%	7.4%	0.6%
50代 (n=312)	29.8%	16.7%	25.0%	5.1%	17.6%	4.5%	1.3%
60代 (n=387)	24.5%	18.3%	23.8%	5.9%	21.4%	4.1%	1.8%
70歳以上 (n=428)	21.0%	14.7%	24.5%	5.4%	27.3%	4.2%	2.8%

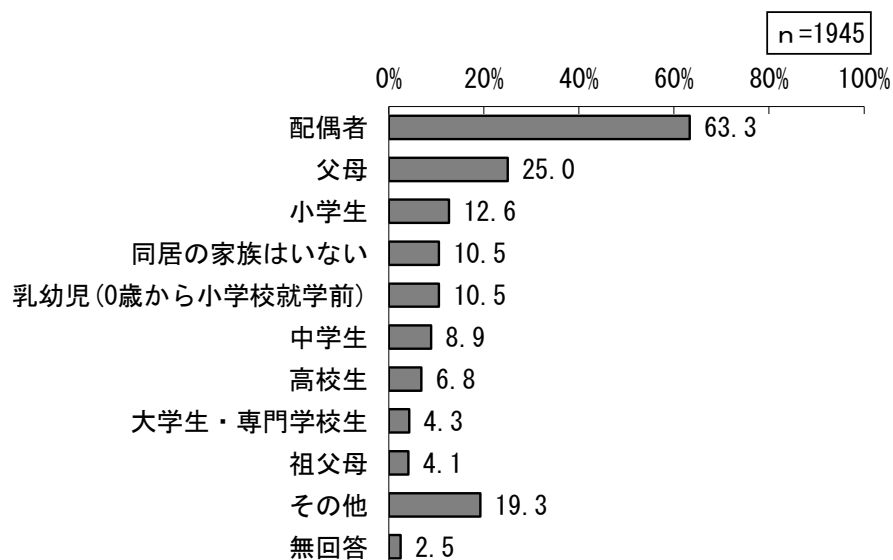
(7) 同居家族

問 あなたの家族構成(同居のご家族)についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 回答者の同居家族は「配偶者」が 63.3%と最も高く、「父母」が 25.0%、「小学生」が 12.6%と続きます。
- 前回調査との比較では「父母」が 2.3 ポイント上昇、「配偶者」が 1.8 ポイント減少となっています。

図表 同居家族

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	同居の家族はいない	205	10.5%	10.3%	0.2
2	配偶者	1,231	63.3%	65.1%	-1.8
3	乳幼児(0歳から小学校就学前)	205	10.5%	10.3%	0.2
4	小学生	246	12.6%	11.2%	1.4
5	中学生	173	8.9%	6.7%	2.2
6	高校生	133	6.8%	6.2%	0.6
7	大学生・専門学校生	83	4.3%	4.4%	-0.1
8	父母	486	25.0%	22.7%	2.3
9	祖父母	80	4.1%	5.2%	-1.1
10	その他	375	19.3%	22.5%	-3.2
	無回答	48	2.5%	0.0%	2.5

※「父母」：前回調査「両親」

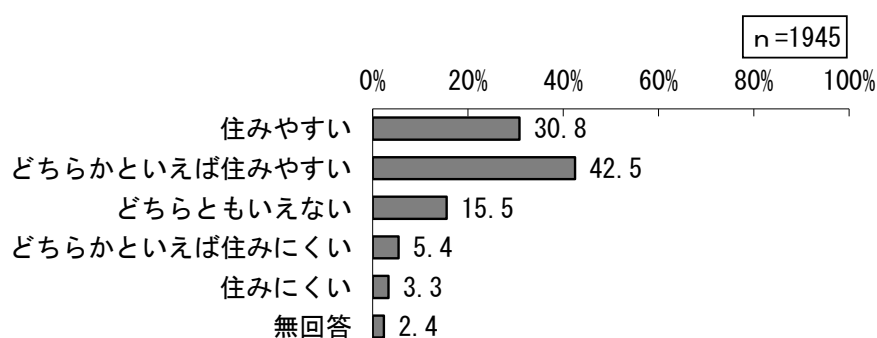
2 まちへの定住意向と魅力などについて

(1) まちの住みやすさについて

問 あなたは、全体的にみて柴田町は住みやすいと思いますか。(1つに○)

- まちの住みやすさについては「どちらかといえば住みやすい」が42.5%と最も高くなっています。
- 「住みやすい」(30.8%)、「どちらかといえば住みやすい」(42.5%)を合わせた7割強(73.3%)の方は“住みやすい”※と感じている一方で、「どちらかといえば住みにくい」(5.4%)、「住みにくい」(3.3%)を合わせた1割近く(8.7%)の方は“住みにくい”※と感じています。
- 前回調査との比較では「住みにくい」が1.1ポイント上昇、「住みやすい」が2.0ポイント減少となっています。

図表 まちの住みやすさについて



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	住みやすい	600	30.8%	32.8%	-2.0
2	どちらかといえば住みやすい	826	42.5%	42.5%	0.0
3	どちらともいえない	302	15.5%	15.7%	-0.2
4	どちらかといえば住みにくい	106	5.4%	5.2%	0.2
5	住みにくい	65	3.3%	2.2%	1.1
	無回答	46	2.4%	1.6%	0.8

※“住みやすい”：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方

※“住みにくい”：「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方

- 性別によるまちの住みやすさについてみると、男女とも回答全体と同様に「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの住みやすさについてみると、各年代とも回答全体と同様に「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。

図表 まちの住みやすさについて（性別・年齢別）

	“住みやすい”		どちらとも いえない	“住みにくい”		無回答
	住みやすい	どちらか といえば 住みやすい		どちらか といえば 住みにくい	住みにくい	
男性 (n=857)	34.0%	40.1%	16.1%	6.4%	2.9%	0.5%
女性 (n=1,035)	29.5%	45.9%	15.2%	4.8%	3.5%	1.2%
10代 (n=37)	24.3%	43.2%	13.5%	10.8%	8.1%	0.0%
20代 (n=147)	25.9%	47.6%	13.6%	6.1%	5.4%	1.4%
30代 (n=277)	27.4%	46.9%	14.4%	7.6%	3.2%	0.4%
40代 (n=325)	28.0%	46.2%	16.3%	5.5%	3.4%	0.6%
50代 (n=312)	34.6%	42.3%	14.4%	4.2%	3.8%	0.6%
60代 (n=387)	31.5%	41.9%	17.6%	5.2%	2.8%	1.0%
70歳以上 (n=428)	36.2%	38.8%	16.6%	4.9%	2.1%	1.4%

※“住みやすい”：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方

※“住みにくい”：「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方

- 居住地区別によるまちの住みやすさについてみると、各地区とも回答全体と同様に「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。

図表 まちの住みやすさについて（居住地区別）

	“住みやすい”		どちらとも いえない	“住みにくい”		無回答
	住みやすい	どちらか といえば 住みやすい		どちらか といえば 住みにくい	住みにくい	
船岡小学校区 (n=520)	37.3%	42.1%	14.0%	3.7%	2.1%	0.8%
東船岡小学校区 (n=292)	35.6%	39.7%	15.8%	6.5%	2.4%	0.0%
槻木小学校区 (n=477)	25.6%	45.3%	16.6%	7.1%	4.4%	1.0%
柴田小学校区 (n=93)	31.2%	39.8%	17.2%	8.6%	3.2%	0.0%
船迫小学校区 (n=407)	30.2%	45.0%	16.0%	4.7%	2.9%	1.2%
西住小学校区 (n=96)	21.9%	45.8%	18.8%	5.2%	8.3%	0.0%

※“住みやすい”：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方

※“住みにくい”：「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方

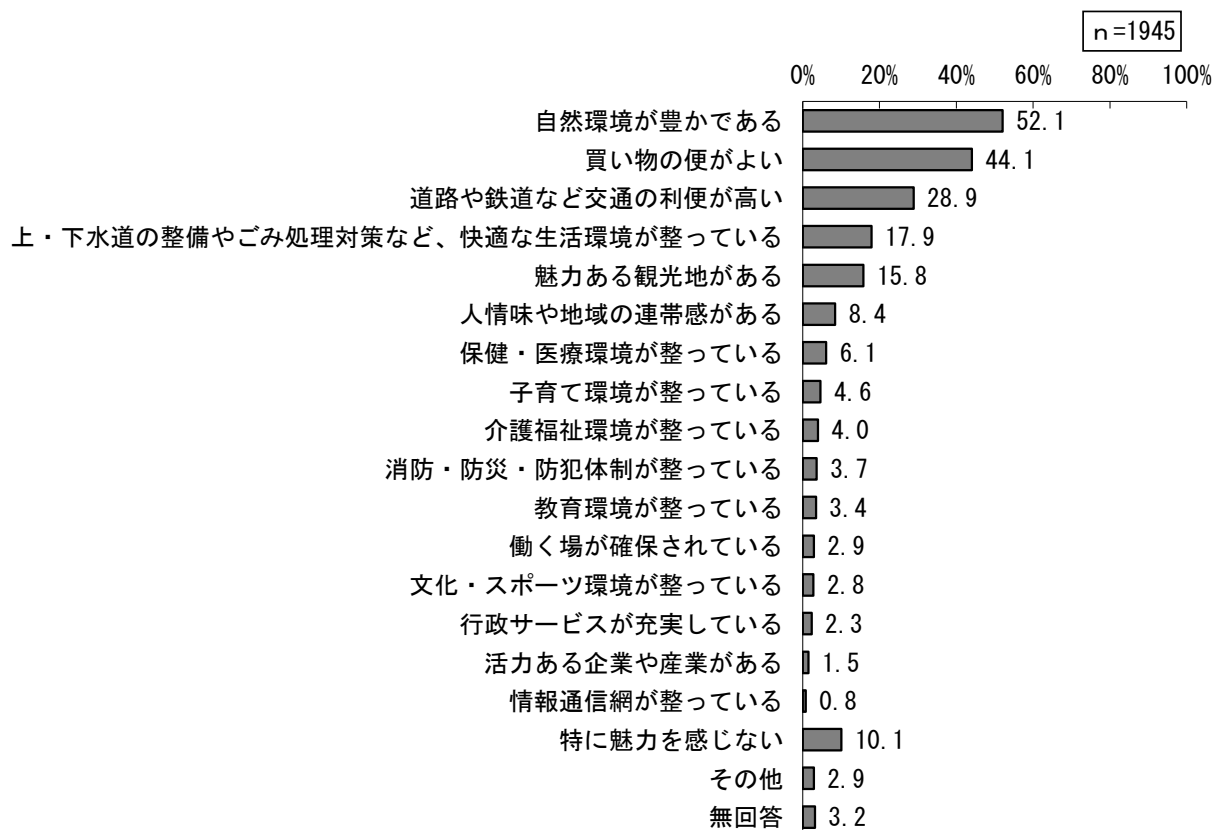
(2) まちの魅力について

問 あなたは、柴田町のどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○)

- まちの魅力については、「自然環境が豊かである」が 52.1%と最も高く、「買い物の便がよい」が 44.1%、「道路や鉄道など交通の利便が高い」が 28.9%と続きます。
- 前回調査との比較では「買い物の便がよい」が 6.1 ポイント上昇、「上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている」が 2.6 ポイント減少となっています。

図表 まちの魅力について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自然環境が豊かである	1,013	52.1%	54.2%	-2.1
2	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている	348	17.9%	20.5%	-2.6
3	道路や鉄道など交通の利便が高い	562	28.9%	28.8%	0.1
4	情報通信網が整っている	16	0.8%	0.8%	0.0
5	消防・防災・防犯体制が整っている	71	3.7%	4.7%	-1.0
6	保健・医療環境が整っている	118	6.1%	5.0%	1.1
7	介護福祉環境が整っている	77	4.0%	4.5%	-0.5
8	子育て環境が整っている	90	4.6%	3.4%	1.2
9	教育環境が整っている	67	3.4%	3.0%	0.4
10	文化・スポーツ環境が整っている	54	2.8%	3.4%	-0.6
11	活力ある企業や産業がある	29	1.5%	3.0%	-1.5
12	買い物の便がよい	857	44.1%	38.0%	6.1
13	働く場が確保されている	56	2.9%	2.3%	0.6
14	人情味や地域の連帯感がある	164	8.4%	10.9%	-2.5
15	行政サービスが充実している	45	2.3%	1.6%	0.7
16	魅力ある観光地がある	308	15.8%	14.8%	1.0
17	特に魅力を感じない	196	10.1%	12.8%	-2.7
18	その他	56	2.9%	3.1%	-0.2
	無回答	62	3.2%	2.7%	0.5

- 性別によるまちの魅力についてみると、男女とも回答全体と同様に「自然環境が豊かである」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの魅力についてみると、各年代とも「自然環境が豊かである」、「買い物の便がよい」、「道路や鉄道など交通の利便が高い」を上位に挙げています。
- そのほか 10代～50代は「魅力ある観光地がある」、60代以上は「上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている」を上位に挙げています。

図表 まちの魅力について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	48.3%	43.5%	33.7%
女性 (n=1,035)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	57.0%	46.5%	26.2%
10代 (n=37)	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い 魅力ある観光地がある	買い物の便がよい
	62.2%	21.6%	18.9%
20代 (n=147)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	魅力ある観光地がある
	46.9%	38.1%	22.4%

	第1位	第2位	第3位
30代 (n=277)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	48.4%	45.5%	24.5%
40代 (n=325)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	49.5%	47.7%	32.9%
50代 (n=312)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	53.2%	44.6%	29.5%
60代 (n=387)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	57.6%	43.4%	33.6%
70歳以上 (n=428)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	55.4%	47.9%	30.4%

- 居住地区別によるまちの魅力についてみると、各地区とも「自然環境が豊かである」、「買い物の便がよい」、「道路や鉄道など交通の利便が高い」を上位に挙げています。
- そのほか船岡小学校区、槻木小学校区、船迫小学校区は「上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている」を上位に挙げています。

図表 まちの魅力について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	買い物の便がよい	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い
	52.3%	51.9%	33.1%
東船岡小学校区 (n=292)	買い物の便がよい	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い
	61.0%	46.9%	18.5%
槻木小学校区 (n=477)	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い	買い物の便がよい
	53.0%	33.8%	24.7%
柴田小学校区 (n=93)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	63.4%	29.0%	23.7%
船迫小学校区 (n=407)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	58.0%	50.9%	31.4%
西住小学校区 (n=96)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	45.8%	37.5%	22.9%

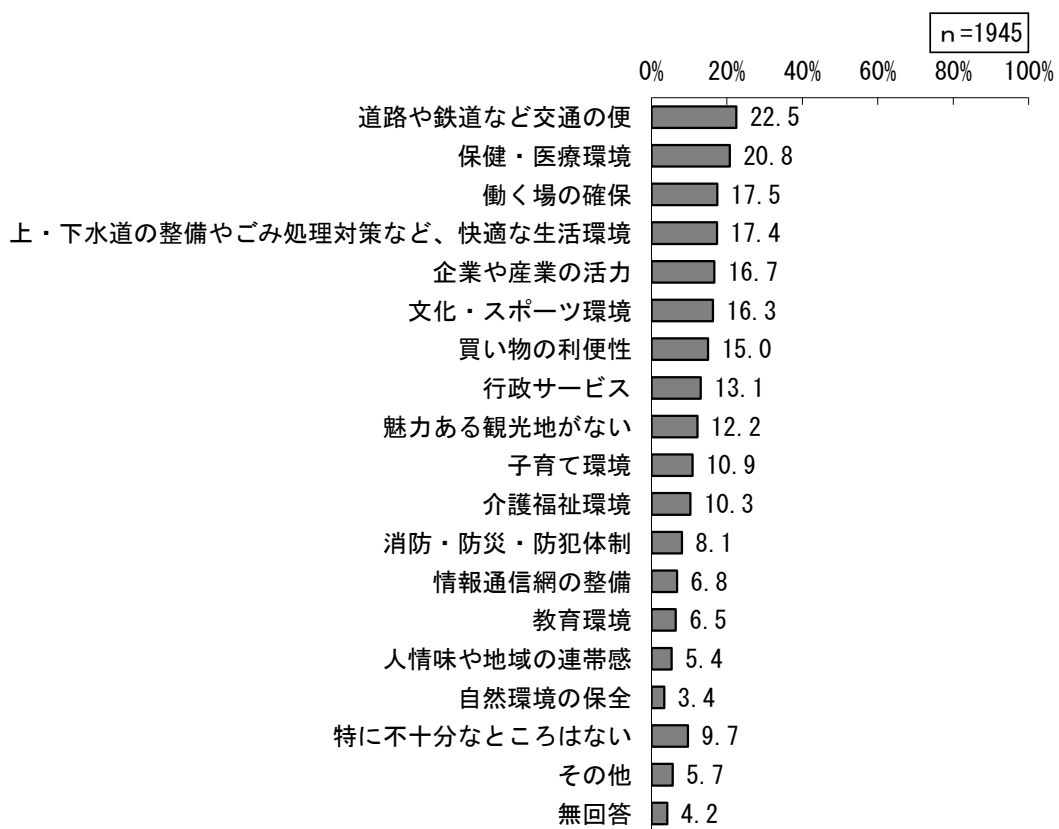
(3) まちの不十分なところについて

問 あなたは、柴田町のどのようなところが不十分だと思いますか。(3つまで○)

- まちの不十分なところについては、「道路や鉄道など交通の便」が 22.5%と最も高く、「保健・医療環境」が 20.8%、「働く場の確保」が 17.5%と続きます。
- 前回調査との比較では「消防・防災・防犯体制」が 2.4 ポイント上昇、「介護福祉環境」が 4.6 ポイント減少となっています。

図表 まちの不十分なところについて

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自然環境の保全	66	3.4%	2.9%	0.5
2	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境	338	17.4%	19.0%	-1.6
3	道路や鉄道など交通の便	438	22.5%	22.2%	0.3
4	情報通信網の整備	132	6.8%	6.0%	0.8
5	消防・防災・防犯体制	157	8.1%	5.7%	2.4
6	保健・医療環境	404	20.8%	20.2%	0.6
7	介護福祉環境	201	10.3%	14.9%	-4.6
8	子育て環境	212	10.9%	10.7%	0.2
9	教育環境	126	6.5%	5.8%	0.7
10	文化・スポーツ環境	317	16.3%	16.2%	0.1
11	企業や産業の活力	325	16.7%	15.1%	1.6
12	買い物の利便性	292	15.0%	16.9%	-1.9
13	働く場の確保	340	17.5%	19.3%	-1.8
14	人情味や地域の連帯感	105	5.4%	6.7%	-1.3
15	行政サービス	255	13.1%	11.6%	1.5
16	魅力ある観光地がない	237	12.2%	14.5%	-2.3
17	特に不十分なところはない	188	9.7%	8.9%	0.8
18	その他	110	5.7%	5.4%	0.3
	無回答	82	4.2%	3.7%	0.5

- 性別によるまちの不十分なところについてみると、男性は回答全体と同様に「道路や鉄道など交通の便」(21.9%)、女性は「保健・医療環境」(24.3%)が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの不十分なところについてみると、各年代とも「道路や鉄道など交通の便」を上位に挙げています。
- そのほか 10代~60代は「働く場の確保」、30代は「子育て環境」、40代以上は「保健・医療環境」を上位に挙げています。

図表 まちの不十分なところについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	道路や鉄道など交通の便	企業や産業の活力	働く場の確保
	21.9%	21.0%	19.5%
女性 (n=1,035)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境
	24.3%	23.6%	18.6%
10代 (n=37)	道路や鉄道など交通の便	買い物の利便性	文化・スポーツ環境
	35.1%	27.0%	21.6%

	第1位	第2位	第3位
20代 (n=147)	道路や鉄道など交通の便	買い物の利便性	働く場の確保
	33.3%	21.1%	19.0%
30代 (n=277)	道路や鉄道など交通の便	子育て環境	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境
	24.2%	23.1%	20.6%
40代 (n=325)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境
	22.8%	22.5%	19.4%
50代 (n=312)	道路や鉄道など交通の便	保健・医療環境	働く場の確保
	24.4%	21.2%	19.9%
60代 (n=387)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	企業や産業の活力
	24.3%	20.4%	19.4%
70歳以上 (n=428)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	企業や産業の活力
	22.0%	18.7%	18.5%

- 居住地区別によるまちの不十分なところについてみると、多くの地区で「道路や鉄道など交通の便」、「保健・医療環境」が上位に挙がっています。
- そのほか槻木小学校区、柴田小学校区、西住小学校区は「買い物の利便性」を上位に挙げています。

図表 まちの不十分なところについて（居住地区別：上位3項目）

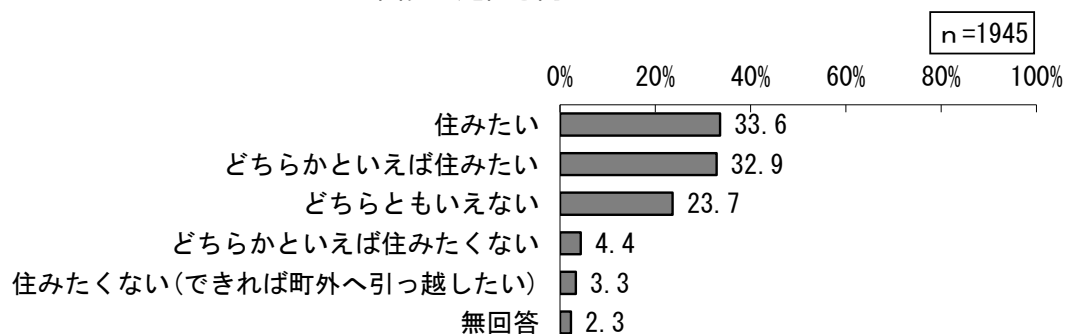
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	文化・スポーツ環境
	22.9%	19.6%	17.5%
東船岡小学校区 (n=292)	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境	道路や鉄道など交通の便	保健・医療環境
	32.9%	30.8%	18.8%
槻木小学校区 (n=477)	買い物の利便性	道路や鉄道など交通の便	働く場の確保
	23.1%	22.4%	21.6%
柴田小学校区 (n=93)	道路や鉄道など交通の便	働く場の確保	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境 買い物の利便性
	32.3%	25.8%	19.4%
船迫小学校区 (n=407)	保健・医療環境	文化・スポーツ環境	道路や鉄道など交通の便
	24.3%	20.9%	20.6%
西住小学校区 (n=96)	保健・医療環境	文化・スポーツ環境	買い物の利便性
	25.0%	20.8%	19.8%

(4) 定住意向について

問 あなたは、これからも柴田町に住みたいと思いますか。(1つに○)

- 定住意向については、「住みたい」が33.6%と最も高くなっています。
- 「住みたい」(33.6%)、「どちらかといえば住みたい」(32.9%)を合わせた7割近く(66.5%)の方は“住みたい”^{*}と感じている一方で、「どちらかといえば住みたくない」(4.4%)、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」(3.3%)を合わせた1割近く(7.7%)の方は“住みたくない”^{*}と感じています。
- 前回調査との比較では「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」がともに1.0ポイント上昇、「住みたい」が2.7ポイント減少となっています。

図表 定住意向について



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	住みたい	653	33.6%	36.3%	-2.7
2	どちらかといえば住みたい	639	32.9%	31.9%	1.0
3	どちらともいえない	460	23.7%	22.7%	1.0
4	どちらかといえば住みたくない	85	4.4%	4.4%	0.0
5	住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)	64	3.3%	3.9%	-0.6
	無回答	44	2.3%	0.9%	1.4

※“住みたい”：「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した方

※“住みたくない”：「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」と回答した方

- 性別による定住意向についてみると、男性は回答全体と同様に「住みたい」(37.9%)、女性は「どちらかといえば住みたい」(35.9%)が最も高くなっています。
- 年齢別による定住意向についてみると、10代は「どちらともいえない」、20代~40代は「どちらかといえば住みたい」、50代以上は「住みたい」が最も高くなっています。

図表 定住意向について(性別・年齢別)

	“住みたい”		どちらとも いえない	“住みにくい”		無回答
	住みたい	どちらかといえば 住みたい		どちらかといえば 住みたくない	住みたく ない	
男性 (n=857)	37.9%	30.2%	23.8%	4.6%	3.0%	0.5%
女性 (n=1,035)	31.6%	35.9%	23.8%	4.3%	3.4%	1.0%
10代 (n=37)	13.5%	27.0%	48.6%	5.4%	5.4%	0.0%
20代 (n=147)	16.3%	38.1%	31.3%	10.9%	2.7%	0.7%
30代 (n=277)	23.8%	38.6%	27.1%	3.6%	6.5%	0.4%
40代 (n=325)	31.1%	36.6%	25.5%	2.5%	3.4%	0.9%
50代 (n=312)	35.9%	32.7%	21.8%	5.1%	3.2%	1.3%
60代 (n=387)	38.5%	34.4%	19.9%	4.7%	2.1%	0.5%
70歳以上 (n=428)	45.8%	25.9%	21.5%	3.5%	2.3%	0.9%

※“住みたい”：「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した方

※“住みたくない”：「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」と回答した方

- 居住地区別による定住意向についてみると、槻木小学校区、西住小学校区は「どちらかといえば住みたい」、そのほかの地区は「住みたい」が最も高くなっています。

図表 定住意向について(居住地区別)

	“住みたい”		どちらとも いえない	“住みにくい”		無回答
	住みたい	どちらかといえば 住みたい		どちらかといえば 住みたくない	住みたく ない	
船岡小学校区 (n=520)	39.2%	34.4%	20.4%	2.9%	2.5%	0.6%
東船岡小学校区 (n=292)	37.7%	28.4%	24.7%	5.8%	3.1%	0.3%
槻木小学校区 (n=477)	26.8%	34.6%	27.3%	5.9%	4.2%	1.3%
柴田小学校区 (n=93)	40.9%	28.0%	20.4%	5.4%	5.4%	0.0%
船迫小学校区 (n=407)	36.1%	33.9%	23.3%	3.4%	2.7%	0.5%
西住小学校区 (n=96)	20.8%	35.4%	32.3%	5.2%	6.3%	0.0%

※“住みたい”：「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した方

※“住みたくない”：「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」と回答した方

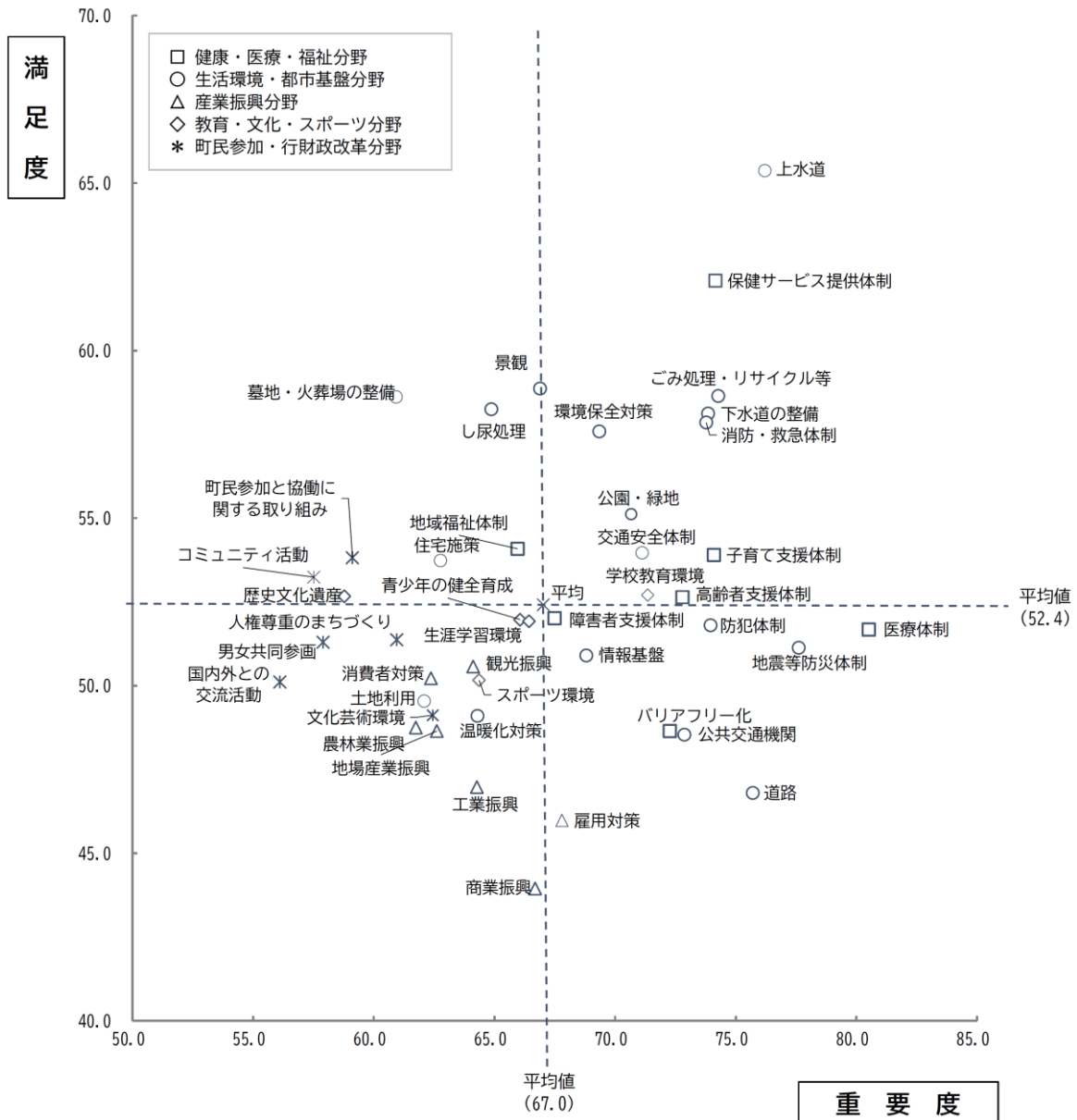
3 まちの現状と今後の取り組みについて

まちの現状と今後の取り組みについては、回答の構成比に加え、満足度×重要度アンケート調査の結果から、本町がこれまで進めてきた46の施策に対する満足度・重要度を点数化し、分布図に示します。

満足度・重要度の点数化にあたっては、各施策に対する回答をつぎのとおり点数化し、無回答を除いて回答者の平均値を算出します。

満足度	重要度
満足している (100点)	重視する (100点)
どちらかといえば満足している (75点)	やや重視する (75点)
どちらともいえない (50点)	どちらともいえない (50点)
どちらかといえば不満である (25点)	あまり重視しない (25点)
不満である (0点)	重視しない (0点)

図表 各施策の満足度×重要度 (全体)



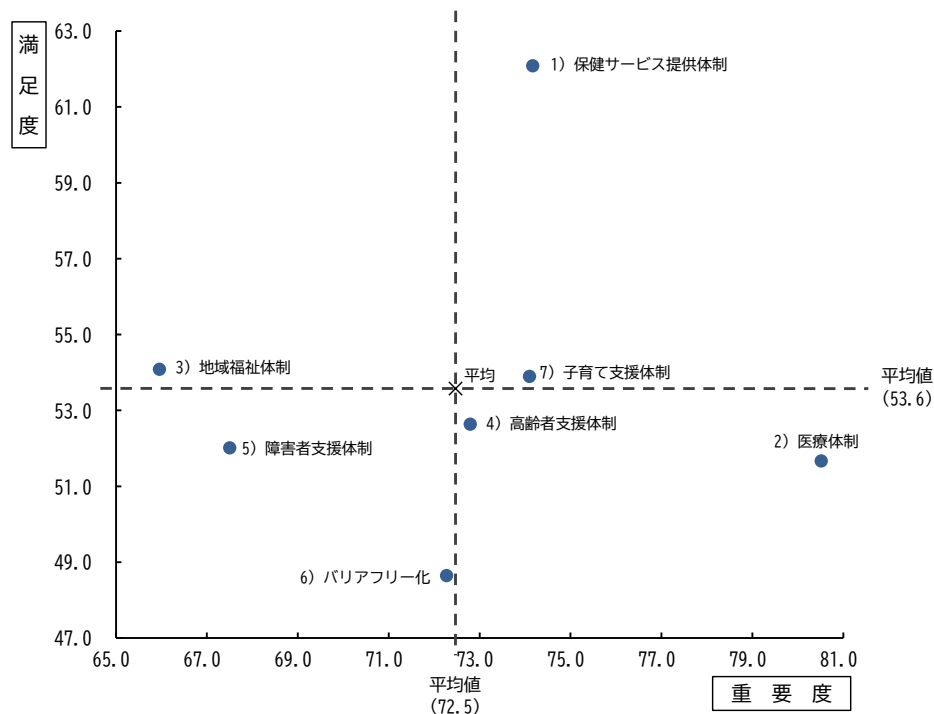
(1) 各施策の満足度・重要度について

問 柴田町では、第6次総合計画前期基本計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目について満足度・重要度をおたずねします。
(満足度・重要度それぞれ1つに○)

① 保健・医療・福祉の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「保健サービス提供体制」、重要度は「医療体制」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「子育て支援体制」の満足度が 3.75 ポイント上昇、「医療体制」の重要度が 0.29 ポイント上昇となっています。

図表 保健・医療・福祉分野の満足度×重要度

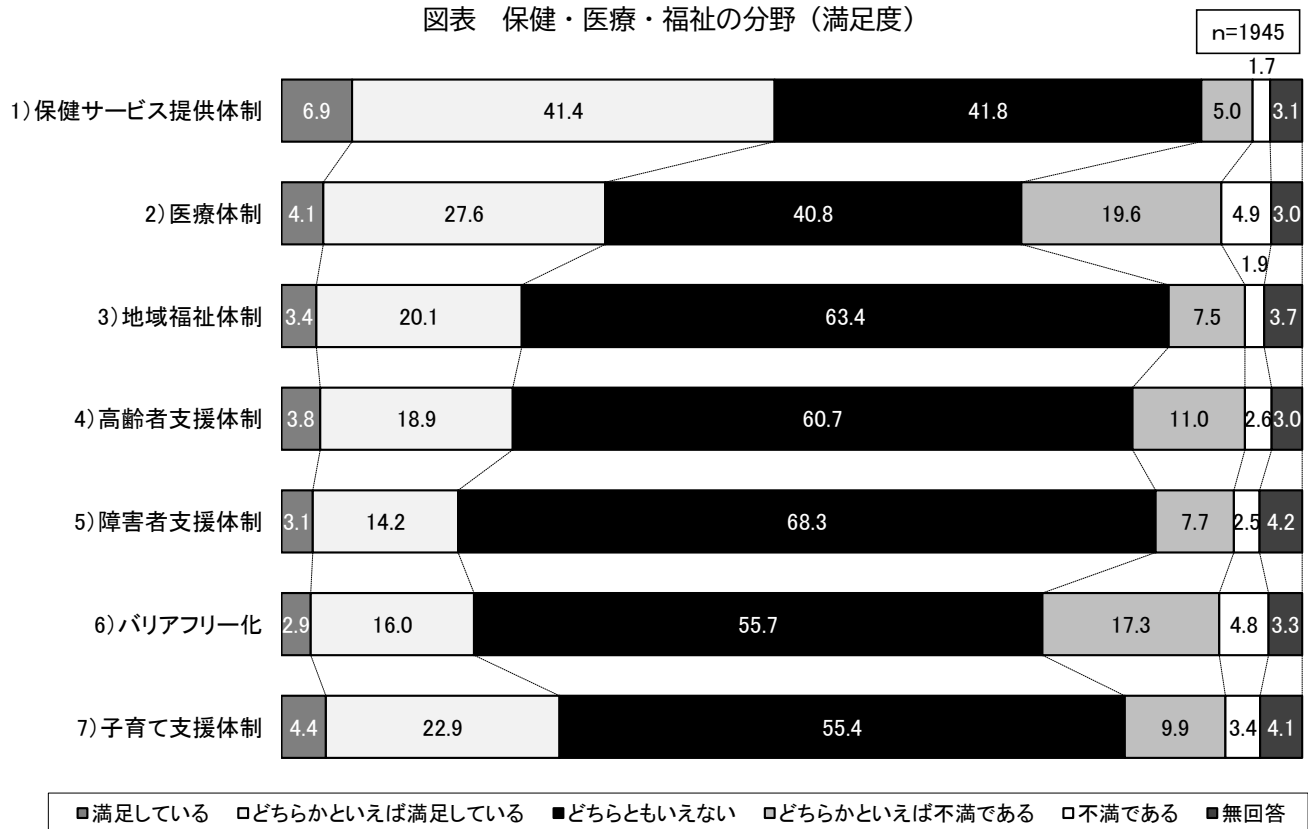


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	保健サービス提供体制（健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等）	62.09	74.17	60.72	74.73	1.37	-0.56
2	医療体制（地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等）	51.67	80.52	52.12	80.23	-0.45	0.29
3	地域福祉体制（地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等）	54.08	65.96	53.12	67.21	0.96	-1.25
4	高齢者支援体制（福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等）	52.64	72.79	50.42	74.50	2.22	-1.71
5	障害者支援体制（障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等）	52.01	67.50	50.63	68.90	1.38	-1.40
6	バリアフリー化（段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等）	48.64	72.27	45.83	73.09	2.81	-0.82
7	子育て支援体制（保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等）	53.90	74.10	50.15	74.45	3.75	-0.35

◎保健・医療・福祉の分野（満足度）

- 保健・医療・福祉の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「保健サービス提供体制」（48.3%）、「医療体制」（31.7%）、「子育て支援体制」（27.3%）が上位にあります。
- 保健・医療・福祉の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「医療体制」（24.5%）、「バリアフリー化」（22.1%）、「高齢者支援体制」（13.6%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「保健サービス提供体制」に対する「どちらかといえば満足している」が6.9ポイント上昇、「子育て支援体制」に対する「どちらかといえば不満である」が4.2ポイント減少となっています。

図表 保健・医療・福祉の分野（満足度）



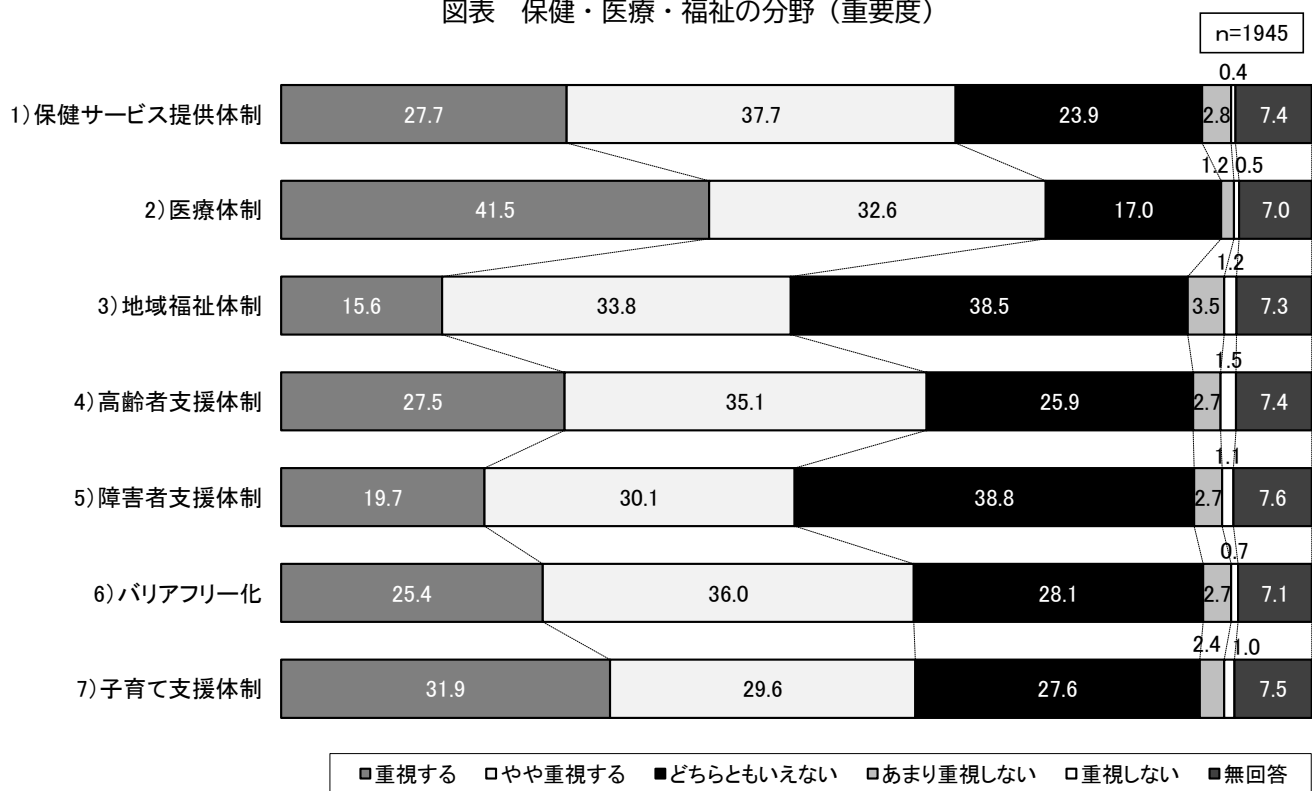
(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	保健サービス提供体制（健康 診査、健康相談の充実、健康 づくりの充実等）	1	満足している	135	6.9%	9.3%	-2.4
		2	どちらかといえば満足している	805	41.4%	34.5%	6.9
		3	どちらともいえない	813	41.8%	46.4%	-4.6
		4	どちらかといえば不満である	98	5.0%	6.4%	-1.4
		5	不満である	33	1.7%	2.2%	-0.5
			無回答	61	3.1%	1.3%	1.8
2	医療体制（地域医療体制の充 実、救急医療体制の充実等）	1	満足している	80	4.1%	5.9%	-1.8
		2	どちらかといえば満足している	537	27.6%	26.1%	1.5
		3	どちらともいえない	793	40.8%	42.5%	-1.7
		4	どちらかといえば不満である	381	19.6%	18.1%	1.5
		5	不満である	95	4.9%	5.8%	-0.9
			無回答	59	3.0%	1.6%	1.4
3	地域福祉体制（地域における 福祉活動の促進、福祉ボラン ティアの育成等）	1	満足している	67	3.4%	3.5%	-0.1
		2	どちらかといえば満足している	391	20.1%	18.2%	1.9
		3	どちらともいえない	1,233	63.4%	65.3%	-1.9
		4	どちらかといえば不満である	145	7.5%	8.7%	-1.2
		5	不満である	37	1.9%	2.2%	-0.3
			無回答	72	3.7%	2.0%	1.7
4	高齢者支援体制（福祉・介護 サービスの充実、生きがい 対策の充実等）	1	満足している	74	3.8%	3.4%	0.4
		2	どちらかといえば満足している	367	18.9%	16.9%	2.0
		3	どちらともいえない	1,181	60.7%	60.2%	0.5
		4	どちらかといえば不満である	214	11.0%	13.5%	-2.5
		5	不満である	51	2.6%	4.3%	-1.7
			無回答	58	3.0%	1.8%	1.2
5	障害者支援体制（障害者への 福祉サービスの充実、社会参 加の促進等）	1	満足している	60	3.1%	3.1%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	277	14.2%	13.3%	0.9
		3	どちらともいえない	1,329	68.3%	67.6%	0.7
		4	どちらかといえば不満である	149	7.7%	10.2%	-2.5
		5	不満である	49	2.5%	3.4%	-0.9
			無回答	81	4.2%	2.3%	1.9
6	バリアフリー化（段差の解消、 だれもが使いやすい施設の整 備等）	1	満足している	56	2.9%	1.9%	1.0
		2	どちらかといえば満足している	311	16.0%	12.2%	3.8
		3	どちらともいえない	1,083	55.7%	57.1%	-1.4
		4	どちらかといえば不満である	337	17.3%	20.4%	-3.1
		5	不満である	94	4.8%	5.9%	-1.1
			無回答	64	3.3%	2.4%	0.9
7	子育て支援体制（保育・相談 の充実、交流場の提供、子ど も医療費助成等）	1	満足している	85	4.4%	3.7%	0.7
		2	どちらかといえば満足している	445	22.9%	18.0%	4.9
		3	どちらともいえない	1,077	55.4%	55.8%	-0.4
		4	どちらかといえば不満である	192	9.9%	14.1%	-4.2
		5	不満である	66	3.4%	5.3%	-1.9
			無回答	80	4.1%	2.9%	1.2

◎保健・医療・福祉の分野（重要度）

- 保健・医療・福祉の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「医療体制」（74.1%）、「保健サービス提供体制」（65.4%）、「高齢者支援体制」（62.6%）が上位にあります。
- 保健・医療・福祉の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「地域福祉体制」（4.7%）、「高齢者支援体制」（4.2%）、「障害者支援体制」（3.8%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「障害者支援体制」に対する「やや重視する」が4.5ポイント減少、「地域福祉体制」に対する「あまり重視しない」が1.5ポイント減少となっています。

図表 保健・医療・福祉の分野（重要度）



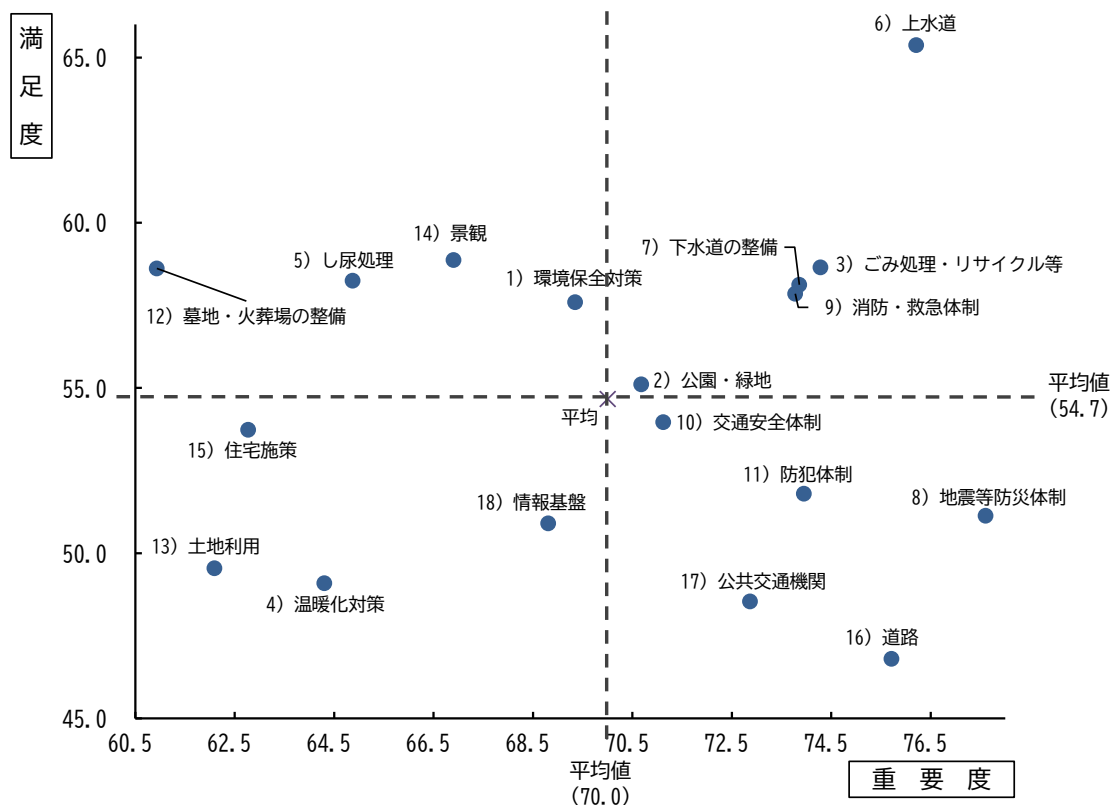
(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	保健サービス提供体制（健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等）	1	重視する	539	27.7%	29.1%	-1.4
		2	やや重視する	734	37.7%	41.3%	-3.6
		3	どちらともいえない	465	23.9%	20.9%	3.0
		4	あまり重視しない	55	2.8%	3.1%	-0.3
		5	重視しない	8	0.4%	1.0%	-0.6
			無回答	144	7.4%	4.6%	2.8
2	医療体制（地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等）	1	重視する	808	41.5%	41.8%	-0.3
		2	やや重視する	635	32.6%	35.6%	-3.0
		3	どちらともいえない	331	17.0%	16.2%	0.8
		4	あまり重視しない	24	1.2%	1.8%	-0.6
		5	重視しない	10	0.5%	0.7%	-0.2
			無回答	137	7.0%	3.9%	3.1
3	地域福祉体制（地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等）	1	重視する	304	15.6%	18.5%	-2.9
		2	やや重視する	658	33.8%	36.1%	-2.3
		3	どちらともいえない	749	38.5%	34.7%	3.8
		4	あまり重視しない	69	3.5%	5.0%	-1.5
		5	重視しない	23	1.2%	1.2%	0.0
			無回答	142	7.3%	4.5%	2.8
4	高齢者支援体制（福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等）	1	重視する	535	27.5%	31.7%	-4.2
		2	やや重視する	683	35.1%	35.9%	-0.8
		3	どちらともいえない	503	25.9%	24.3%	1.6
		4	あまり重視しない	52	2.7%	2.5%	0.2
		5	重視しない	29	1.5%	1.4%	0.1
			無回答	143	7.4%	4.2%	3.2
5	障害者支援体制（障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等）	1	重視する	384	19.7%	21.7%	-2.0
		2	やや重視する	585	30.1%	34.6%	-4.5
		3	どちらともいえない	754	38.8%	34.6%	4.2
		4	あまり重視しない	53	2.7%	3.1%	-0.4
		5	重視しない	21	1.1%	1.4%	-0.3
			無回答	148	7.6%	4.6%	3.0
6	バリアフリー化（段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等）	1	重視する	494	25.4%	28.2%	-2.8
		2	やや重視する	700	36.0%	37.0%	-1.0
		3	どちらともいえない	546	28.1%	26.7%	1.4
		4	あまり重視しない	53	2.7%	3.0%	-0.3
		5	重視しない	13	0.7%	0.9%	-0.2
			無回答	139	7.1%	4.1%	3.0
7	子育て支援体制（保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等）	1	重視する	621	31.9%	33.5%	-1.6
		2	やや重視する	576	29.6%	30.6%	-1.0
		3	どちらともいえない	537	27.6%	27.3%	0.3
		4	あまり重視しない	46	2.4%	2.3%	0.1
		5	重視しない	19	1.0%	1.2%	-0.2
			無回答	146	7.5%	5.0%	2.5

② 生活環境・都市基盤の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「上水道の状況」、重要度は「地震等防災体制」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「墓地・火葬場の整備」の満足度が 11.02 ポイント上昇、「情報基盤の整備」の重要度が 6.58 ポイント上昇となっています。

図表 生活環境・都市基盤の分野の満足度×重要度

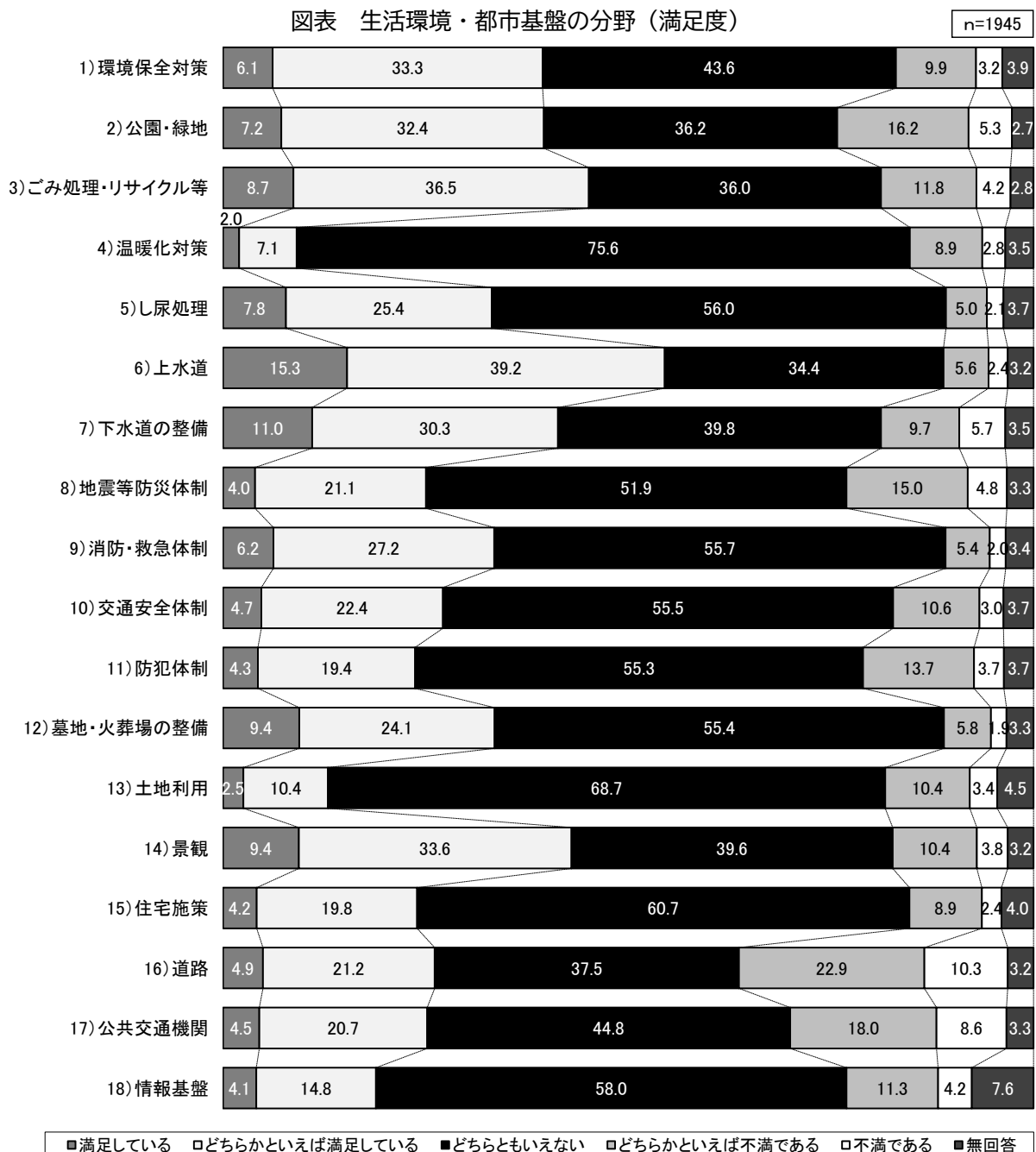


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	57.59	69.35	57.05	69.11	0.54	0.24
2	公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	55.11	70.68	53.85	69.90	1.26	0.78
3	ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	58.65	74.28	60.59	75.83	-1.94	-1.55
4	温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	49.09	64.30	49.48	62.99	-0.39	1.31
5	し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	58.25	64.87	58.94	64.93	-0.69	-0.06
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	65.37	76.21	66.85	75.30	-1.48	0.91
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	58.12	73.86	57.99	73.39	0.13	0.47
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	51.13	77.61	50.11	75.90	1.02	1.71

	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	57.85	73.77	58.63	73.96	-0.78	-0.19
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	53.96	71.12	54.46	69.77	-0.50	1.35
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	51.80	73.95	52.64	72.23	-0.84	1.72
12	墓地・火葬場の整備	58.62	60.93	47.60	64.90	11.02	-3.97
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	49.54	62.09	48.13	61.31	1.41	0.78
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	58.87	66.90	56.88	66.70	1.99	0.20
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	53.73	62.77	52.87	62.09	0.86	0.68
16	道路（国道、県道、町道）の整備	46.80	75.72	46.45	74.47	0.35	1.25
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	48.54	72.87	46.90	72.54	1.64	0.33
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	50.90	68.81	50.31	62.23	0.59	6.58

◎生活環境・都市基盤の分野（満足度）

- 生活環境・都市基盤の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「上水道の状況」（54.5%）、「ごみ処理・リサイクル等」（45.2%）、「景観づくりの状況」（43.0%）が上位にあります。
- 生活環境・都市基盤の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「道路の整備」（33.2%）、「公共交通機関の状況」（26.6%）、「公園・緑地の整備」（21.5%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「墓地・火葬場の整備」に対する「どちらかといえば満足している」が 10.4 ポイント上昇、「公共交通機関の状況」に対する「どちらかといえば不満である」が 2.1 ポイント減少となっています。



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

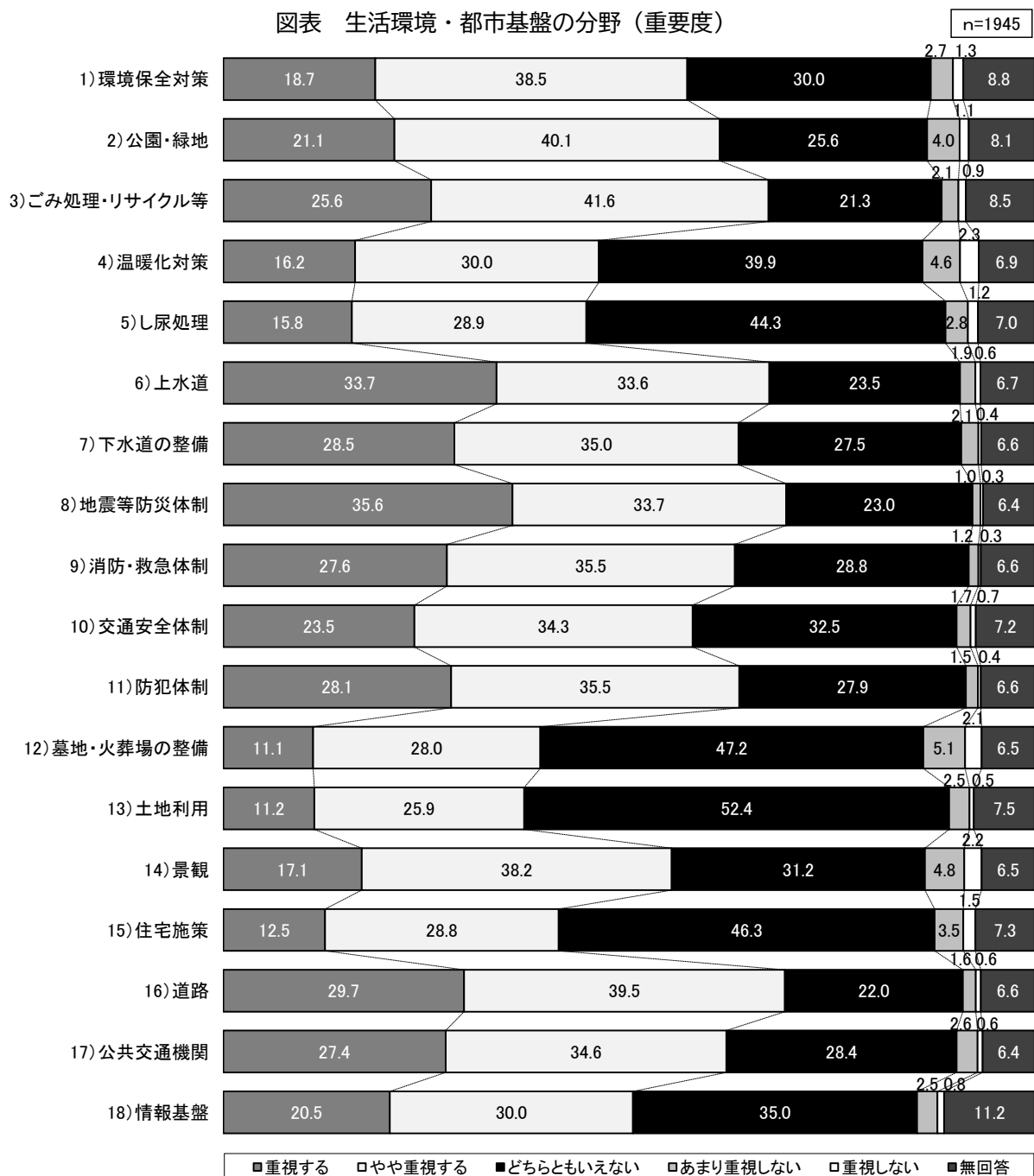
				回答数	構成比	前回値	比較
1	環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	1	満足している	119	6.1%	6.0%	0.1
		2	どちらかといえば満足している	648	33.3%	32.8%	0.5
		3	どちらともいえない	848	43.6%	46.0%	-2.4
		4	どちらかといえば不満である	192	9.9%	9.4%	0.5
		5	不満である	63	3.2%	3.9%	-0.7
			無回答	75	3.9%	1.9%	2.0
2	公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	1	満足している	140	7.2%	6.3%	0.9
		2	どちらかといえば満足している	630	32.4%	31.2%	1.2
		3	どちらともいえない	704	36.2%	38.0%	-1.8
		4	どちらかといえば不満である	315	16.2%	16.8%	-0.6
		5	不満である	104	5.3%	6.0%	-0.7
			無回答	52	2.7%	1.7%	1.0
3	ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	1	満足している	169	8.7%	11.8%	-3.1
		2	どちらかといえば満足している	709	36.5%	39.1%	-2.6
		3	どちらともいえない	701	36.0%	30.8%	5.2
		4	どちらかといえば不満である	229	11.8%	12.3%	-0.5
		5	不満である	82	4.2%	4.4%	-0.2
			無回答	55	2.8%	1.6%	1.2
4	温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	1	満足している	39	2.0%	1.9%	0.1
		2	どちらかといえば満足している	138	7.1%	8.1%	-1.0
		3	どちらともいえない	1,471	75.6%	76.0%	-0.4
		4	どちらかといえば不満である	174	8.9%	9.0%	-0.1
		5	不満である	55	2.8%	2.5%	0.3
			無回答	68	3.5%	2.5%	1.0
5	し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	1	満足している	151	7.8%	9.3%	-1.5
		2	どちらかといえば満足している	494	25.4%	26.0%	-0.6
		3	どちらともいえない	1,090	56.0%	54.1%	1.9
		4	どちらかといえば不満である	98	5.0%	5.5%	-0.5
		5	不満である	40	2.1%	2.2%	-0.1
			無回答	72	3.7%	2.9%	0.8
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	1	満足している	298	15.3%	18.9%	-3.6
		2	どちらかといえば満足している	762	39.2%	39.1%	0.1
		3	どちらともいえない	669	34.4%	31.8%	2.6
		4	どちらかといえば不満である	108	5.6%	6.1%	-0.5
		5	不満である	46	2.4%	2.3%	0.1
			無回答	62	3.2%	1.7%	1.5
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	1	満足している	214	11.0%	12.3%	-1.3
		2	どちらかといえば満足している	590	30.3%	30.0%	0.3
		3	どちらともいえない	775	39.8%	39.0%	0.8
		4	どちらかといえば不満である	188	9.7%	10.4%	-0.7
		5	不満である	110	5.7%	6.4%	-0.7
			無回答	68	3.5%	1.7%	1.8

				回答数	構成比	前回値	比較
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	1	満足している	77	4.0%	3.6%	0.4
		2	どちらかといえば満足している	410	21.1%	19.0%	2.1
		3	どちらともいえない	1,009	51.9%	54.6%	-2.7
		4	どちらかといえば不満である	291	15.0%	15.8%	-0.8
		5	不満である	94	4.8%	5.0%	-0.2
			無回答	64	3.3%	2.0%	1.3
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	1	満足している	121	6.2%	7.5%	-1.3
		2	どちらかといえば満足している	530	27.2%	29.6%	-2.4
		3	どちらともいえない	1,083	55.7%	52.3%	3.4
		4	どちらかといえば不満である	106	5.4%	6.3%	-0.9
		5	不満である	38	2.0%	2.3%	-0.3
			無回答	67	3.4%	2.0%	1.4
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	1	満足している	92	4.7%	5.3%	-0.6
		2	どちらかといえば満足している	436	22.4%	22.1%	0.3
		3	どちらともいえない	1,080	55.5%	58.6%	-3.1
		4	どちらかといえば不満である	207	10.6%	9.0%	1.6
		5	不満である	58	3.0%	3.1%	-0.1
			無回答	72	3.7%	1.9%	1.8
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	1	満足している	84	4.3%	5.0%	-0.7
		2	どちらかといえば満足している	377	19.4%	20.5%	-1.1
		3	どちらともいえない	1,075	55.3%	56.1%	-0.8
		4	どちらかといえば不満である	266	13.7%	12.1%	1.6
		5	不満である	72	3.7%	4.0%	-0.3
			無回答	71	3.7%	2.2%	1.5
12	墓地・火葬場の整備	1	満足している	183	9.4%	4.3%	5.1
		2	どちらかといえば満足している	469	24.1%	13.7%	10.4
		3	どちらともいえない	1,078	55.4%	56.3%	-0.9
		4	どちらかといえば不満である	113	5.8%	15.4%	-9.6
		5	不満である	37	1.9%	8.1%	-6.2
			無回答	65	3.3%	2.1%	1.2
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	1	満足している	49	2.5%	2.2%	0.3
		2	どちらかといえば満足している	203	10.4%	8.4%	2.0
		3	どちらともいえない	1,337	68.7%	70.3%	-1.6
		4	どちらかといえば不満である	203	10.4%	11.2%	-0.8
		5	不満である	66	3.4%	4.4%	-1.0
			無回答	87	4.5%	3.5%	1.0
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	1	満足している	182	9.4%	8.1%	1.3
		2	どちらかといえば満足している	654	33.6%	31.0%	2.6
		3	どちらともいえない	771	39.6%	42.5%	-2.9
		4	どちらかといえば不満である	202	10.4%	11.9%	-1.5
		5	不満である	74	3.8%	4.2%	-0.4
			無回答	62	3.2%	2.3%	0.9

				回答数	構成比	前回値	比較
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	1	満足している	81	4.2%	3.2%	1.0
		2	どちらかといえば満足している	385	19.8%	19.5%	0.3
		3	どちらともいえない	1,181	60.7%	62.5%	-1.8
		4	どちらかといえば不満である	174	8.9%	9.1%	-0.2
		5	不満である	47	2.4%	2.8%	-0.4
			無回答	77	4.0%	2.9%	1.1
16	道路（国道、県道、町道）の整備	1	満足している	96	4.9%	4.3%	0.6
		2	どちらかといえば満足している	412	21.2%	22.4%	-1.2
		3	どちらともいえない	730	37.5%	37.3%	0.2
		4	どちらかといえば不満である	445	22.9%	24.1%	-1.2
		5	不満である	200	10.3%	10.4%	-0.1
			無回答	62	3.2%	1.6%	1.6
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	1	満足している	87	4.5%	4.3%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	403	20.7%	19.6%	1.1
		3	どちらともいえない	871	44.8%	44.2%	0.6
		4	どちらかといえば不満である	351	18.0%	20.1%	-2.1
		5	不満である	168	8.6%	10.1%	-1.5
			無回答	65	3.3%	1.6%	1.7
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	1	満足している	80	4.1%	2.8%	1.3
		2	どちらかといえば満足している	287	14.8%	13.0%	1.8
		3	どちらともいえない	1,129	58.0%	67.6%	-9.6
		4	どちらかといえば不満である	220	11.3%	10.0%	1.3
		5	不満である	81	4.2%	3.7%	0.5
			無回答	148	7.6%	2.8%	4.8

◎生活環境・都市基盤の分野（重要度）

- 生活環境・都市基盤の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「地震等防災体制」（69.3%）、「道路の整備」（69.2%）、「上水道の状況」（67.3%）が上位にあります。
- 生活環境・都市基盤の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「墓地・火葬場の整備」（7.2%）、「景観づくりの状況」（7.0%）、「温暖化対策の導入」（6.9%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「情報基盤の整備」に対する「重視する」が 6.4 ポイント上昇、「環境保全対策」に対する「あまり重視しない」が 2.0 ポイント減少となっています。



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	1	重視する	364	18.7%	19.7%	-1.0
		2	やや重視する	748	38.5%	41.2%	-2.7
		3	どちらともいえない	584	30.0%	27.9%	2.1
		4	あまり重視しない	53	2.7%	4.7%	-2.0
		5	重視しない	25	1.3%	1.5%	-0.2
			無回答	171	8.8%	5.0%	3.8
2	公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	1	重視する	410	21.1%	21.6%	-0.5
		2	やや重視する	780	40.1%	42.0%	-1.9
		3	どちらともいえない	497	25.6%	25.4%	0.2
		4	あまり重視しない	78	4.0%	5.0%	-1.0
		5	重視しない	22	1.1%	1.9%	-0.8
			無回答	158	8.1%	4.2%	3.9
3	ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	1	重視する	498	25.6%	28.9%	-3.3
		2	やや重視する	809	41.6%	44.1%	-2.5
		3	どちらともいえない	415	21.3%	20.1%	1.2
		4	あまり重視しない	40	2.1%	1.9%	0.2
		5	重視しない	18	0.9%	0.7%	0.2
			無回答	165	8.5%	4.4%	4.1
4	温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	1	重視する	316	16.2%	14.6%	1.6
		2	やや重視する	584	30.0%	29.2%	0.8
		3	どちらともいえない	776	39.9%	44.2%	-4.3
		4	あまり重視しない	90	4.6%	5.1%	-0.5
		5	重視しない	45	2.3%	1.9%	0.4
			無回答	134	6.9%	5.0%	1.9
5	し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	1	重視する	308	15.8%	17.2%	-1.4
		2	やや重視する	562	28.9%	28.8%	0.1
		3	どちらともいえない	861	44.3%	43.0%	1.3
		4	あまり重視しない	54	2.8%	3.9%	-1.1
		5	重視しない	24	1.2%	1.5%	-0.3
			無回答	136	7.0%	5.6%	1.4
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	1	重視する	655	33.7%	33.0%	0.7
		2	やや重視する	654	33.6%	35.3%	-1.7
		3	どちらともいえない	457	23.5%	23.9%	-0.4
		4	あまり重視しない	37	1.9%	2.6%	-0.7
		5	重視しない	12	0.6%	0.9%	-0.3
			無回答	130	6.7%	4.4%	2.3
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	1	重視する	554	28.5%	30.0%	-1.5
		2	やや重視する	681	35.0%	34.6%	0.4
		3	どちらともいえない	534	27.5%	27.1%	0.4
		4	あまり重視しない	41	2.1%	3.4%	-1.3
		5	重視しない	7	0.4%	0.7%	-0.3
			無回答	128	6.6%	4.2%	2.4

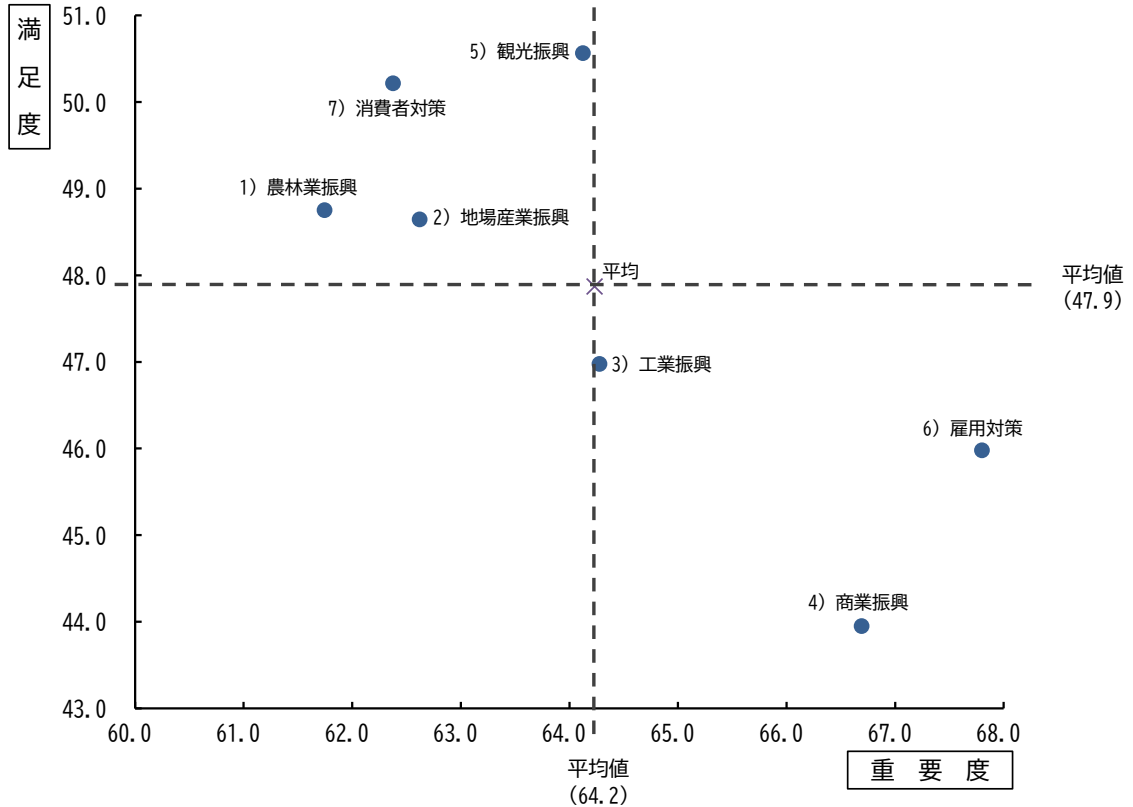
				回答数	構成比	前回値	比較
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	1	重視する	693	35.6%	34.3%	1.3
		2	やや重視する	656	33.7%	34.4%	-0.7
		3	どちらともいえない	447	23.0%	23.9%	-0.9
		4	あまり重視しない	19	1.0%	2.2%	-1.2
		5	重視しない	6	0.3%	0.9%	-0.6
			無回答	124	6.4%	4.3%	2.1
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	1	重視する	536	27.6%	28.6%	-1.0
		2	やや重視する	690	35.5%	37.2%	-1.7
		3	どちらともいえない	561	28.8%	27.5%	1.3
		4	あまり重視しない	23	1.2%	1.7%	-0.5
		5	重視しない	6	0.3%	0.5%	-0.2
			無回答	129	6.6%	4.5%	2.1
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	1	重視する	458	23.5%	22.3%	1.2
		2	やや重視する	667	34.3%	36.5%	-2.2
		3	どちらともいえない	633	32.5%	32.9%	-0.4
		4	あまり重視しない	33	1.7%	3.0%	-1.3
		5	重視しない	13	0.7%	1.1%	-0.4
			無回答	141	7.2%	4.2%	3.0
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	1	重視する	546	28.1%	26.0%	2.1
		2	やや重視する	691	35.5%	37.3%	-1.8
		3	どちらともいえない	543	27.9%	28.9%	-1.0
		4	あまり重視しない	29	1.5%	2.5%	-1.0
		5	重視しない	7	0.4%	0.9%	-0.5
			無回答	129	6.6%	4.4%	2.2
12	墓地・火葬場の整備	1	重視する	215	11.1%	17.8%	-6.7
		2	やや重視する	545	28.0%	29.3%	-1.3
		3	どちらともいえない	918	47.2%	42.1%	5.1
		4	あまり重視しない	100	5.1%	4.6%	0.5
		5	重視しない	40	2.1%	1.7%	0.4
			無回答	127	6.5%	4.5%	2.0
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	1	重視する	218	11.2%	11.9%	-0.7
		2	やや重視する	503	25.9%	24.7%	1.2
		3	どちらともいえない	1,019	52.4%	53.1%	-0.7
		4	あまり重視しない	49	2.5%	3.3%	-0.8
		5	重視しない	10	0.5%	1.3%	-0.8
			無回答	146	7.5%	5.7%	1.8
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	1	重視する	332	17.1%	18.6%	-1.5
		2	やや重視する	743	38.2%	37.5%	0.7
		3	どちらともいえない	607	31.2%	30.8%	0.4
		4	あまり重視しない	94	4.8%	5.8%	-1.0
		5	重視しない	42	2.2%	2.6%	-0.4
			無回答	127	6.5%	4.6%	1.9

				回答数	構成比	前回値	比較
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	1	重視する	244	12.5%	11.9%	0.6
		2	やや重視する	560	28.8%	31.0%	-2.2
		3	どちらともいえない	901	46.3%	45.1%	1.2
		4	あまり重視しない	69	3.5%	5.4%	-1.9
		5	重視しない	29	1.5%	1.7%	-0.2
			無回答	142	7.3%	5.0%	2.3
16	道路（国道、県道、町道）の整備	1	重視する	577	29.7%	29.4%	0.3
		2	やや重視する	769	39.5%	39.9%	-0.4
		3	どちらともいえない	427	22.0%	23.0%	-1.0
		4	あまり重視しない	31	1.6%	2.4%	-0.8
		5	重視しない	12	0.6%	1.2%	-0.6
			無回答	129	6.6%	4.0%	2.6
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	1	重視する	533	27.4%	28.7%	-1.3
		2	やや重視する	673	34.6%	33.9%	0.7
		3	どちらともいえない	552	28.4%	30.2%	-1.8
		4	あまり重視しない	50	2.6%	2.6%	0.0
		5	重視しない	12	0.6%	0.9%	-0.3
			無回答	125	6.4%	3.7%	2.7
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	1	重視する	399	20.5%	14.1%	6.4
		2	やや重視する	583	30.0%	26.0%	4.0
		3	どちらともいえない	681	35.0%	48.5%	-13.5
		4	あまり重視しない	49	2.5%	4.3%	-1.8
		5	重視しない	16	0.8%	1.8%	-1.0
			無回答	217	11.2%	5.2%	6.0

③ 産業振興の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「観光振興の状況」、重要度は「雇用対策の状況」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「商業振興の状況」の満足度が 1.65 ポイント上昇、「観光振興の状況」の重要度が 1.62 ポイント減少となっています。

図表 産業振興の分野の満足度×重要度

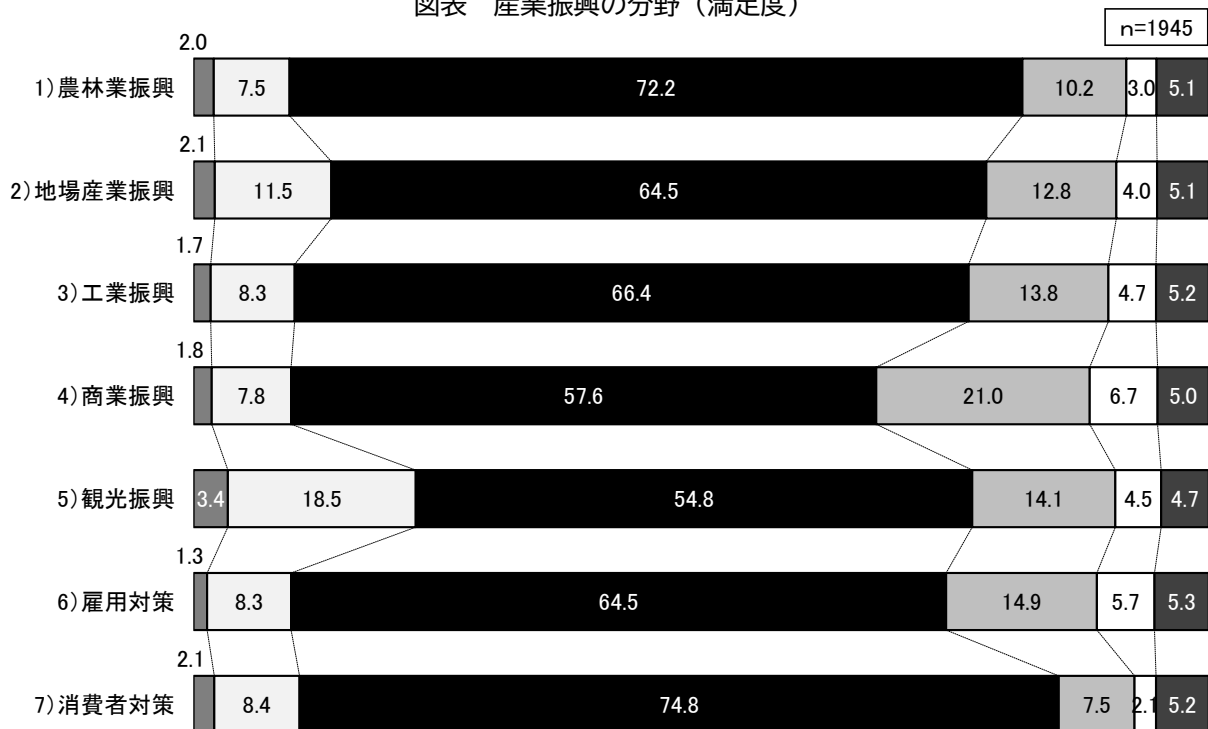


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	48.75	61.74	47.55	60.85	1.20	0.89
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	48.65	62.62	48.43	63.52	0.22	-0.90
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	46.98	64.28	46.64	63.94	0.34	0.34
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	43.95	66.69	42.30	65.49	1.65	1.20
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況	50.57	64.12	50.06	65.74	0.51	-1.62
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	45.98	67.80	44.43	68.28	1.55	-0.48
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	50.22	62.37	48.72	62.17	1.50	0.20

◎産業振興の分野（満足度）

- 産業振興の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「観光振興の状況」（21.9%）、「地場産業振興の状況」（13.6%）、「消費者対策の状況」（10.5%）が上位にあります。
- 産業振興の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「商業振興の状況」（27.7%）、「雇用対策の状況」（20.6%）、「観光振興の状況」（18.6%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「農林業振興の状況」に対する「どちらかといえば満足している」が 1.8 ポイント上昇、「雇用対策の状況」に対する「どちらかといえば不満である」が 2.0 ポイント減少となっています。

図表 産業振興の分野（満足度）



満足している
 どちらかといえば満足している
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満である
 不満である
 無回答

(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

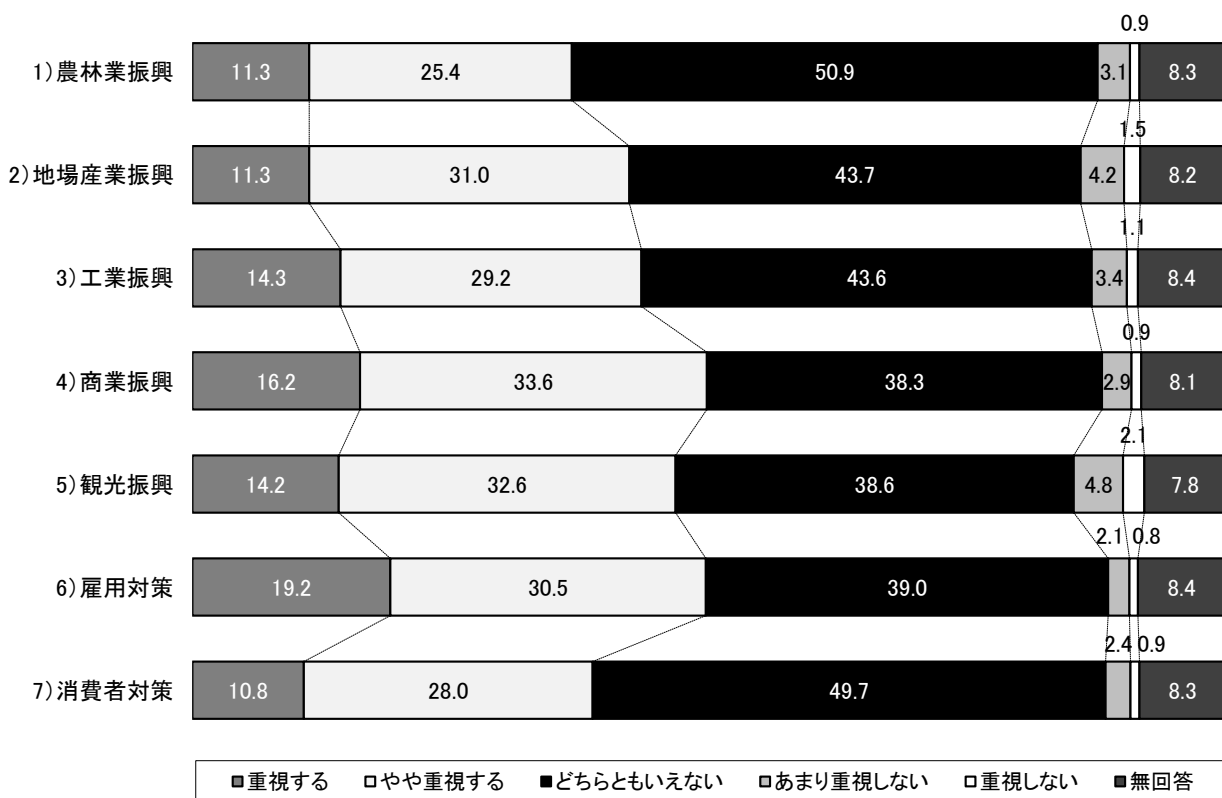
			回答数	構成比	前回値	比較	
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	1	満足している	39	2.0%	1.8%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	145	7.5%	5.7%	1.8
		3	どちらともいえない	1,404	72.2%	73.5%	-1.3
		4	どちらかといえば不満である	199	10.2%	12.0%	-1.8
		5	不満である	58	3.0%	3.4%	-0.4
			無回答	100	5.1%	3.6%	1.5
		2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	1	満足している	41	2.1%
2	どちらかといえば満足している			223	11.5%	12.2%	-0.7
3	どちらともいえない			1,255	64.5%	64.8%	-0.3
4	どちらかといえば不満である			249	12.8%	14.5%	-1.7
5	不満である			78	4.0%	3.8%	0.2
	無回答			99	5.1%	2.7%	2.4
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況			1	満足している	33	1.7%
		2	どちらかといえば満足している	161	8.3%	8.2%	0.1
		3	どちらともいえない	1,291	66.4%	67.9%	-1.5
		4	どちらかといえば不満である	268	13.8%	15.5%	-1.7
		5	不満である	91	4.7%	4.2%	0.5
			無回答	101	5.2%	2.9%	2.3
		4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	1	満足している	35	1.8%
2	どちらかといえば満足している			152	7.8%	6.8%	1.0
3	どちらともいえない			1,121	57.6%	58.3%	-0.7
4	どちらかといえば不満である			409	21.0%	22.9%	-1.9
5	不満である			130	6.7%	8.4%	-1.7
	無回答			98	5.0%	2.3%	2.7
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況			1	満足している	66	3.4%
		2	どちらかといえば満足している	360	18.5%	20.3%	-1.8
		3	どちらともいえない	1,066	54.8%	53.7%	1.1
		4	どちらかといえば不満である	274	14.1%	15.4%	-1.3
		5	不満である	88	4.5%	5.2%	-0.7
			無回答	91	4.7%	2.5%	2.2
		6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	1	満足している	26	1.3%
2	どちらかといえば満足している			161	8.3%	6.5%	1.8
3	どちらともいえない			1,255	64.5%	65.3%	-0.8
4	どちらかといえば不満である			289	14.9%	16.9%	-2.0
5	不満である			110	5.7%	7.0%	-1.3
	無回答			104	5.3%	2.9%	2.4
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況			1	満足している	40	2.1%
		2	どちらかといえば満足している	163	8.4%	8.3%	0.1
		3	どちらともいえない	1,455	74.8%	75.5%	-0.7
		4	どちらかといえば不満である	145	7.5%	9.2%	-1.7
		5	不満である	41	2.1%	3.2%	-1.1
			無回答	101	5.2%	2.7%	2.5

◎産業振興の分野（重要度）

- 産業振興の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「商業振興の状況」（49.8%）、「雇用対策」（49.7%）、「観光振興の状況」（46.8%）が上位にあります。
- 産業振興の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「観光振興の状況」（6.9%）、「地場産業振興の状況」（5.7%）、「工業振興の状況」（4.5%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「農林業振興」に対する「やや重視する」が 2.9 ポイント上昇、「商業振興」に対する「重視しない」が 0.8 ポイント減少となっています。

図表 産業振興の分野（重要度）

n=1945



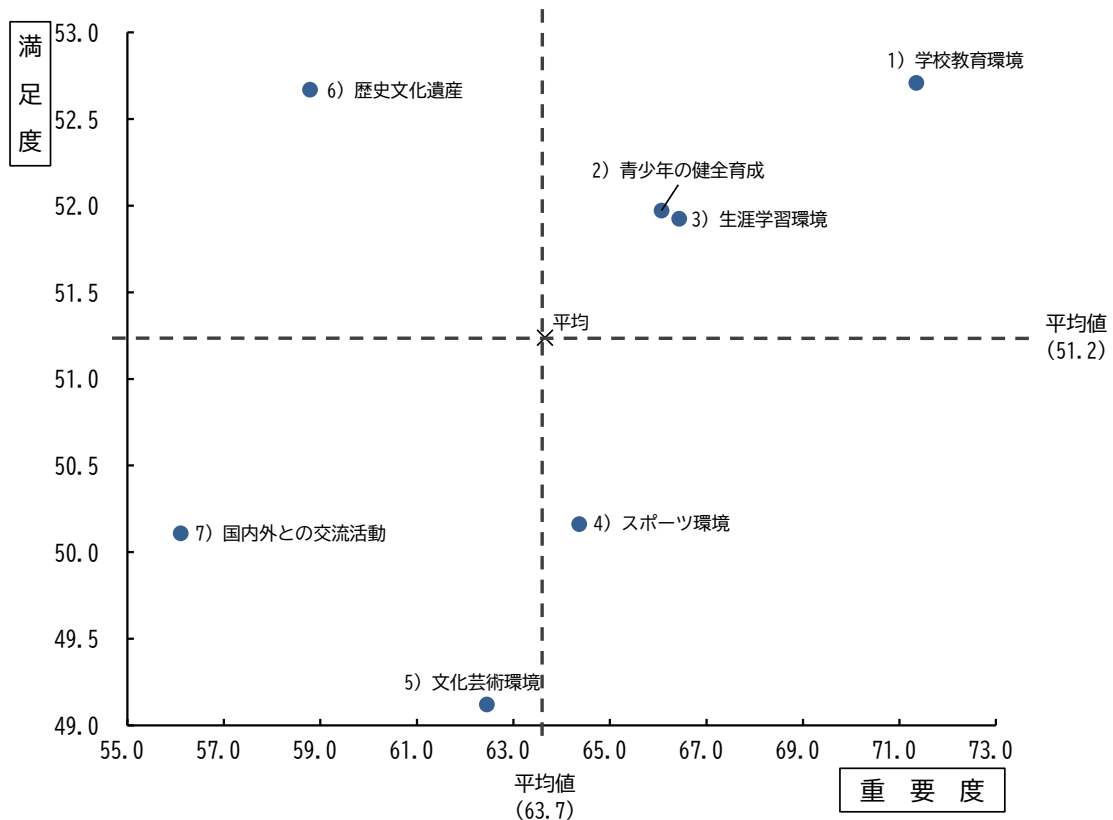
(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	1	重視する	220	11.3%	12.2%	-0.9
		2	やや重視する	495	25.4%	22.5%	2.9
		3	どちらともいえない	990	50.9%	53.8%	-2.9
		4	あまり重視しない	61	3.1%	3.5%	-0.4
		5	重視しない	18	0.9%	1.4%	-0.5
			無回答	161	8.3%	6.5%	1.8
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	1	重視する	220	11.3%	13.8%	-2.5
		2	やや重視する	603	31.0%	32.5%	-1.5
		3	どちらともいえない	850	43.7%	43.0%	0.7
		4	あまり重視しない	82	4.2%	4.5%	-0.3
		5	重視しない	30	1.5%	1.9%	-0.4
			無回答	160	8.2%	4.3%	3.9
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	1	重視する	279	14.3%	14.9%	-0.6
		2	やや重視する	567	29.2%	29.5%	-0.3
		3	どちらともいえない	848	43.6%	46.6%	-3.0
		4	あまり重視しない	66	3.4%	3.0%	0.4
		5	重視しない	21	1.1%	1.5%	-0.4
			無回答	164	8.4%	4.5%	3.9
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	1	重視する	316	16.2%	16.8%	-0.6
		2	やや重視する	653	33.6%	32.9%	0.7
		3	どちらともいえない	744	38.3%	41.2%	-2.9
		4	あまり重視しない	56	2.9%	3.4%	-0.5
		5	重視しない	18	0.9%	1.7%	-0.8
			無回答	158	8.1%	4.0%	4.1
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況	1	重視する	276	14.2%	16.9%	-2.7
		2	やや重視する	634	32.6%	34.7%	-2.1
		3	どちらともいえない	750	38.6%	37.9%	0.7
		4	あまり重視しない	93	4.8%	4.1%	0.7
		5	重視しない	40	2.1%	2.1%	0.0
			無回答	152	7.8%	4.3%	3.5
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	1	重視する	373	19.2%	20.7%	-1.5
		2	やや重視する	594	30.5%	32.2%	-1.7
		3	どちらともいえない	758	39.0%	40.0%	-1.0
		4	あまり重視しない	40	2.1%	1.6%	0.5
		5	重視しない	16	0.8%	1.0%	-0.2
			無回答	164	8.4%	4.4%	4.0
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	1	重視する	210	10.8%	12.7%	-1.9
		2	やや重視する	544	28.0%	27.0%	1.0
		3	どちらともいえない	966	49.7%	51.6%	-1.9
		4	あまり重視しない	47	2.4%	2.9%	-0.5
		5	重視しない	17	0.9%	1.4%	-0.5
			無回答	161	8.3%	4.3%	4.0

④ 教育・文化・スポーツの分野（満足度・重要度）

- 満足度、重要度とも「学校教育環境の整備」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「歴史文化遺産の保存・活用の状況」の満足度が 1.60 ポイント上昇、「国内外との交流活動の状況」の重要度が 2.74 ポイント減少となっています。

図表 教育・文化・スポーツの分野の満足度×重要度



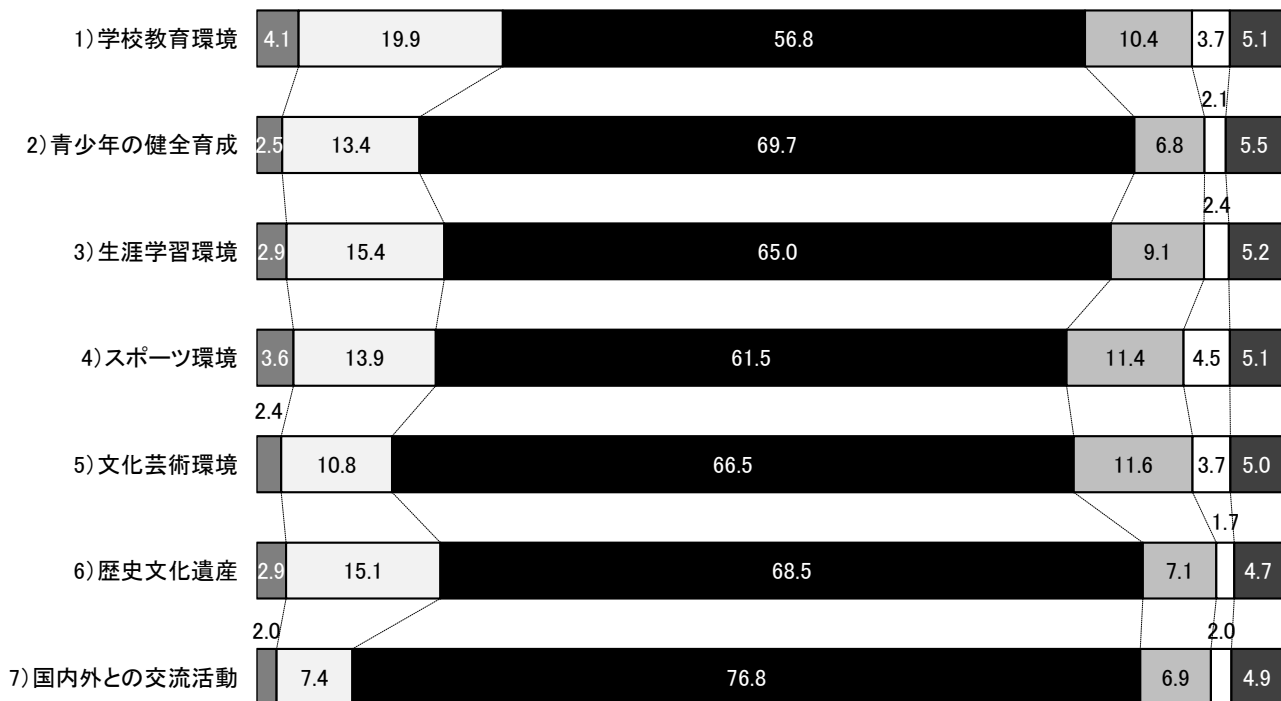
	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	52.71	71.35	53.27	71.36	-0.56	-0.01
2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	51.97	66.07	51.68	67.11	0.29	-1.04
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	51.93	66.43	51.62	66.93	0.31	-0.50
4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	50.16	64.36	49.11	65.50	1.05	-1.14
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	49.12	62.45	48.75	62.41	0.37	0.04
6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	52.67	58.78	51.07	60.59	1.60	-1.81
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	50.11	56.11	49.15	58.85	0.96	-2.74

◎教育・文化・スポーツの分野（満足度）

- 教育・文化・スポーツの分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「学校教育環境の整備」（24.0%）、「生涯学習環境の整備」（18.3%）、「歴史文化遺産の保存・活用の状況」（18.0%）が上位にあります。
- 教育・文化・スポーツの分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「スポーツ環境の整備」（15.9%）、「文化芸術環境の整備」（15.3%）、「学校教育環境の整備」（14.1%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「スポーツ環境の整備」に対する「満足している」が 0.9 ポイント上昇、「文化芸術環境の整備」に対する「不満である」が 1.2 ポイント減少となっています。

図表 教育・文化・スポーツの分野（満足度）

n=1945



■満足している □どちらかといえば満足している ■どちらともいえない □どちらかといえば不満である □不満である ■無回答

(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

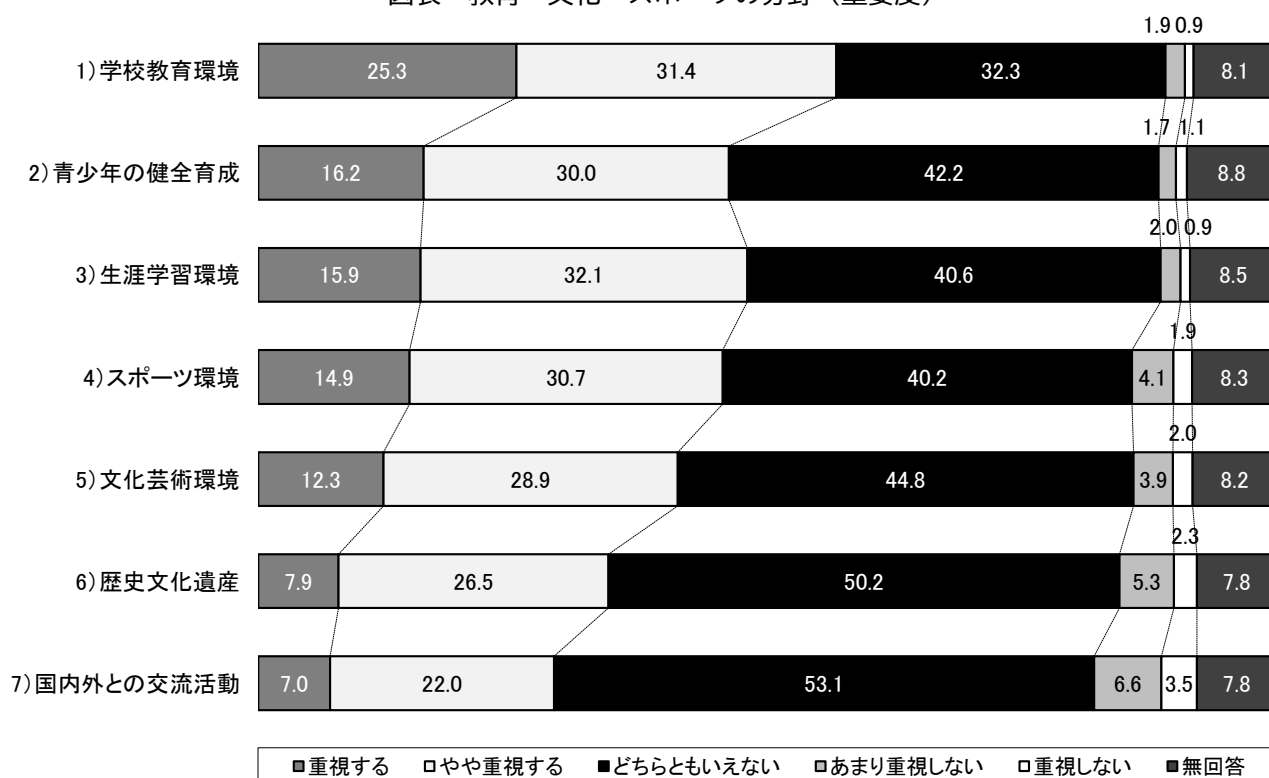
				回答数	構成比	前回値	比較
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	1	満足している	80	4.1%	3.7%	0.4
		2	どちらかといえば満足している	387	19.9%	23.0%	-3.1
		3	どちらともいえない	1,104	56.8%	55.5%	1.3
		4	どちらかといえば不満である	203	10.4%	11.1%	-0.7
		5	不満である	72	3.7%	3.3%	0.4
			無回答	99	5.1%	3.3%	1.8
2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	1	満足している	49	2.5%	2.5%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	260	13.4%	13.9%	-0.5
		3	どちらともいえない	1,356	69.7%	70.2%	-0.5
		4	どちらかといえば不満である	133	6.8%	7.8%	-1.0
		5	不満である	40	2.1%	2.3%	-0.2
			無回答	107	5.5%	3.3%	2.2
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	1	満足している	57	2.9%	2.9%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	299	15.4%	16.6%	-1.2
		3	どちらともいえない	1,264	65.0%	63.8%	1.2
		4	どちらかといえば不満である	177	9.1%	11.1%	-2.0
		5	不満である	47	2.4%	2.6%	-0.2
			無回答	101	5.2%	3.1%	2.1
4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	1	満足している	70	3.6%	2.7%	0.9
		2	どちらかといえば満足している	270	13.9%	15.1%	-1.2
		3	どちらともいえない	1,196	61.5%	60.3%	1.2
		4	どちらかといえば不満である	222	11.4%	13.4%	-2.0
		5	不満である	88	4.5%	5.3%	-0.8
			無回答	99	5.1%	3.2%	1.9
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	1	満足している	47	2.4%	2.5%	-0.1
		2	どちらかといえば満足している	210	10.8%	11.5%	-0.7
		3	どちらともいえない	1,293	66.5%	66.6%	-0.1
		4	どちらかといえば不満である	225	11.6%	11.6%	0.0
		5	不満である	72	3.7%	4.9%	-1.2
			無回答	98	5.0%	2.9%	2.1
6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	1	満足している	56	2.9%	2.9%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	293	15.1%	12.7%	2.4
		3	どちらともいえない	1,332	68.5%	69.9%	-1.4
		4	どちらかといえば不満である	139	7.1%	8.8%	-1.7
		5	不満である	34	1.7%	2.8%	-1.1
			無回答	91	4.7%	2.9%	1.8
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	1	満足している	38	2.0%	2.0%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	144	7.4%	7.4%	0.0
		3	どちらともいえない	1,494	76.8%	75.4%	1.4
		4	どちらかといえば不満である	134	6.9%	8.4%	-1.5
		5	不満である	39	2.0%	3.1%	-1.1
			無回答	96	4.9%	3.8%	1.1

◎教育・文化・スポーツの分野（重要度）

- 教育・文化・スポーツの分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「学校教育環境の整備」（56.7%）、「生涯学習環境の整備」（48.0%）、「青少年の健全育成」（46.2%）が上位にあります。
- 教育・文化・スポーツの分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「国内外との交流活動の状況」（10.1%）、「歴史文化遺産の保存・活用の状況」（7.6%）、「スポーツ環境の整備」（6.0%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「学校教育環境の整備」に対する「重視する」が 0.8 ポイント上昇、「国内外との交流活動の状況」に対する「あまり重視しない」が 1.4 ポイント上昇となっています。

図表 教育・文化・スポーツの分野（重要度）

n=1945



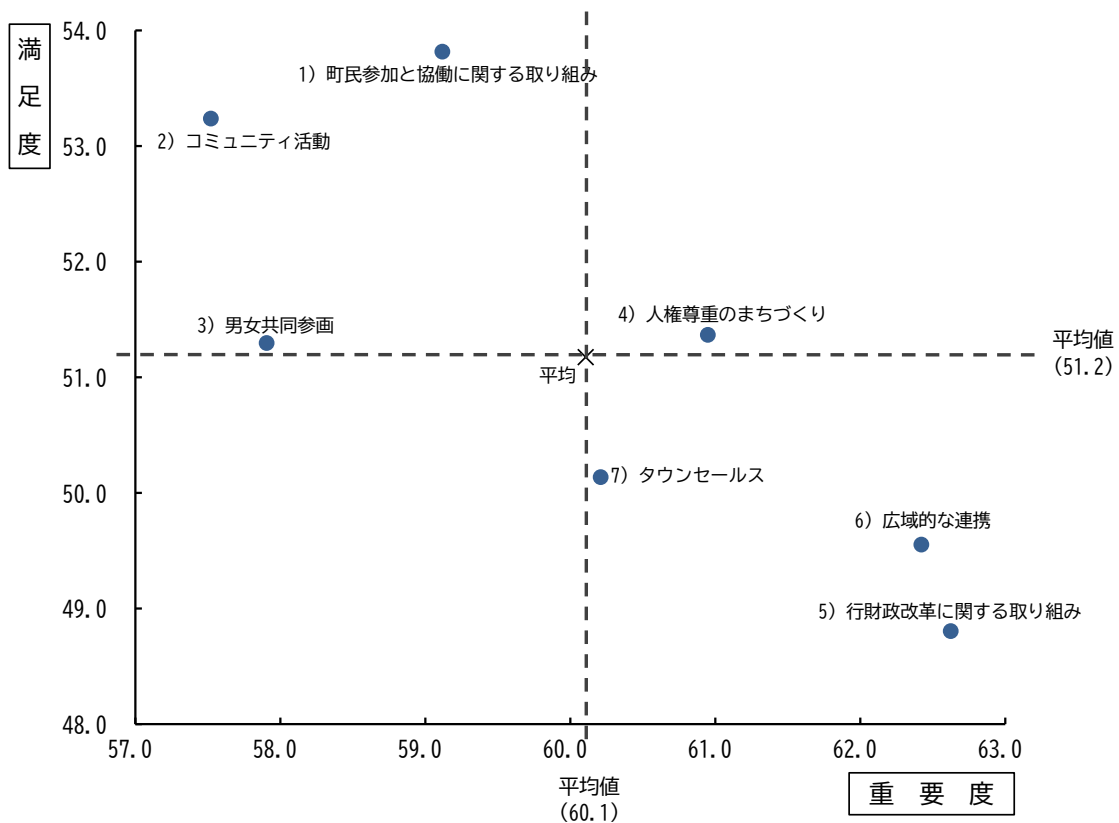
(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	1	重視する	493	25.3%	24.5%	0.8
		2	やや重視する	611	31.4%	36.3%	-4.9
		3	どちらともいえない	629	32.3%	31.7%	0.6
		4	あまり重視しない	37	1.9%	1.6%	0.3
		5	重視しない	17	0.9%	1.1%	-0.2
			無回答	158	8.1%	4.8%	3.3
2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	1	重視する	316	16.2%	18.7%	-2.5
		2	やや重視する	583	30.0%	31.9%	-1.9
		3	どちらともいえない	821	42.2%	41.6%	0.6
		4	あまり重視しない	33	1.7%	2.0%	-0.3
		5	重視しない	21	1.1%	1.1%	0.0
			無回答	171	8.8%	4.7%	4.1
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	1	重視する	310	15.9%	17.2%	-1.3
		2	やや重視する	624	32.1%	34.6%	-2.5
		3	どちらともいえない	790	40.6%	40.4%	0.2
		4	あまり重視しない	38	2.0%	2.2%	-0.2
		5	重視しない	18	0.9%	1.0%	-0.1
			無回答	165	8.5%	4.5%	4.0
4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	1	重視する	289	14.9%	17.2%	-2.3
		2	やや重視する	598	30.7%	32.0%	-1.3
		3	どちらともいえない	782	40.2%	41.3%	-1.1
		4	あまり重視しない	79	4.1%	3.0%	1.1
		5	重視しない	36	1.9%	2.1%	-0.2
			無回答	161	8.3%	4.4%	3.9
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	1	重視する	239	12.3%	13.2%	-0.9
		2	やや重視する	562	28.9%	29.3%	-0.4
		3	どちらともいえない	871	44.8%	47.2%	-2.4
		4	あまり重視しない	75	3.9%	3.9%	0.0
		5	重視しない	38	2.0%	2.1%	-0.1
			無回答	160	8.2%	4.3%	3.9
6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	1	重視する	153	7.9%	11.0%	-3.1
		2	やや重視する	516	26.5%	28.2%	-1.7
		3	どちらともいえない	976	50.2%	49.2%	1.0
		4	あまり重視しない	104	5.3%	4.7%	0.6
		5	重視しない	44	2.3%	2.5%	-0.2
			無回答	152	7.8%	4.4%	3.4
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	1	重視する	137	7.0%	10.1%	-3.1
		2	やや重視する	428	22.0%	24.6%	-2.6
		3	どちらともいえない	1,032	53.1%	52.3%	0.8
		4	あまり重視しない	128	6.6%	5.2%	1.4
		5	重視しない	68	3.5%	2.9%	0.6
			無回答	152	7.8%	4.9%	2.9

⑤ 町民参加・行財政改革の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「町民参加と協働に関する取り組みの状況」、重要度は「行財政改革に関する取り組みの状況」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「広域的な連携によるまちづくりの状況」の満足度が 0.88 ポイント上昇、「コミュニティ活動の状況」の重要度が 2.89 ポイント減少となっています。

図表 町民参加・行財政改革の分野の満足度×重要度

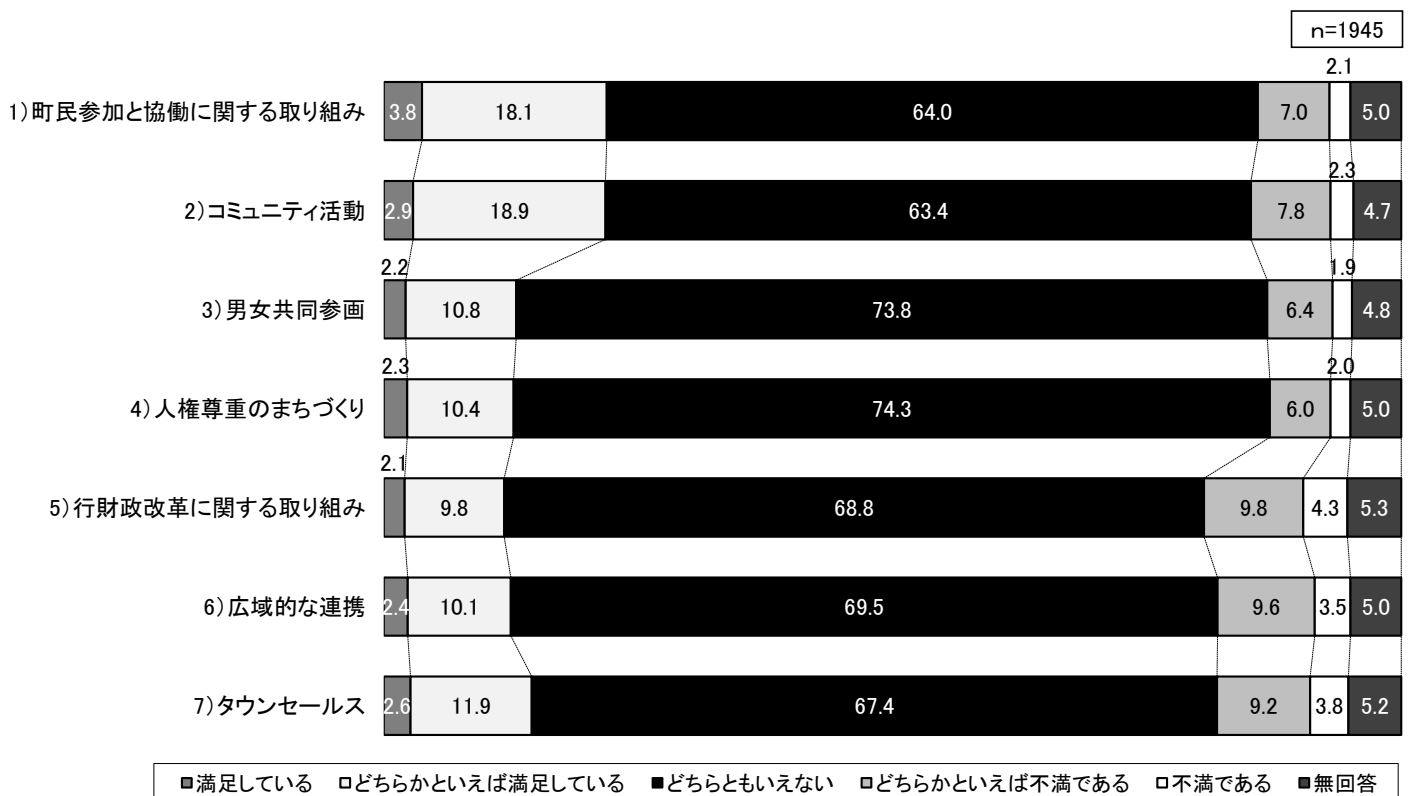


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	53.81	59.12	54.51	59.99	-0.70	-0.87
2	コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	53.24	57.52	53.90	60.41	-0.66	-2.89
3	男女共同参画（男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等）の状況	51.30	57.91	51.97	58.48	-0.67	-0.57
4	人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	51.37	60.95	51.89	60.88	-0.52	0.07
5	行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	48.81	62.63	48.93	63.17	-0.12	-0.54
6	広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	49.55	62.42	48.67	63.52	0.88	-1.10
7	タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	50.14	60.21	50.20	62.14	-0.06	-1.93

◎町民参加・行財政改革の分野（満足度）

- 町民参加・行財政改革の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「町民参加と協働に関する取り組みの状況」（21.9%）、「コミュニティ活動の状況」（21.8%）、「タウンセールスの推進」（14.5%）が上位にあります。
- 町民参加・行財政改革の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「行財政改革に関する取り組みの状況」（14.1%）、「広域的な連携によるまちづくりの状況」（13.1%）、「タウンセールスの推進」（13.0%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「行財政改革に関する取り組みの状況」に対する「どちらかといえば満足している」が 0.5 ポイント上昇、「タウンセールスの推進」に対する「どちらかといえば不満である」が 2.9 ポイント減少となっています。

図表 町民参加・行財政改革の分野（満足度）



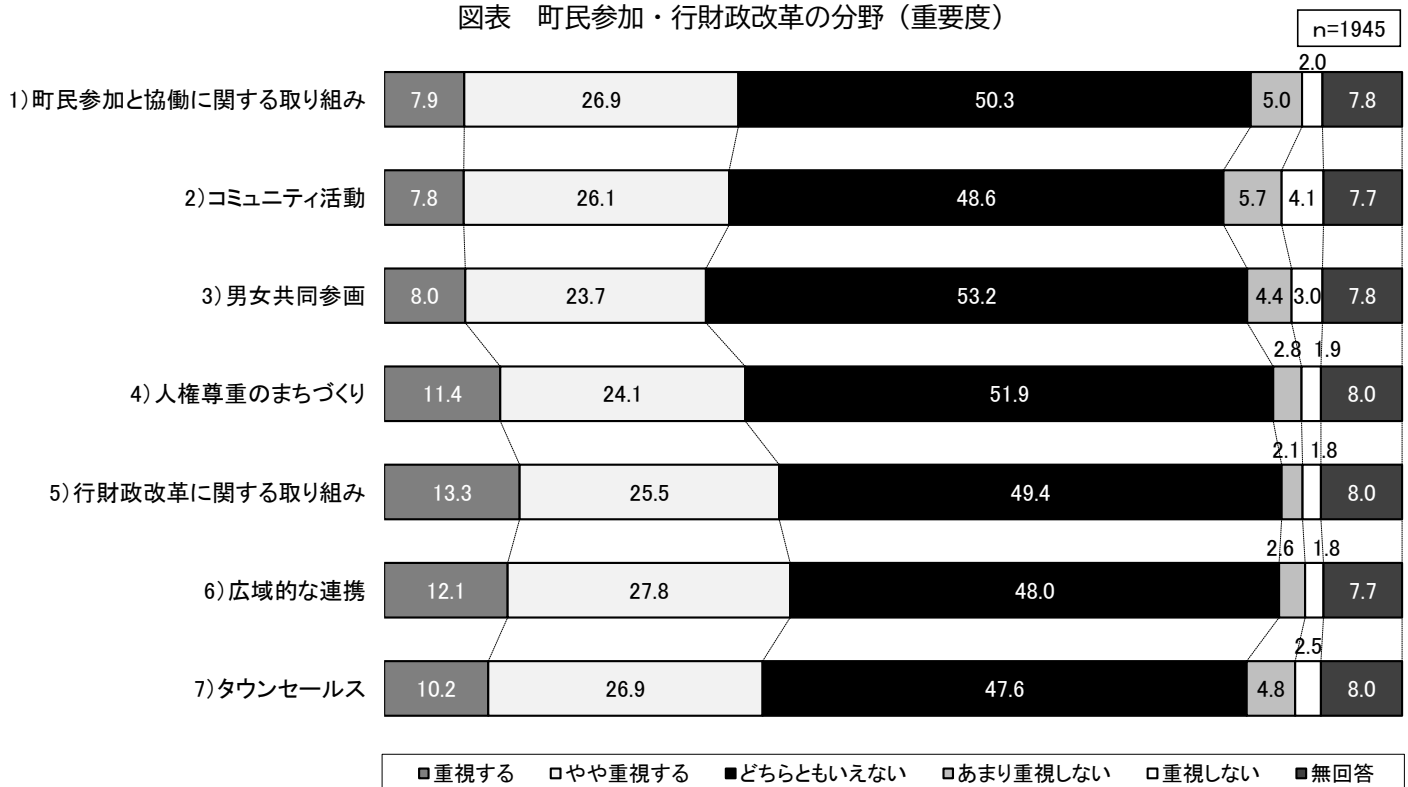
(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

			回答数	構成比	前回値	比較	
1	町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	1	満足している	73	3.8%	4.0%	-0.2
		2	どちらかといえば満足している	353	18.1%	19.7%	-1.6
		3	どちらともいえない	1,245	64.0%	65.6%	-1.6
		4	どちらかといえば不満である	137	7.0%	5.9%	1.1
		5	不満である	40	2.1%	2.1%	0.0
			無回答	97	5.0%	2.7%	2.3
2	コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	1	満足している	56	2.9%	3.8%	-0.9
		2	どちらかといえば満足している	368	18.9%	20.4%	-1.5
		3	どちらともいえない	1,234	63.4%	63.2%	0.2
		4	どちらかといえば不満である	152	7.8%	7.9%	-0.1
		5	不満である	44	2.3%	2.4%	-0.1
			無回答	91	4.7%	2.3%	2.4
3	男女共同参画（男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等）の状況	1	満足している	42	2.2%	3.2%	-1.0
		2	どちらかといえば満足している	211	10.8%	11.8%	-1.0
		3	どちらともいえない	1,436	73.8%	73.7%	0.1
		4	どちらかといえば不満である	125	6.4%	6.3%	0.1
		5	不満である	37	1.9%	2.2%	-0.3
			無回答	94	4.8%	2.8%	2.0
4	人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	1	満足している	45	2.3%	2.3%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	203	10.4%	11.4%	-1.0
		3	どちらともいえない	1,446	74.3%	76.1%	-1.8
		4	どちらかといえば不満である	116	6.0%	5.5%	0.5
		5	不満である	38	2.0%	1.6%	0.4
			無回答	97	5.0%	3.1%	1.9
5	行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	1	満足している	40	2.1%	1.9%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	190	9.8%	9.3%	0.5
		3	どちらともいえない	1,338	68.8%	71.5%	-2.7
		4	どちらかといえば不満である	190	9.8%	10.6%	-0.8
		5	不満である	84	4.3%	3.3%	1.0
			無回答	103	5.3%	3.4%	1.9
6	広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	1	満足している	46	2.4%	2.2%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	197	10.1%	10.5%	-0.4
		3	どちらともいえない	1,351	69.5%	67.8%	1.7
		4	どちらかといえば不満である	186	9.6%	12.2%	-2.6
		5	不満である	68	3.5%	4.0%	-0.5
			無回答	97	5.0%	3.2%	1.8
7	タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	1	満足している	51	2.6%	2.7%	-0.1
		2	どちらかといえば満足している	232	11.9%	13.7%	-1.8
		3	どちらともいえない	1,310	67.4%	65.3%	2.1
		4	どちらかといえば不満である	178	9.2%	12.1%	-2.9
		5	不満である	73	3.8%	3.2%	0.6
			無回答	101	5.2%	3.1%	2.1

◎町民参加・行財政改革の分野（重要度）

- 町民参加・行財政改革の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「広域的な連携によるまちづくりの状況」（39.9%）、「行財政改革に関する取り組みの状況」（38.8%）、「タウンセールスの推進」（37.1%）が上位にあります。
- 町民参加・行財政改革の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「コミュニティ活動の状況」（9.8%）、「男女共同参画の状況」（7.4%）、「タウンセールスの推進」（7.3%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「人権尊重のまちづくりの状況」に対する「重視する」が 0.1 ポイント上昇、「コミュニティ活動の状況」に対する「重視しない」が 1.5 ポイント上昇となっています。

図表 町民参加・行財政改革の分野（重要度）



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	1	重視する	153	7.9%	9.8%	-1.9
		2	やや重視する	524	26.9%	28.5%	-1.6
		3	どちらともいえない	979	50.3%	50.2%	0.1
		4	あまり重視しない	98	5.0%	4.8%	0.2
		5	重視しない	39	2.0%	2.5%	-0.5
			無回答	152	7.8%	4.2%	3.6
2	コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	1	重視する	152	7.8%	10.7%	-2.9
		2	やや重視する	507	26.1%	29.3%	-3.2
		3	どちらともいえない	945	48.6%	48.3%	0.3
		4	あまり重視しない	111	5.7%	5.4%	0.3
		5	重視しない	80	4.1%	2.6%	1.5
			無回答	150	7.7%	3.7%	4.0
3	男女共同参画（男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等）の状況	1	重視する	155	8.0%	8.8%	-0.8
		2	やや重視する	460	23.7%	25.4%	-1.7
		3	どちらともいえない	1,034	53.2%	54.0%	-0.8
		4	あまり重視しない	85	4.4%	4.7%	-0.3
		5	重視しない	59	3.0%	2.9%	0.1
			無回答	152	7.8%	4.3%	3.5
4	人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	1	重視する	222	11.4%	11.3%	0.1
		2	やや重視する	468	24.1%	26.6%	-2.5
		3	どちらともいえない	1,009	51.9%	51.6%	0.3
		4	あまり重視しない	54	2.8%	4.0%	-1.2
		5	重視しない	37	1.9%	1.9%	0.0
			無回答	155	8.0%	4.7%	3.3
5	行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	1	重視する	259	13.3%	13.7%	-0.4
		2	やや重視する	496	25.5%	28.7%	-3.2
		3	どちらともいえない	960	49.4%	48.2%	1.2
		4	あまり重視しない	40	2.1%	3.3%	-1.2
		5	重視しない	35	1.8%	1.3%	0.5
			無回答	155	8.0%	4.9%	3.1
6	広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	1	重視する	236	12.1%	14.2%	-2.1
		2	やや重視する	540	27.8%	30.7%	-2.9
		3	どちらともいえない	934	48.0%	45.2%	2.8
		4	あまり重視しない	50	2.6%	3.7%	-1.1
		5	重視しない	35	1.8%	1.9%	-0.1
			無回答	150	7.7%	4.4%	3.3
7	タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	1	重視する	199	10.2%	12.3%	-2.1
		2	やや重視する	524	26.9%	30.7%	-3.8
		3	どちらともいえない	925	47.6%	45.6%	2.0
		4	あまり重視しない	93	4.8%	4.6%	0.2
		5	重視しない	49	2.5%	2.2%	0.3
			無回答	155	8.0%	4.6%	3.4

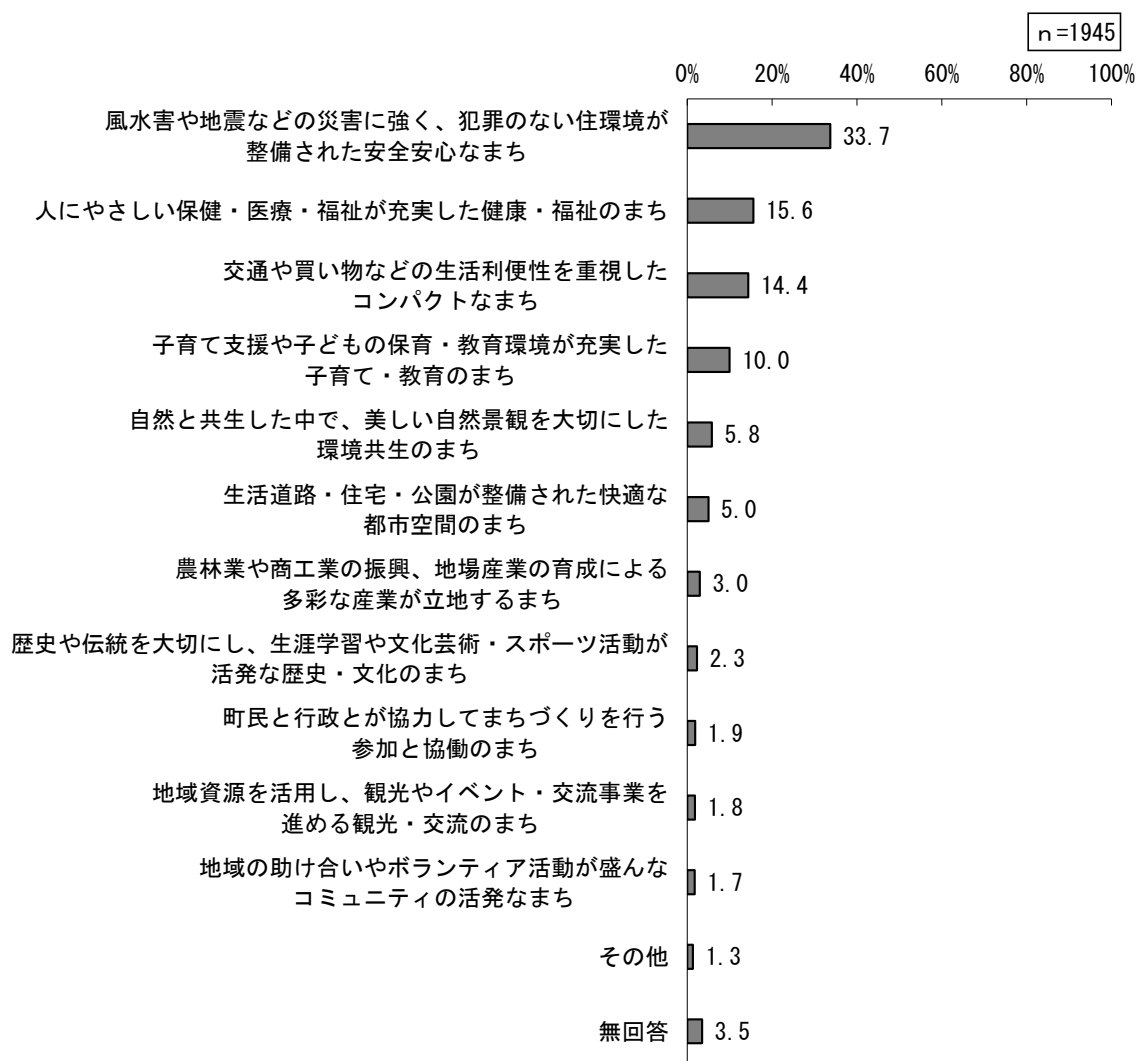
(2) まちの将来像について

問 柴田町は、あなたが住むまちとして、将来(4年後)どのようなまちになればよいと思いますか。(1つに○)

- まちの将来像については、「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が33.7%と最も高く、「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」が15.6%、「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」が14.4%と続きます。
- 前回調査との比較では「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が10.9ポイント上昇、「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」が6.7ポイント減少となっています。

図表 まちの将来像について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回は	比較
1	自然と共生した中で、美しい自然景観を大切に <u>した環境共生のまち</u>	113	5.8%	7.0%	-1.2
2	交通や買い物などの生活利便性を重視した <u>コンパクトなまち</u>	280	14.4%	15.3%	-0.9
3	風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された <u>安全安心なまち</u>	656	33.7%	22.8%	10.9
4	人にやさしい保健・医療・福祉が充実した <u>健康・福祉のまち</u>	303	15.6%	22.3%	-6.7
5	子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実した <u>子育て・教育のまち</u>	194	10.0%	8.9%	1.1
6	歴史や伝統を大切に、生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が <u>活発な歴史・文化のまち</u>	45	2.3%	3.3%	-1.0
7	農林業や商工業の振興、地場産業の育成による <u>多彩な産業が立地するまち</u>	58	3.0%	3.3%	-0.3
8	地域資源を活用し、観光やイベント・交流事業を進める <u>観光・交流のまち</u>	35	1.8%	2.4%	-0.6
9	地域の助け合いやボランティア活動が盛んな <u>コミュニティの活発なまち</u>	34	1.7%	3.0%	-1.3
10	町民と行政とが協力してまちづくりを行う <u>参加と協働のまち</u>	36	1.9%	2.6%	-0.7
11	生活道路・住宅・公園が整備された <u>快適な都市空間のまち</u>	97	5.0%	6.6%	-1.6
12	その他	26	1.3%	1.4%	-0.1
	無回答	68	3.5%	1.1%	2.4

- 性別によるまちの将来像についてみると、男女とも回答全体と同様に「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの将来像についてみると、各年代とも「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」、「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」、「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」を上位に挙げています。

図表 まちの将来像について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	安全安心なまち	コンパクトなまち	健康・福祉のまち
	31.3%	16.0%	13.9%
女性 (n=1,035)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	36.2%	16.7%	13.3%
10代 (n=37)	コンパクトなまち	安全安心なまち	健康・福祉のまち、 子育て・教育のまち、 快適な都市空間のまち
	35.1%	16.2%	10.8%
20代 (n=147)	コンパクトなまち	子育て・教育のまち	安全安心なまち
	21.1%	19.7%	19.0%

	第1位	第2位	第3位
30代 (n=277)	安全安心なまち	子育て・教育のまち	コンパクトなまち
	30.3%	22.7%	17.3%
40代 (n=325)	安全安心なまち	コンパクトなまち	子育て・教育のまち
	32.0%	14.8%	13.5%
50代 (n=312)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	37.8%	17.3%	14.7%
60代 (n=387)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	39.3%	19.9%	11.4%
70歳以上 (n=428)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	36.4%	18.5%	11.4%

- 居住地区別によるまちの将来像についてみると、各地区とも「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」、「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」、「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」を上位に挙げています。
- そのほか多くの地区で「子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」が上位に挙がっています。

図表 まちの将来像について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	30.8%	16.7%	15.0%
東船岡小学校区 (n=292)	安全安心なまち	コンパクトなまち	健康・福祉のまち
	42.1%	15.1%	11.3%
槻木小学校区 (n=477)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	28.5%	18.2%	16.4%
柴田小学校区 (n=93)	安全安心なまち	コンパクトなまち	健康・福祉のまち
	28.0%	15.1%	11.8%
船迫小学校区 (n=407)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	38.1%	15.0%	12.0%
西住小学校区 (n=96)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	36.5%	18.8%	12.5%

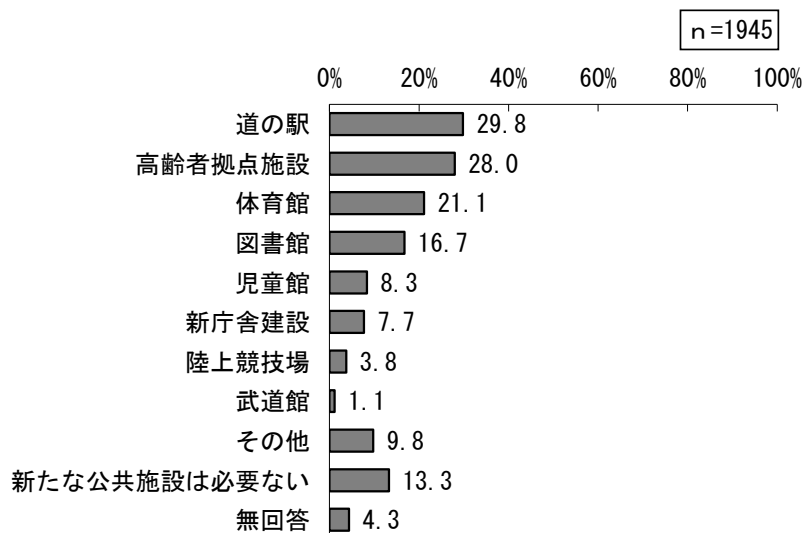
(3) まちに必要な公共施設について

問 あなたは、これからの柴田町にどのような公共施設が必要だと思いますか。(2つまで○)

- まちに必要な公共施設については、「道の駅」が 29.8%と最も高く、「高齢者拠点施設」が 28.0%、「体育館」が 21.1%と続きます。
- 前回調査との比較では「道の駅」が 2.2 ポイント上昇、「高齢者拠点施設」が 6.8 ポイント減少となっています。

図表 まちに必要な公共施設について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,945、前回：n=1,832)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	体育館	411	21.1%	20.0%	1.1
2	図書館	325	16.7%	19.3%	-2.6
3	高齢者拠点施設	544	28.0%	34.8%	-6.8
4	新庁舎建設	149	7.7%	12.2%	-4.5
5	児童館	162	8.3%	9.3%	-1.0
6	陸上競技場	73	3.8%	3.7%	0.1
7	武道館	22	1.1%	1.8%	-0.7
8	道の駅	580	29.8%	27.6%	2.2
9	その他	190	9.8%	9.6%	0.2
10	新たな公共施設は必要ない	258	13.3%	14.4%	-1.1
	無回答	84	4.3%	14.0%	-9.7

- 性別によるまちに必要な公共施設についてみると、男性は回答全体と同様に「道の駅」(32.4%)、女性は「高齢者拠点施設」(29.5%)が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちに必要な公共施設についてみると、多くの年代が「道の駅」、「高齢者拠点施設」、「体育館」、「図書館」を上位に挙げています。
- 60代以上では、「高齢者拠点施設」が最も高くなっています。

図表 まちに必要な公共施設について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	道の駅	高齢者拠点施設	体育館
	32.4%	26.1%	21.1%
女性 (n=1,035)	高齢者拠点施設	道の駅	体育館
	29.5%	28.3%	21.2%
10代 (n=37)	道の駅	体育館	図書館
	35.1%	29.7%	21.6%
20代 (n=147)	道の駅	体育館	高齢者拠点施設
	34.0%	25.2%	19.0%
30代 (n=277)	道の駅	体育館	児童館
	33.6%	20.9%	18.8%
40代 (n=325)	道の駅	体育館	高齢者拠点施設
	30.8%	20.6%	17.8%
50代 (n=312)	道の駅	体育館	高齢者拠点施設
	32.7%	25.0%	24.7%
60代 (n=387)	高齢者拠点施設	道の駅	図書館
	34.9%	28.2%	19.4%
70歳以上 (n=428)	高齢者拠点施設	道の駅	体育館
	44.6%	25.5%	20.1%

- 居住地区別によるまちに必要な公共施設についてみると、各地区とも「道の駅」、「高齢者拠点施設」、「体育館」、「図書館」を上位に挙げています。
- 柴田小学校区、船迫小学校区は「高齢者拠点施設」が最も高くなっています。

図表 まちに必要な公共施設について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	道の駅	高齢者拠点施設	体育館
	29.0%	25.8%	22.7%
東船岡小学校区 (n=292)	道の駅	高齢者拠点施設	体育館
	35.3%	27.4%	22.6%
槻木小学校区 (n=477)	道の駅	高齢者拠点施設	体育館
	30.0%	27.9%	19.3%
柴田小学校区 (n=93)	高齢者拠点施設	道の駅	図書館
	40.9%	38.7%	11.8%
船迫小学校区 (n=407)	高齢者拠点施設	道の駅	体育館
	28.3%	24.8%	23.8%
西住小学校区 (n=96)	道の駅	高齢者拠点施設	体育館
	30.2%	26.0%	18.8%

4 地域公共交通について

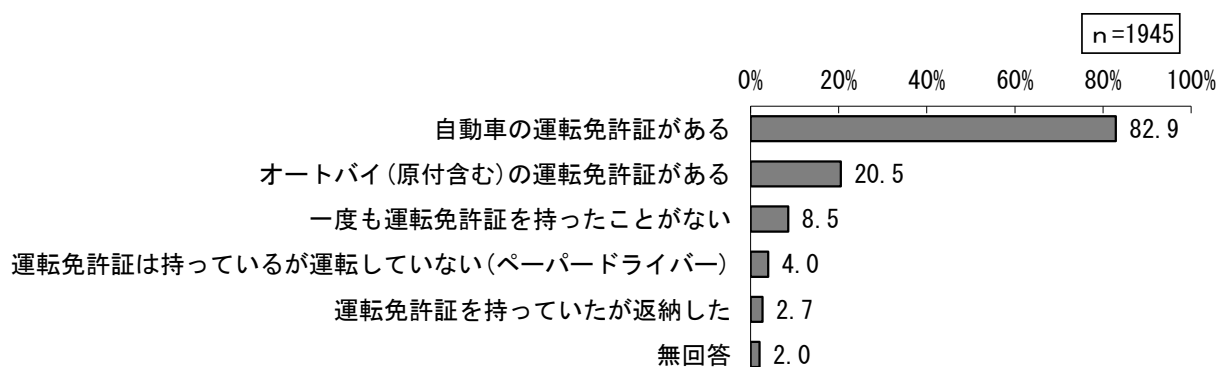
(1) 運転免許証の所持状況について

問 運転免許証をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- 運転免許証の所持状況については、「自動車の運転免許証がある」が 82.9%と最も高く、「オートバイ(原付含む)の運転免許証がある」が 20.5%、「一度も運転免許証を持ったことがない」が 8.5%と続きます。

図表 運転免許証の所持状況について

(※下記グラフは降順です)



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	自動車の運転免許証がある	1,613	82.9%
2	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	398	20.5%
3	運転免許証を持っていたが返納した	52	2.7%
4	運転免許証は持っているが運転していない(ペーパードライバー)	77	4.0%
5	一度も運転免許証を持ったことがない	166	8.5%
	無回答	39	2.0%

- 性別による運転免許証の所持状況についてみると、男女とも回答全体と同様に「自動車の運転免許証がある」が最も高くなっています。
- 年齢別による運転免許証の所持状況についてみると、各年代とも「自動車の運転免許証がある」、「オートバイ(原付含む)の運転免許証がある」、「一度も運転免許証を持ったことがない」を上位に挙げています。
- 10代は「一度も運転免許証を持ったことがない」が最も高くなっています。
- そのほか「運転免許証を持っていたが返納した」の割合は70歳以上が8.4%と最も高くなっています。

図表 運転免許証の所持状況について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	90.5%	29.3%	4.0%
女性 (n=1,035)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	77.2%	13.6%	12.4%
10代 (n=37)	一度も運転免許証を持ったことがない	自動車の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない(ペーパードライバー)
	56.8%	43.2%	8.1%
20代 (n=147)	自動車の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない(ペーパードライバー)一度も運転免許証を持ったことがない	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある
	81.6%	9.5%	8.8%
30代 (n=277)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	91.7%	16.6%	4.3%
40代 (n=325)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない(ペーパードライバー)
	88.3%	20.0%	4.3%
50代 (n=312)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	89.7%	27.2%	4.2%
60代 (n=387)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない(ペーパードライバー)
	84.8%	27.4%	6.7%
70歳以上 (n=428)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	71.7%	18.0%	16.8%

- 居住地区別による運転免許証の所持状況についてみると、各地区とも「自動車の運転免許証がある」、「オートバイ(原付含む)の運転免許証がある」、「一度も運転免許証を持ったことがない」を上位に挙げています。

図表 運転免許証の所持状況について（居住地区別：上位3項目）

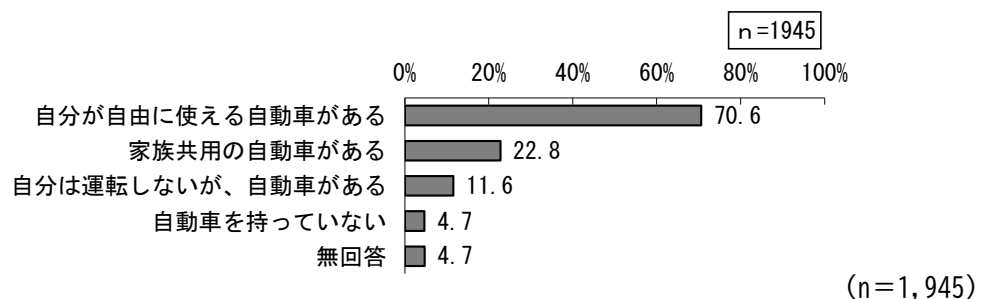
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の 運転免許証がある	一度も運転免許証を 持ったことがない
	82.7%	20.2%	8.7%
東船岡小学校区 (n=292)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の 運転免許証がある	一度も運転免許証を 持ったことがない
	82.5%	25.0%	5.1%
槻木小学校区 (n=477)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の 運転免許証がある	一度も運転免許証を 持ったことがない
	83.9%	19.5%	8.6%
柴田小学校区 (n=93)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の 運転免許証がある	一度も運転免許証を 持ったことがない
	92.5%	32.3%	3.2%
船迫小学校区 (n=407)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の 運転免許証がある	一度も運転免許証を 持ったことがない
	81.8%	17.9%	12.5%
西住小学校区 (n=96)	自動車の運転免許証がある	オートバイ(原付含む)の 運転免許証がある	運転免許証は持っている が運転していない(ペーパ ードライバー) 一度も運転免許証を 持ったことがない
	88.5%	18.8%	4.2%

(2) 自動車の所持状況について

問 あなたの世帯では自動車をお持ちですか。また、お持ちの場合は台数をご記入ください。
(あてはまるものすべてに○)

- 自動車の所持状況については、「自分が自由に使える自動車がある」が 70.6%と最も高く、「家族共用の自動車がある」が 22.8%、「自分は運転しないが、自動車がある」が 11.6%と続きます。
- 「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」を合わせた“自動車を持っている”^{*}方の世帯での自動車保有数は平均で 2 台となっています。

図表 自動車の所持状況について



		回答数	構成比
1	自分が自由に使える自動車がある	1,373	70.6%
2	家族共用の自動車がある	443	22.8%
3	自分は運転しないが、自動車がある	225	11.6%
4	自動車を持っていない	91	4.7%
	無回答	92	4.7%

※“自動車を持っている”：「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」と回答した方

- 性別による自動車の所持状況についてみると、男女とも回答全体と同様に「自分が自由に使える自動車がある」が最も高くなっています。
- 年齢別による自動車の所持状況についてみると、10代は「自分は運転しないが、自動車がある」、そのほかの年代は「自分が自由に使える自動車がある」が最も高くなっています。

図表 自動車の所持状況について（性別・年齢別）

	“自動車を持っている”			自動車を持っていない	無回答
	自由に使える自動車	家族共用	運転しないがある		
男性 (n=857)	78.5%	27.1%	5.7%	3.7%	3.6%
女性 (n=1,035)	64.7%	19.7%	16.3%	5.1%	5.1%

	“自動車を持っている”			自動車を 持っていない	無回答
	自由に使える 自動車	家族共用	運転しないが ある		
10代 (n=37)	16.2%	13.5%	62.2%	13.5%	0.0%
20代 (n=147)	60.5%	19.7%	12.9%	10.9%	4.1%
30代 (n=277)	75.8%	30.0%	9.7%	1.1%	2.9%
40代 (n=325)	82.2%	23.1%	6.8%	1.8%	3.7%
50代 (n=312)	80.8%	21.8%	5.1%	2.6%	3.8%
60代 (n=387)	70.0%	22.7%	11.9%	4.7%	4.7%
70歳以上 (n=428)	61.2%	21.3%	15.9%	7.5%	6.8%

※“自動車を持っている”：「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」と回答した方

- 居住地区別による自動車の所持状況についてみると、各地区とも「自分が自由に使える自動車がある」が最も高くなっています。

図表 自動車の所持状況について（居住地区別）

	“自動車を持っている”			自動車を 持っていない	無回答
	自由に使える 自動車	家族共用	運転しないが ある		
船岡小学校区 (n=520)	65.8%	25.6%	11.0%	6.0%	5.8%
東船岡小学校区 (n=292)	74.3%	20.9%	11.3%	4.8%	3.8%
槻木小学校区 (n=477)	71.7%	21.8%	12.6%	3.8%	3.4%
柴田小学校区 (n=93)	84.9%	26.9%	3.2%	1.1%	5.4%
船迫小学校区 (n=407)	71.0%	21.1%	13.5%	4.7%	4.9%
西住小学校区 (n=96)	76.0%	27.1%	8.3%	3.1%	0.0%

※“自動車を持っている”：「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」と回答した方

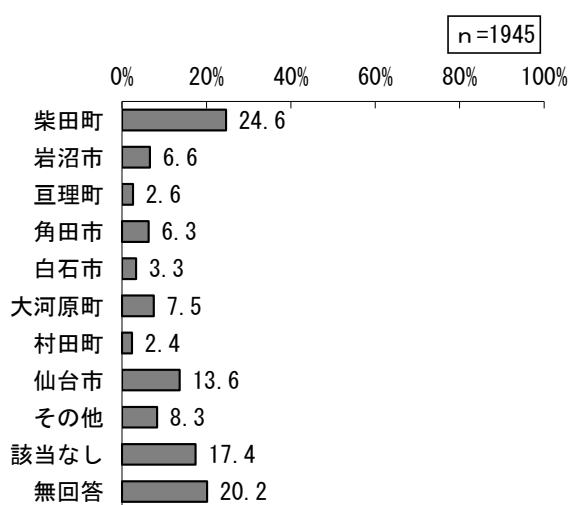
(3) 出かけ先について

問 出かけ先についてうかがいます。ア～カの項目それぞれの行き先についてお答えください。
(ア～カそれぞれ行き先を3つまで○)

ア. 通勤・通学

- 通勤・通学先については、「柴田町」が24.6%と最も高く、「仙台市」が13.6%、「大河原町」が7.5%と続きます。

図表 通勤・通学先について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	柴田町	479	24.6%
2	岩沼市	128	6.6%
3	亶理町	50	2.6%
4	角田市	122	6.3%
5	白石市	65	3.3%
6	大河原町	146	7.5%
7	村田町	46	2.4%
8	仙台市	265	13.6%
9	その他	161	8.3%
10	該当なし	339	17.4%
	無回答	392	20.2%

- 性別による通勤・通学先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による通勤・通学先についてみると、各年代とも「柴田町」、「仙台市」を上位に挙げています。
- 10代は「仙台市」が最も高くなっています。

図表 通勤・通学先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性（n=857）	柴田町	仙台市	角田市
	23.6%	16.8%	7.7%
女性（n=1,035）	柴田町	仙台市	大河原町
	25.4%	11.5%	7.8%
10代（n=37）	仙台市	柴田町	大河原町
	35.1%	24.3%	10.8%
20代（n=147）	柴田町	仙台市	角田市
	26.5%	23.8%	8.2%
30代（n=277）	柴田町	大河原町	仙台市
	33.2%	14.4%	12.6%
40代（n=325）	柴田町	仙台市	大河原町
	31.4%	20.0%	12.9%
50代（n=312）	柴田町	仙台市	角田市
	31.7%	16.7%	8.7%
60代（n=387）	柴田町	仙台市	岩沼市
	25.3%	11.4%	4.7%
70歳以上（n=428）	柴田町	仙台市	岩沼市 大河原町
	7.7%	4.7%	2.3%

○ 居住地区別による通勤・通学先についてみると、各地区とも「柴田町」、「仙台市」を上位に挙げています。

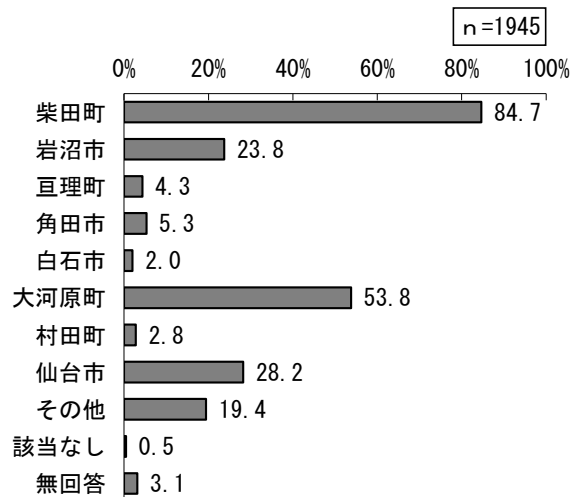
図表 通勤・通学先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区（n=520）	柴田町	仙台市	大河原町
	27.7%	15.4%	7.3%
東船岡小学校区（n=292）	柴田町	角田市	仙台市
	27.7%	10.3%	9.6%
槻木小学校区（n=477）	柴田町	仙台市	岩沼市
	19.7%	18.0%	8.0%
柴田小学校区（n=93）	柴田町	仙台市	岩沼市
	28.0%	15.1%	10.8%
船迫小学校区（n=407）	柴田町	仙台市	大河原町
	24.3%	11.5%	8.6%
西住小学校区（n=96）	柴田町	大河原町	仙台市
	19.8%	12.5%	9.4%

イ. 買い物

- 買い物先については、「柴田町」が 84.7%と最も高く、「大河原町」が 53.8%、「仙台市」が 28.2%と続きます。

図表 買い物先について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	柴田町	1,647	84.7%
2	岩沼市	462	23.8%
3	亶理町	84	4.3%
4	角田市	103	5.3%
5	白石市	39	2.0%
6	大河原町	1,046	53.8%
7	村田町	54	2.8%
8	仙台市	549	28.2%
9	その他	378	19.4%
10	該当なし	9	0.5%
	無回答	61	3.1%

- 性別による買い物先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による買い物先についてみると、各年代とも「柴田町」、「大河原町」、「仙台市」、「岩沼市」を上位に挙げています。

図表 買い物先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	柴田町	大河原町	仙台市
	84.6%	54.4%	29.2%
女性 (n=1,035)	柴田町	大河原町	仙台市
	85.4%	54.3%	28.2%
10代 (n=37)	柴田町	大河原町	仙台市
	67.6%	51.4%	51.4%
20代 (n=147)	柴田町	大河原町	仙台市
	78.9%	47.6%	45.6%
30代 (n=277)	柴田町	大河原町	仙台市
	80.1%	58.8%	31.4%
40代 (n=325)	柴田町	大河原町	仙台市
	82.5%	60.3%	36.3%
50代 (n=312)	柴田町	大河原町	岩沼市
	85.9%	55.8%	28.8%
60代 (n=387)	柴田町	大河原町	仙台市
	88.6%	52.7%	26.9%
70歳以上 (n=428)	柴田町	大河原町	岩沼市
	89.7%	49.5%	21.0%

- 居住地区別による買い物先についてみると、各地区とも「柴田町」、「大河原町」、「仙台市」、「岩沼市」を上位に挙げています。
- 西住小学校区は「大河原町」が最も高くなっています。

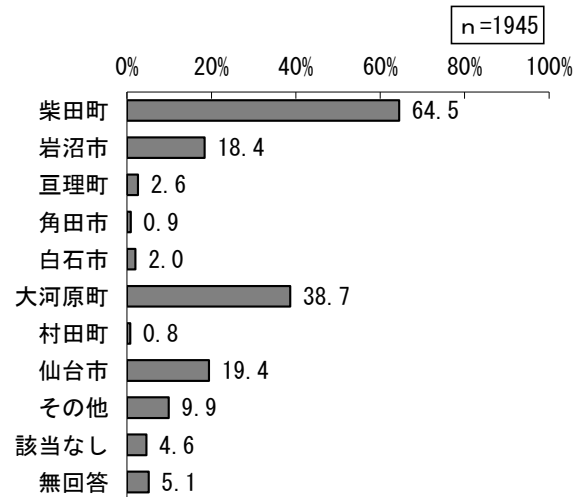
図表 買い物先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	柴田町	大河原町	仙台市
	89.2%	55.8%	34.6%
東船岡小学校区 (n=292)	柴田町	大河原町	岩沼市
	88.7%	53.4%	19.9%
槻木小学校区 (n=477)	柴田町	大河原町	岩沼市
	80.1%	43.6%	42.3%
柴田小学校区 (n=93)	柴田町	大河原町	岩沼市
	88.2%	55.9%	33.3%
船迫小学校区 (n=407)	柴田町	大河原町	仙台市
	83.3%	58.2%	25.8%
西住小学校区 (n=96)	大河原町	柴田町	仙台市
	85.4%	79.2%	32.3%

ウ. 通院

- 通院先については、「柴田町」が64.5%と最も高く、「大河原町」が38.7%、「仙台市」が19.4%と続きます。

図表 通院先について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	柴田町	1,254	64.5%
2	岩沼市	357	18.4%
3	亶理町	50	2.6%
4	角田市	17	0.9%
5	白石市	39	2.0%
6	大河原町	752	38.7%
7	村田町	15	0.8%
8	仙台市	377	19.4%
9	その他	192	9.9%
10	該当なし	89	4.6%
	無回答	100	5.1%

- 性別による通院先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による通院先についてみると、各年代とも「柴田町」、「大河原町」、「仙台市」、「岩沼市」を上位に挙げています。

図表 通院先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	柴田町	大河原町	仙台市
	65.6%	40.5%	18.6%
女性 (n=1,035)	柴田町	大河原町	仙台市
	64.0%	37.8%	20.1%
10代 (n=37)	柴田町	大河原町	仙台市
	56.8%	35.1%	8.1%
20代 (n=147)	柴田町	大河原町	仙台市
	56.5%	27.2%	18.4%
30代 (n=277)	柴田町	大河原町	岩沼市
	60.3%	36.5%	18.4%
40代 (n=325)	柴田町	大河原町	仙台市
	63.7%	37.5%	25.2%
50代 (n=312)	柴田町	大河原町	仙台市
	60.9%	35.9%	17.9%
60代 (n=387)	柴田町	大河原町	仙台市
	67.2%	37.0%	21.2%
70歳以上 (n=428)	柴田町	大河原町	岩沼市
	72.9%	50.2%	22.0%

- 居住地区別による通院先についてみると、各地区とも「柴田町」、「大河原町」、「仙台市」、「岩沼市」を上位に挙げています。
- 西住小学校区は「大河原町」が最も高くなっています。

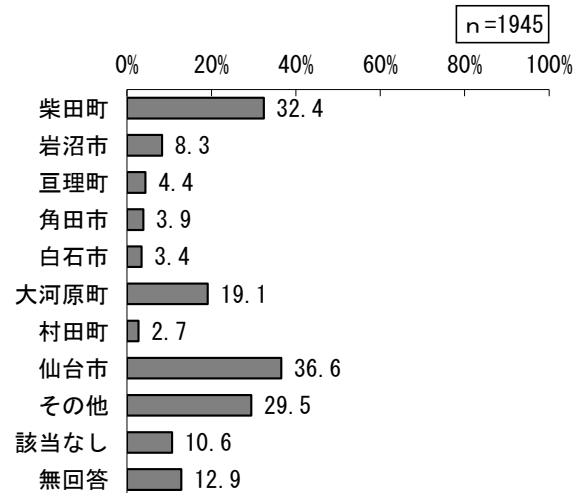
図表 通院先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	柴田町	大河原町	仙台市
	66.0%	38.8%	22.5%
東船岡小学校区 (n=292)	柴田町	大河原町	岩沼市
	64.0%	38.0%	19.5%
槻木小学校区 (n=477)	柴田町	岩沼市	大河原町
	63.7%	29.8%	27.9%
柴田小学校区 (n=93)	柴田町	大河原町	岩沼市
	67.7%	35.5%	29.0%
船迫小学校区 (n=407)	柴田町	大河原町	仙台市
	68.6%	46.2%	20.6%
西住小学校区 (n=96)	大河原町	柴田町	仙台市
	67.7%	50.0%	12.5%

エ. 余暇（趣味など）

- 余暇（趣味など）の出かけ先については、「仙台市」が 36.6%と最も高く、「柴田町」が 32.4%、「大河原町」が 19.1%と続きます。

図表 余暇（趣味など）の出かけ先について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	柴田町	630	32.4%
2	岩沼市	161	8.3%
3	亶理町	85	4.4%
4	角田市	75	3.9%
5	白石市	67	3.4%
6	大河原町	372	19.1%
7	村田町	53	2.7%
8	仙台市	711	36.6%
9	その他	573	29.5%
10	該当なし	207	10.6%
	無回答	250	12.9%

- 性別による余暇（趣味など）の出かけ先についてみると、男女とも回答全体と同様に「仙台市」が最も高くなっています。
- 年齢別による余暇（趣味など）の出かけ先についてみると、各年代とも「仙台市」、「柴田町」、「大河原町」を上位に挙げています。
- 60代以上は「柴田町」が最も高くなっています。

図表 余暇（趣味など）の出かけ先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性（n=857）	仙台市	柴田町	大河原町
	36.8%	36.3%	18.2%
女性（n=1,035）	仙台市	柴田町	大河原町
	37.0%	30.0%	20.0%
10代（n=37）	仙台市	大河原町	柴田町
	62.2%	27.0%	21.6%
20代（n=147）	仙台市	大河原町	柴田町
	66.0%	24.5%	17.7%
30代（n=277）	仙台市	大河原町	柴田町
	47.3%	30.0%	26.7%
40代（n=325）	仙台市	柴田町	大河原町
	48.6%	26.2%	21.5%
50代（n=312）	仙台市	柴田町	大河原町
	33.3%	32.1%	17.3%
60代（n=387）	柴田町	仙台市	大河原町
	40.8%	30.2%	14.7%
70歳以上（n=428）	柴田町	仙台市	大河原町
	40.7%	17.8%	12.9%

- 居住地区別による余暇（趣味など）の出かけ先についてみると、各地区とも「仙台市」、「柴田町」、「大河原町」を上位に挙げています。
- 東船岡小学校区は「柴田町」、西住小学校区は「大河原町」が最も高くなっています。

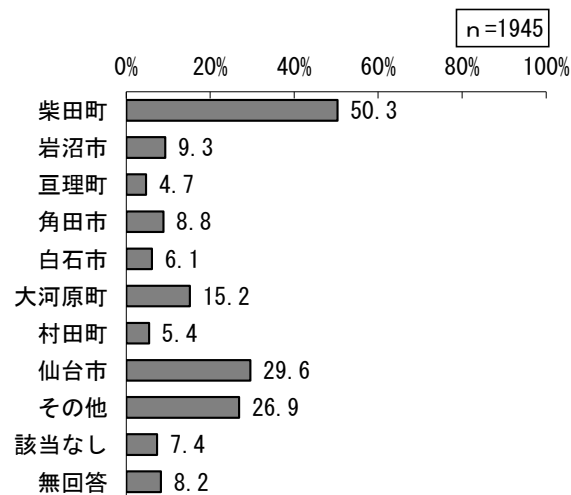
図表 余暇（趣味など）の出かけ先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区（n=520）	仙台市	柴田町	大河原町
	41.5%	35.6%	21.5%
東船岡小学校区（n=292）	柴田町	仙台市	大河原町
	37.3%	27.4%	18.2%
槻木小学校区（n=477）	仙台市	柴田町	大河原町
	44.9%	28.1%	16.8%
柴田小学校区（n=93）	仙台市	柴田町	大河原町
	24.7%	22.6%	14.0%
船迫小学校区（n=407）	仙台市	柴田町	大河原町
	35.9%	34.9%	17.7%
西住小学校区（n=96）	大河原町	柴田町	仙台市
	31.3%	26.0%	25.0%

オ. 家族・友人などへの訪問

- 家族・友人などへの訪問先については、「柴田町」が 50.3%と最も高く、「仙台市」が 29.6%、「大河原町」が 15.2%と続きます。

図表 家族・友人などへの訪問先について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	柴田町	979	50.3%
2	岩沼市	181	9.3%
3	亶理町	92	4.7%
4	角田市	172	8.8%
5	白石市	119	6.1%
6	大河原町	295	15.2%
7	村田町	106	5.4%
8	仙台市	575	29.6%
9	その他	523	26.9%
10	該当なし	143	7.4%
	無回答	160	8.2%

- 性別による家族・友人などへの訪問先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による家族・友人などへの訪問先についてみると、20代以上は「柴田町」、「仙台市」、「大河原町」を上位に挙げています。
- 10代は「柴田町」、「仙台市」のほかに「角田市」を上位に挙げています。

図表 家族・友人などへの訪問先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	柴田町	仙台市	大河原町
	48.5%	27.3%	15.2%
女性 (n=1,035)	柴田町	仙台市	大河原町
	52.5%	31.9%	15.3%
10代 (n=37)	柴田町	仙台市	角田市
	64.9%	35.1%	10.8%
20代 (n=147)	柴田町	仙台市	大河原町
	45.6%	38.8%	16.3%
30代 (n=277)	柴田町	仙台市	大河原町
	48.4%	32.9%	14.8%
40代 (n=325)	柴田町	仙台市	大河原町
	47.1%	33.2%	12.6%
50代 (n=312)	柴田町	仙台市	大河原町
	48.7%	24.7%	12.5%
60代 (n=387)	柴田町	仙台市	大河原町
	54.5%	30.7%	17.6%
70歳以上 (n=428)	柴田町	仙台市	大河原町
	52.3%	24.3%	17.3%

○ 居住地区別による家族・友人などへの訪問先についてみると、各地区とも「柴田町」、「仙台市」を上位に挙げています。

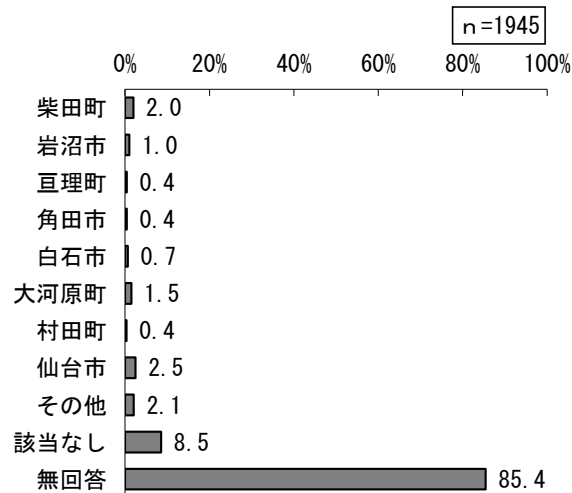
図表 家族・友人などへの訪問先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	柴田町	仙台市	大河原町
	51.9%	34.6%	13.5%
東船岡小学校区 (n=292)	柴田町	仙台市	大河原町
	52.4%	23.6%	17.5%
槻木小学校区 (n=477)	柴田町	仙台市	岩沼市
	48.4%	34.0%	13.8%
柴田小学校区 (n=93)	柴田町	仙台市	岩沼市
	49.5%	20.4%	17.2%
船迫小学校区 (n=407)	柴田町	仙台市	大河原町
	50.9%	27.8%	17.0%
西住小学校区 (n=96)	柴田町	大河原町	仙台市
	43.8%	39.6%	21.9%

カ. その他

- その他の出かけ先については、「仙台市」が 2.5%と最も高く、「柴田町」が 2.0%、「大河原町」が 1.5%と続きます。

図表 その他の出かけ先について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	柴田町	38	2.0%
2	岩沼市	19	1.0%
3	亶理町	8	0.4%
4	角田市	8	0.4%
5	白石市	13	0.7%
6	大河原町	29	1.5%
7	村田町	7	0.4%
8	仙台市	48	2.5%
9	その他	40	2.1%
10	該当なし	166	8.5%
	無回答	1,662	85.4%

- 性別によるその他の出かけ先についてみると、男性は「柴田町」、「仙台市」(2.3%)、女性は回答全体と同様に「仙台市」(2.5%)が最も高くなっています。
- 年齢別によるその他の出かけ先についてみると、各年代とも「仙台市」、「柴田町」、「大河原町」を上位に挙げています。

図表 その他の出かけ先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	柴田町、仙台市	大河原町	岩沼市
	2.3%	1.8%	1.1%
女性 (n=1,035)	仙台市	柴田町	大河原町
	2.5%	1.5%	1.2%
10代 (n=37)	—	—	—
	—	—	—
20代 (n=147)	仙台市	大河原町	柴田町、岩沼市
	4.1%	2.7%	1.4%
30代 (n=277)	仙台市	岩沼市	柴田町
	2.9%	1.8%	1.4%
40代 (n=325)	仙台市	柴田町	大河原町
	4.3%	4.0%	2.2%
50代 (n=312)	仙台市	柴田町、岩沼市	白石市、大河原町
	1.6%	1.3%	1.0%
60代 (n=387)	仙台市	柴田町	白石市、大河原町
	2.3%	2.1%	1.3%
70歳以上 (n=428)	大河原町、仙台市	柴田町	亶理町
	1.4%	1.2%	0.5%

○ 居住地区別によるその他の出かけ先についてみると、各地区とも「仙台市」、「柴田町」を上位に挙げています。

図表 その他の出かけ先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	柴田町	仙台市	岩沼市
	2.7%	2.3%	1.3%
東船岡小学校区 (n=292)	仙台市	柴田町、岩沼市	白石市、大河原町
	3.8%	1.7%	1.0%
槻木小学校区 (n=477)	仙台市	大河原町	柴田町、岩沼市
	2.7%	1.5%	1.0%
柴田小学校区 (n=93)	柴田町、岩沼市、大河原町、仙台市		
	2.2%		
船迫小学校区 (n=407)	仙台市	柴田町	大河原町
	2.0%	1.7%	1.2%
西住小学校区 (n=96)	大河原町	柴田町	仙台市
	7.3%	3.1%	2.1%

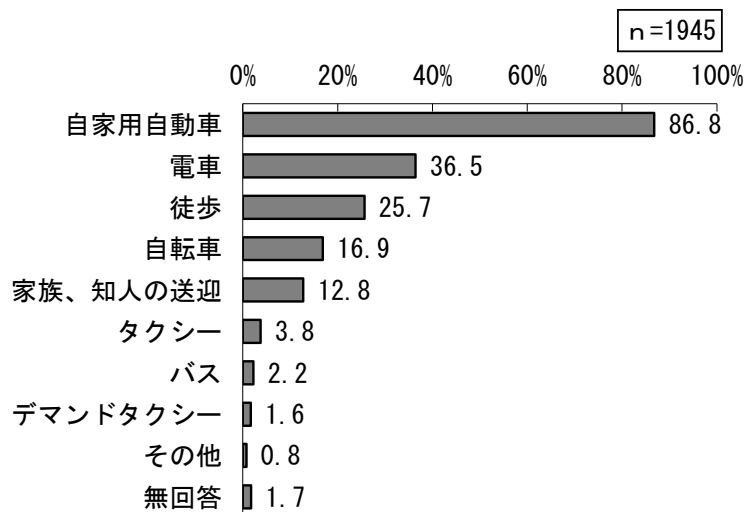
(4) 出かけ先への移動手段について

問 前問での行き先への移動手段についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 出かけ先への移動手段については、「自家用自動車」が 86.8%と最も高く、「電車」が 36.5%、「徒歩」が 25.7%と続きます。

図表 出かけ先への移動手段について

(※下記グラフは降順です)



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	自家用自動車	1,688	86.8%
2	タクシー	73	3.8%
3	デマンドタクシー	32	1.6%
4	バス	43	2.2%
5	電車	709	36.5%
6	徒歩	499	25.7%
7	自転車	328	16.9%
8	家族、知人の送迎	248	12.8%
9	その他	15	0.8%
	無回答	34	1.7%

- 性別による出かけ先への移動手段についてみると、男女とも回答全体と同様に「自家用自動車」が最も高くなっています。
- 年齢別による出かけ先への移動手段についてみると、20代以上は「自家用自動車」、「電車」、「徒歩」を上位に挙げています。
- 10代は「電車」が最も高く、「自転車」、「徒歩」と続きます。

図表 出かけ先への移動手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	自家用自動車	電車	徒歩
	90.3%	36.2%	24.0%
女性 (n=1,035)	自家用自動車	電車	徒歩
	84.8%	37.0%	27.1%
10代 (n=37)	電車	自転車	徒歩
	78.4%	51.4%	48.6%
20代 (n=147)	自家用自動車	電車	徒歩
	78.2%	57.8%	27.9%
30代 (n=277)	自家用自動車	電車	徒歩
	91.0%	35.4%	20.2%
40代 (n=325)	自家用自動車	電車	徒歩
	93.8%	32.6%	17.2%
50代 (n=312)	自家用自動車	電車	徒歩
	92.3%	32.7%	19.2%
60代 (n=387)	自家用自動車	電車	徒歩
	89.9%	35.7%	27.1%
70歳以上 (n=428)	自家用自動車	徒歩	電車
	79.7%	36.4%	33.2%

- 居住地区別による出かけ先への移動手段についてみると、各地区とも「自家用自動車」、「電車」、「徒歩」を上位に挙げています。
- 柴田小学校区は「家族、知人の送迎」を上位に挙げています。

図表 出かけ先への移動手段について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	自家用自動車	電車	徒歩
	85.4%	40.2%	29.6%
東船岡小学校区 (n=292)	自家用自動車	電車	徒歩
	88.7%	25.7%	21.9%
槻木小学校区 (n=477)	自家用自動車	電車	徒歩
	87.6%	47.0%	24.1%
柴田小学校区 (n=93)	自家用自動車	電車	家族、知人の送迎

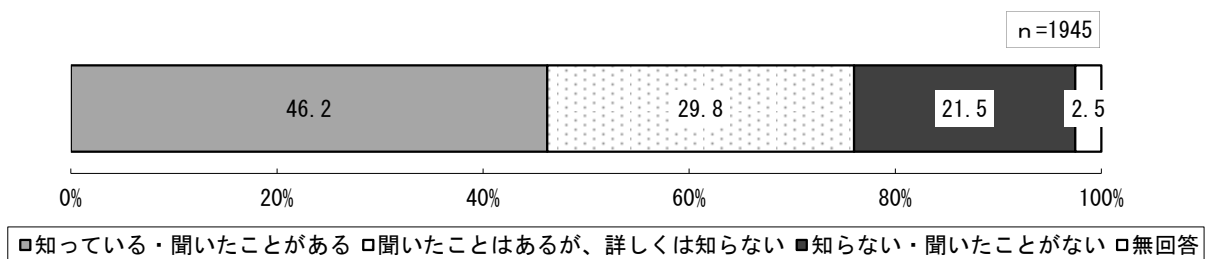
	第1位	第2位	第3位
	95.7%	22.6%	9.7%
船迫小学校区 (n=407)	自家用自動車 84.5%	電車 35.1%	徒歩 30.0%
西住小学校区 (n=96)	自家用自動車 94.8%	徒歩 21.9%	電車 20.8%

(5) デマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度について

問 デマンドタクシー（はなみちゃんGO）についてご存じですか。（1つに○）

- デマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度については、「知っている・聞いたことがある」が46.2%と最も高く、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が29.8%、「知らない・聞いたことがない」が21.5%と続きます。
- 「知っている・聞いたことがある」（46.2%）、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」（29.8%）を合わせた8割近く（76.0%）の方は“知っている”※ことがうかがえます。

図表 デマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度について



		(n=1,945)	
		回答数	構成比
1	知っている・聞いたことがある	899	46.2%
2	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	579	29.8%
3	知らない・聞いたことがない	418	21.5%
	無回答	49	2.5%

※“知っている”：「知っている・聞いたことがある」、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方

- 性別によるデマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度についてみると、男女とも回答全体と同様に「知っている・聞いたことがある」が最も高くなっています。
- 年齢別によるデマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度についてみると、10代～30代は「知らない・聞いたことがない」、40代以上は「知っている・聞いたことがある」が最も高くなっています。

図表 デマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度について（性別・年齢別）

	“知っている”		知らない・聞いたことがない	無回答
	知っている・聞いたことがある	聞いたことはあるが、詳しくは知らない		
男性（n=857）	39.9%	30.6%	27.7%	1.9%
女性（n=1,035）	51.7%	29.5%	16.4%	2.4%
10代（n=37）	21.6%	13.5%	62.2%	2.7%
20代（n=147）	21.8%	19.0%	56.5%	2.7%
30代（n=277）	34.7%	26.0%	37.2%	2.2%
40代（n=325）	46.2%	26.2%	25.5%	2.2%
50代（n=312）	51.3%	30.8%	15.7%	2.2%
60代（n=387）	50.9%	36.2%	11.9%	1.0%
70歳以上（n=428）	57.2%	33.6%	6.1%	3.0%

※“知っている”：「知っている・聞いたことがある」、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方

- 居住地区別によるデマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度についてみると、各地区とも「知っている・聞いたことがある」が最も高くなっています。

図表 デマンドタクシー（はなみちゃんGO）の認知度について（居住地区別）

	“知っている”		知らない・聞いたことがない	無回答
	知っている・聞いたことがある	聞いたことはあるが、詳しくは知らない		
船岡小学校区（n=520）	44.8%	29.4%	23.5%	2.3%
東船岡小学校区（n=292）	45.5%	31.8%	19.9%	2.7%
槻木小学校区（n=477）	47.0%	30.6%	20.1%	2.3%
柴田小学校区（n=93）	61.3%	20.4%	17.2%	1.1%
船迫小学校区（n=407）	46.2%	30.2%	21.6%	2.0%
西住小学校区（n=96）	40.6%	32.3%	26.0%	1.0%

※“知っている”：「知っている・聞いたことがある」、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方

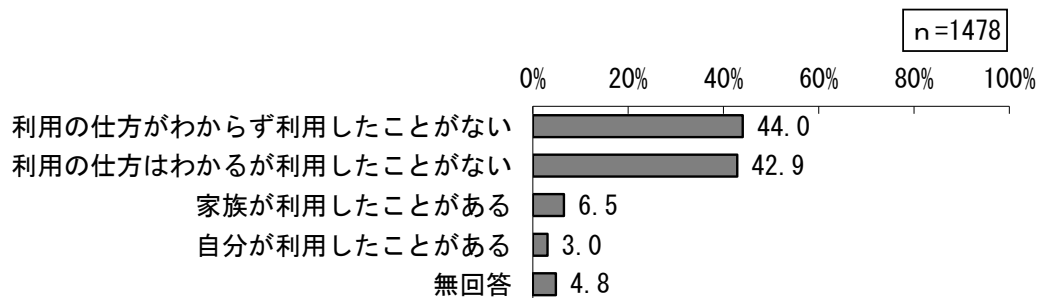
(6) デマンドタクシーの利用状況について

問 前問で「1.知っている・聞いたことがある」、「2.聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方にうかがいます。実際に利用したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- デマンドタクシーの利用状況については、「利用の仕方がわからず利用したことがない」が44.0%と最も高く、「利用の仕方はわかるが利用したことがない」が42.9%、「家族が利用したことがある」が6.5%と続きます。
- 「自分が利用したことがある」(3.0%)、「家族が利用したことがある」(6.5%)を合わせた1割(9.5%)の方は“利用したことがある”※ことがうかがえます。

図表 デマンドタクシーの利用状況について

(※下記グラフは降順です)



(n=1,478)

		回答数	構成比
1	自分が利用したことがある	45	3.0%
2	家族が利用したことがある	96	6.5%
3	利用の仕方がわからず利用したことがない	651	44.0%
4	利用の仕方はわかるが利用したことがない	634	42.9%
	無回答	71	4.8%

※“利用したことがある”：「自分が利用したことがある」、「家族が利用したことがある」と回答した方

- 性別によるデマンドタクシーの利用状況についてみると、男性は回答全体と同様に「利用の仕方がわからず利用したことがない」(49.5%)、女性は「利用の仕方はわかるが利用したことがない」(44.0%)が最も高くなっています。
- 年齢別によるデマンドタクシーの利用状況についてみると、10代~40代、60代は「利用の仕方がわからず利用したことがない」、50代、70歳以上は「利用の仕方はわかるが利用したことがない」が最も高くなっています。

図表 デマンドタクシーの利用状況について（性別・年齢別）

	“利用したことがある”		“利用したことがない”		無回答
	自分が利用	家族が利用	利用の仕方がわからず	利用の仕方はわかる	
男性 (n=604)	1.2%	6.5%	49.5%	41.6%	3.5%
女性 (n=840)	4.4%	6.4%	39.8%	44.0%	6.0%
10代 (n=13)	7.7%	15.4%	53.8%	23.1%	0.0%
20代 (n=60)	0.0%	8.3%	60.0%	31.7%	0.0%
30代 (n=168)	0.6%	4.8%	53.6%	40.5%	1.2%
40代 (n=235)	0.9%	3.0%	52.8%	42.6%	1.3%
50代 (n=256)	0.4%	10.2%	40.2%	46.5%	4.3%
60代 (n=337)	3.9%	9.8%	42.1%	39.8%	5.9%
70歳以上 (n=389)	6.7%	3.3%	36.0%	47.0%	8.7%

※“利用したことがある”：「自分が利用したことがある」、「家族が利用したことがある」と回答した方

※“利用したことがない”：「利用の仕方がわからず利用したことがない」、「利用の仕方はわかるが利用したことがない」と回答した方

- 居住地区別によるデマンドタクシーの利用状況についてみると、槻木小学校区、柴田小学校区は「利用の仕方はわかるが利用したことがない」、そのほかの地区は「利用の仕方がわからず利用したことがない」が最も高くなっています。

図表 デマンドタクシーの利用状況について（居住地区別）

	“利用したことがある”		“利用したことがない”		無回答
	自分が利用	家族が利用	利用の仕方がわからず	利用の仕方はわかる	
船岡小学校区 (n=386)	1.3%	4.4%	46.9%	44.3%	3.9%
東船岡小学校区 (n=226)	3.5%	7.5%	42.9%	42.0%	6.2%
槻木小学校区 (n=370)	3.2%	7.0%	42.7%	44.3%	3.5%
柴田小学校区 (n=76)	2.6%	15.8%	34.2%	43.4%	6.6%
船迫小学校区 (n=311)	3.9%	5.8%	45.0%	42.1%	4.5%
西住小学校区 (n=70)	4.3%	5.7%	51.4%	31.4%	8.6%

※“利用したことがある”：「自分が利用したことがある」、「家族が利用したことがある」と回答した方

※“利用したことがない”：「利用の仕方がわからず利用したことがない」、「利用の仕方はわかるが利用したことがない」と回答した方

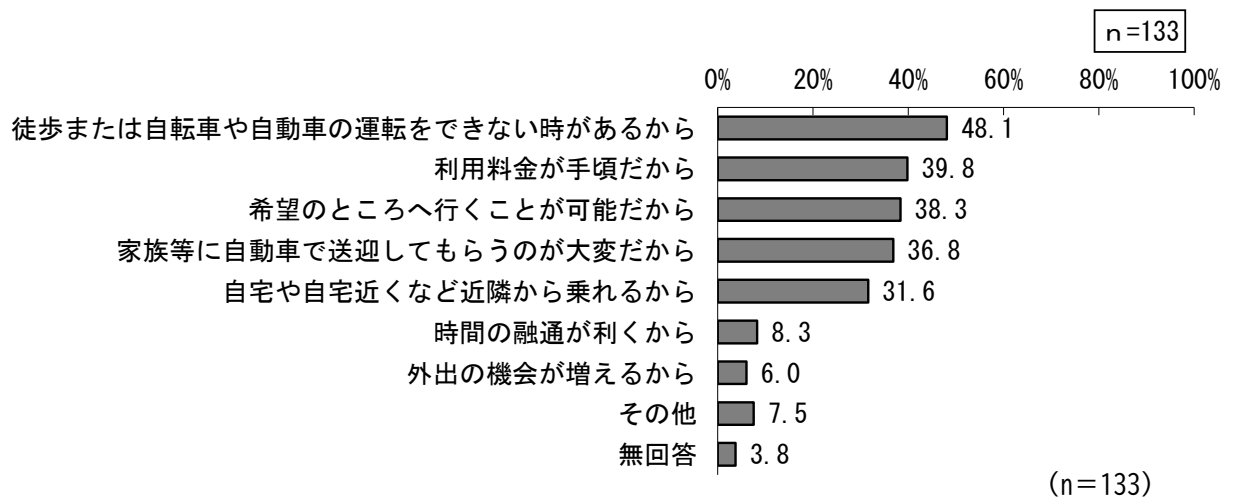
(7) デマンドタクシー利用の理由について

問 前々問で「1. 自分が利用したことがある」、「2. 家族が利用したことがある」と回答した方にかかっています。デマンドタクシーを利用する理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- デマンドタクシー利用の理由については、「徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから」が48.1%と最も高く、「利用料金が手頃だから」が39.8%、「希望のところへ行くことが可能だから」が38.3%と続きます。

図表 デマンドタクシー利用の理由について

(※下記グラフは降順です)



		回答数	構成比
1	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから	64	48.1%
2	家族等に自動車で送迎してもらおうが大変だから	49	36.8%
3	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから	42	31.6%
4	希望のところへ行くことが可能だから	51	38.3%
5	時間の融通が利くから	11	8.3%
6	外出の機会が増えるから	8	6.0%
7	利用料金が手頃だから	53	39.8%
8	その他	10	7.5%
	無回答	5	3.8%

- 性別によるデマンドタクシー利用の理由についてみると、男性は「希望のところへ行くことが可能だから」(40.5%)、女性は回答全体と同様に「徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから」(54.5%)が最も高くなっています。
- 年齢別によるデマンドタクシー利用の理由についてみると、多くの年代が「徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから」、「利用料金が手頃だから」、「希望のところへ行くことが可能だから」、「家族等に自動車で送迎してもらおうが大変だから」を上位に挙げています。

図表 デマンドタクシー利用の理由について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=42)	希望のところへ行くことが可能だから	利用料金が手頃だから	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから
	40.5%	35.7%	33.3%
女性 (n=88)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから	家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから、利用料金が手頃だから	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから、希望のところへ行くことが可能だから
	54.5%	40.9%	36.4%
10代 (n=3)	希望のところへ行くことが可能だから	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから、利用料金が手頃だから	—
	66.7%	33.3%	—
20代 (n=5)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから	希望のところへ行くことが可能だから	利用料金が手頃だから
	60.0%	40.0%	20.0%
30代 (n=8)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから	利用料金が手頃だから	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから
	62.5%	25.0%	12.5%
40代 (n=9)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから	家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから、希望のところへ行くことが可能だから、利用料金が手頃だから
	77.8%	55.6%	22.2%
50代 (n=26)	利用料金が手頃だから	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから	希望のところへ行くことが可能だから
	42.3%	38.5%	34.6%
60代 (n=44)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから	希望のところへ行くことが可能だから	家族等に自動車で送迎してもらうのが大変だから、自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから
	38.6%	36.4%	34.1%
70歳以上 (n=36)	利用料金が手頃だから	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから	希望のところへ行くことが可能だから
	66.7%	52.8%	50.0%

- 居住地区別によるデマンドタクシー利用の理由についてみると、多くの地区が「徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから」、「利用料金が手頃だから」、「希望のところへ行くことが可能だから」、「家族等に自動車で送迎してもらおうのが大変だから」を上位に挙げています。

図表 デマンドタクシー利用の理由について（居住地区別：上位3項目）

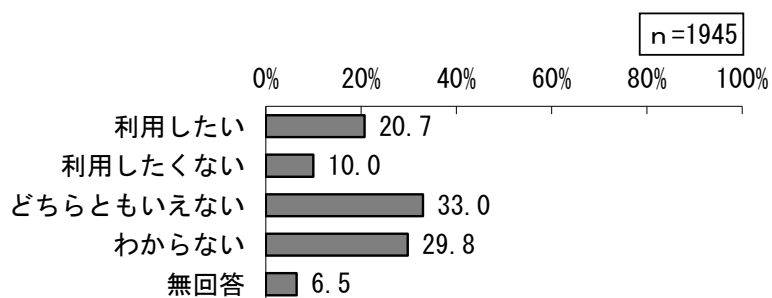
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=22)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、家族等に自動車で送迎してもらおうのが大変だから	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから、利用料金が手頃だから	希望のところへ行くことが可能だから
	40.9%	27.3%	18.2%
東船岡小学校区 (n=22)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから	家族等に自動車で送迎してもらおうのが大変だから	利用料金が手頃だから
	63.6%	50.0%	45.5%
槻木小学校区 (n=36)	希望のところへ行くことが可能だから、利用料金が手頃だから	家族等に自動車で送迎してもらおうのが大変だから、自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから
	44.4%	36.1%	33.3%
柴田小学校区 (n=14)	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから、希望のところへ行くことが可能だから	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、利用料金が手頃だから	家族等に自動車で送迎してもらおうのが大変だから
	42.9%	35.7%	28.6%
船迫小学校区 (n=28)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから	家族等に自動車で送迎してもらおうのが大変だから	希望のところへ行くことが可能だから、利用料金が手頃だから
	67.9%	35.7%	32.1%
西住小学校区 (n=7)	徒歩または自転車や自動車の運転をできない時があるから、希望のところへ行くことが可能だから、利用料金が手頃だから	自宅や自宅近くなど近隣から乗れるから、時間の融通が利くから、外出の機会が増えるから	—
	42.9%	14.3%	—

(8) 今後のデマンドタクシーの利用について

問 機会があればデマンドタクシーを(今後も)利用したいと思いますか。(1つに○)

- 今後のデマンドタクシーの利用については、「どちらともいえない」が33.0%と最も高く、「わからない」が29.8%、「利用したい」が20.7%と続きます。

図表 今後のデマンドタクシーの利用について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	利用したい	403	20.7%
2	利用したくない	194	10.0%
3	どちらともいえない	642	33.0%
4	わからない	580	29.8%
	無回答	126	6.5%

- 性別による今後のデマンドタクシー利用についてみると、男女とも回答全体と同様に「どちらともいえない」が最も高くなっています。
- 年齢別による今後のデマンドタクシー利用についてみると、10代～40代は「わからない」、50代以上は「どちらともいえない」が最も高くなっています。

図表 今後のデマンドタクシー利用について（性別・年齢別）

	利用したい	利用したくない	どちらともいえない	わからない	無回答
男性 (n=857)	18.0%	10.0%	33.6%	32.8%	5.6%
女性 (n=1,035)	23.1%	9.7%	32.8%	27.7%	6.8%
10代 (n=37)	10.8%	8.1%	32.4%	48.6%	0.0%
20代 (n=147)	13.6%	15.0%	26.5%	40.8%	4.1%
30代 (n=277)	13.0%	13.7%	33.6%	37.5%	2.2%
40代 (n=325)	14.2%	12.3%	31.1%	37.8%	4.6%
50代 (n=312)	24.7%	9.6%	34.6%	26.0%	5.1%
60代 (n=387)	21.2%	8.3%	36.2%	26.9%	7.5%
70歳以上 (n=428)	30.6%	6.1%	32.2%	20.3%	10.7%

- 居住地区別による今後のデマンドタクシー利用についてみると、柴田小学校区は「わからない」、そのほかの地区は「どちらともいえない」が最も高くなっています。

図表 今後のデマンドタクシー利用について（居住地区別）

	利用したい	利用したくない	どちらともいえない	わからない	無回答
船岡小学校区 (n=520)	18.7%	12.7%	34.8%	28.8%	5.0%
東船岡小学校区 (n=292)	22.3%	8.2%	33.6%	30.1%	5.8%
槻木小学校区 (n=477)	21.6%	8.8%	32.9%	31.9%	4.8%
柴田小学校区 (n=93)	24.7%	6.5%	21.5%	36.6%	10.8%
船迫小学校区 (n=407)	22.1%	9.8%	31.7%	29.0%	7.4%
西住小学校区 (n=96)	13.5%	11.5%	38.5%	30.2%	6.3%

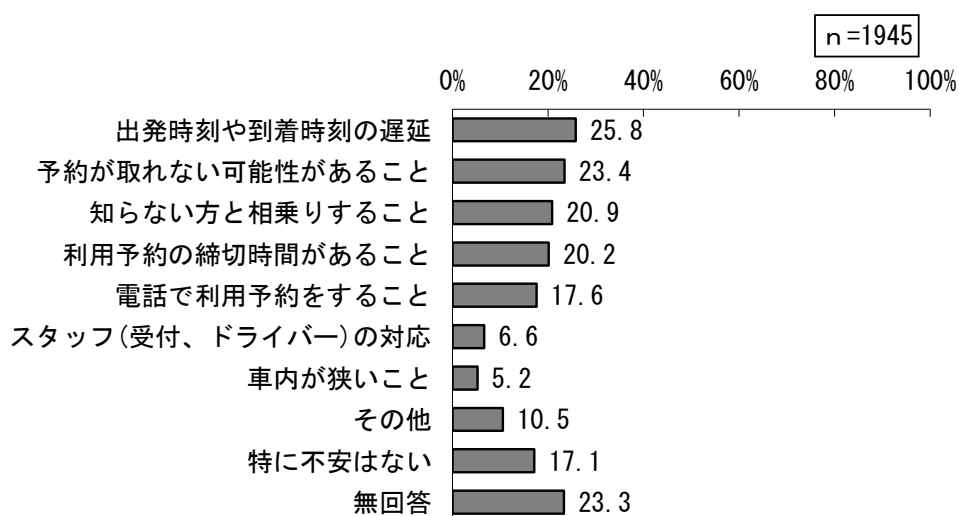
(9) デマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについて

問 デマンドタクシーを利用する際に困ること、不安なことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- デマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについては、「出発時刻や到着時刻の遅延」が 25.8%と最も高く、「予約が取れない可能性があること」が 23.4%、「知らない方と相乗りすること」が 20.9%と続きます。

図表 デマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについて

(※下記グラフは降順です)



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	出発時刻や到着時刻の遅延	502	25.8%
2	知らない方と相乗りすること	406	20.9%
3	電話で利用予約をすること	342	17.6%
4	利用予約の締切時間があること	392	20.2%
5	予約が取れない可能性があること	456	23.4%
6	車内が狭いこと	102	5.2%
7	特に不安はない	333	17.1%
8	スタッフ(受付、ドライバー)の対応	129	6.6%
9	その他	205	10.5%
	無回答	454	23.3%

- 性別によるデマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについてみると、男女とも回答全体と同様に「出発時刻や到着時刻の遅延」が最も高くなっています。
- 年齢別によるデマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについてみると、多くの年代が「出発時刻や到着時刻の遅延」、「予約が取れない可能性があること」、「知らない方と相乗りすること」を上位に挙げています。
- そのほか 10代は「電話で利用予約をすること」、50代以上は「利用予約の締切時間があること」を上位に挙げています。

図表 デマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること	知らない方と相乗りすること
	22.3%	20.2%	18.9%
女性 (n=1,035)	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること	利用予約の締切時間があること
	29.1%	26.4%	22.9%
10代 (n=37)	出発時刻や到着時刻の遅延 知らない方と相乗りすること	電話で利用予約をすること	予約が取れない可能性があること
	16.2%	13.5%	10.8%
20代 (n=147)	知らない方と相乗りすること	予約が取れない可能性があること	出発時刻や到着時刻の遅延
	23.1%	17.7%	17.0%
30代 (n=277)	知らない方と相乗りすること	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること
	27.8%	22.7%	21.7%
40代 (n=325)	知らない方と相乗りすること	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること
	30.8%	27.4%	23.1%
50代 (n=312)	予約が取れない可能性があること	利用予約の締切時間があること	出発時刻や到着時刻の遅延 知らない方と相乗りすること
	29.8%	24.7%	24.0%
60代 (n=387)	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること	利用予約の締切時間があること
	32.6%	24.3%	22.5%
70歳以上 (n=428)	出発時刻や到着時刻の遅延	利用予約の締切時間があること	予約が取れない可能性があること
	26.4%	23.1%	22.9%

- 居住地区別によるデマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについてみると、多くの地区が「出発時刻や到着時刻の遅延」、「予約が取れない可能性があること」、「知らない方と相乗りすること」を上位に挙げています。
- そのほか東船岡小学校区、柴田小学校区、船迫小学校区、西住小学校区は「利用予約の締切時間があること」を上位に挙げています。

図表 デマンドタクシー利用の際に困ること・不安なことについて（居住地区別：上位3項目）

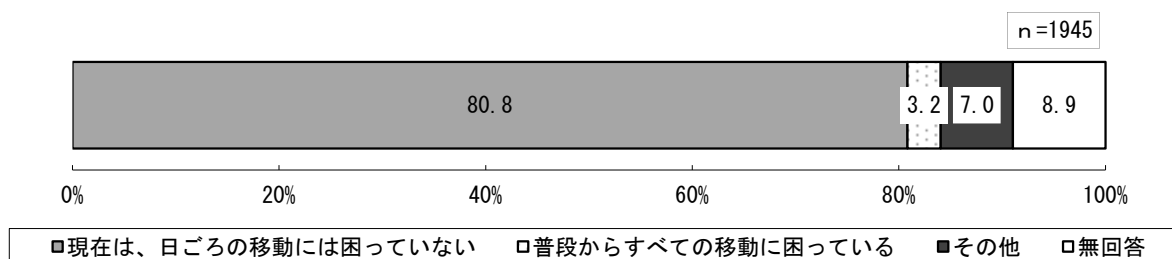
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること	知らない方と相乗りすること
	25.0%	21.7%	20.6%
東船岡小学校区 (n=292)	出発時刻や到着時刻の遅延 知らない方と相乗りすること	利用予約の締切時間があること	知らない方と相乗りすること
	27.1%	20.5%	19.5%
槻木小学校区 (n=477)	出発時刻や到着時刻の遅延	予約が取れない可能性があること	知らない方と相乗りすること
	27.3%	26.8%	22.6%
柴田小学校区 (n=93)	出発時刻や到着時刻の遅延	知らない方と相乗りすること	利用予約の締切時間があること
	29.0%	24.7%	22.6%
船迫小学校区 (n=407)	出発時刻や到着時刻の遅延	利用予約の締切時間があること	予約が取れない可能性があること
	26.0%	23.1%	22.1%
西住小学校区 (n=96)	出発時刻や到着時刻の遅延	利用予約の締切時間があること	知らない方と相乗りすること
	20.8%	17.7%	16.7%

(10) 日ごろの移動手段について

問 あなたご自身の日ごろの移動手段に関するご意見をお聞かせください。
(1つに○ 自由記述含む)

- 日ごろの移動手段については、「現在は、日ごろの移動には困っていない」が 80.8%と最も高くなっています。

図表 日ごろの移動手段について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	現在は、日ごろの移動には困っていない	1,572	80.8%
2	普段からすべての移動に困っている	63	3.2%
3	その他	136	7.0%
	無回答	174	8.9%

- 性別による日ごろの移動手段についてみると、男女とも回答全体と同様に「現在は、日ごろの移動には困っていない」が最も高くなっています。
- 年齢別による日ごろの移動手段についてみると、各年代とも「現在は、日ごろの移動には困っていない」が最も高くなっています。

図表 日ごろの移動手段について（性別・年齢別）

	困っていない	困っている	その他	無回答
男性 (n=857)	84.6%	1.9%	5.5%	8.1%
女性 (n=1,035)	78.5%	4.3%	8.3%	8.9%
10代 (n=37)	73.0%	16.2%	5.4%	5.4%
20代 (n=147)	81.0%	7.5%	4.8%	6.8%
30代 (n=277)	84.8%	4.0%	4.3%	6.9%
40代 (n=325)	86.8%	3.4%	3.1%	6.8%
50代 (n=312)	84.0%	1.6%	6.7%	7.7%
60代 (n=387)	85.8%	1.3%	6.2%	6.7%
70歳以上 (n=428)	69.4%	3.0%	13.3%	14.3%

- 居住地区別による日ごろの移動手段についてみると、各地区ともに「現在は、日ごろの移動には困っていない」が最も高くなっています。

図表 日ごろの移動手段について（居住地区別）

	困っていない	困っている	その他	無回答
船岡小学校区（n=520）	82.1%	4.2%	6.2%	7.5%
東船岡小学校区（n=292）	83.6%	2.1%	6.8%	7.5%
槻木小学校区（n=477）	79.7%	3.1%	7.5%	9.6%
柴田小学校区（n=93）	82.8%	3.2%	6.5%	7.5%
船迫小学校区（n=407）	82.1%	3.2%	7.4%	7.4%
西住小学校区（n=96）	82.3%	2.1%	6.3%	9.4%

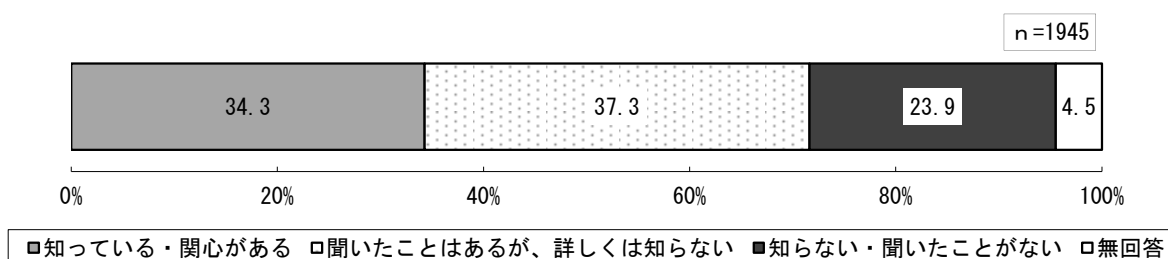
5 SDGs（持続可能な開発目標）について

(1) SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について

問 あなたはSDGs(持続可能な開発目標)についてご存じですか。(1つに○)

- SDGs(持続可能な開発目標)の認知度については、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が37.3%と最も高く、「知っている・関心がある」が34.3%、「知らない・聞いたことがない」が23.9%と続きます。
- 「知っている・関心がある」(34.3%)、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(37.3%)を合わせた7割強(71.6%)の方はSDGs(持続可能な開発目標)について“知っている”^{*}と回答しています。

図表 SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	知っている・関心がある	667	34.3%
2	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	726	37.3%
3	知らない・聞いたことがない	465	23.9%
	無回答	87	4.5%

^{*}“知っている”：「知っている・関心がある」、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方

- 性別によるSDGs(持続可能な開発目標)の認知度についてみると、男性は「知っている・関心がある」(38.9%)、女性は回答全体と同様に「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(38.6%)が最も高くなっています。
- 年齢別によるSDGs(持続可能な開発目標)の認知度についてみると、10代、20代、40代は「知っている・関心がある」、そのほかの年代は「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が最も高くなっています。

図表 SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について（性別・年齢別）

	“知っている”		知らない・聞いた ことがない	無回答
	知っている・関心 がある	聞いたことはあるが、 詳しくは知らない		
男性（n=857）	38.9%	36.9%	21.4%	2.9%
女性（n=1,035）	30.9%	38.6%	25.5%	5.0%
10代（n=37）	45.9%	21.6%	32.4%	0.0%
20代（n=147）	44.2%	27.2%	25.2%	3.4%
30代（n=277）	38.6%	40.4%	18.8%	2.2%
40代（n=325）	43.1%	36.3%	17.5%	3.1%
50代（n=312）	35.9%	39.1%	22.4%	2.6%
60代（n=387）	33.9%	39.0%	23.8%	3.4%
70歳以上（n=428）	20.6%	39.5%	31.5%	8.4%

※“知っている”：「知っている・関心がある」、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方

○居住地区別によるSDGs（持続可能な開発目標）の認知度についてみると、槻木小学校校区は「知っている・関心がある」、そのほかの地区は「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が最も高くなっています。

図表 SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について（居住地区別）

	“知っている”		知らない・聞いた ことがない	無回答
	知っている・関心 がある	聞いたことはあるが、 詳しくは知らない		
船岡小学校校区（n=520）	36.9%	38.5%	21.2%	3.5%
東船岡小学校校区（n=292）	25.7%	45.2%	26.4%	2.7%
槻木小学校校区（n=477）	38.4%	35.4%	21.0%	5.2%
柴田小学校校区（n=93）	34.4%	36.6%	26.9%	2.2%
船迫小学校校区（n=407）	35.1%	35.4%	25.1%	4.4%
西住小学校校区（n=96）	33.3%	35.4%	28.1%	3.1%

※“知っている”：「知っている・関心がある」、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した方

(2) SDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについて

問 SDGsの「17のゴール」のうち、あなたが関心のあるもの(気になるもの)はありますか。(3つまで○)

- SDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについては、「すべての人に健康と福祉を【保健】」が37.0%と最も高く、「貧困をなくそう【貧困】」が30.0%、「住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】」が26.0%と続きます。

図表 SDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについて

(※下記グラフは降順です)



(n=1,945)

		回答数	構成比
1	貧困をなくそう 【貧困】	583	30.0%
2	飢餓をゼロに 【飢餓】	288	14.8%
3	すべての人に健康と福祉を 【保健】	720	37.0%
4	質の高い教育をみんなに 【教育】	297	15.3%
5	ジェンダー（社会的・文化的につくられる性別）平等を実践しよう 【ジェンダー】	144	7.4%
6	安全な水とトイレを世界中に 【水・衛生】	383	19.7%
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに 【エネルギー】	300	15.4%
8	働きがいも経済成長も 【経済成長と雇用】	329	16.9%
9	産業と技術革新の基盤をつくろう 【インフラ、産業化、イノベーション】	100	5.1%
10	人や国の不平等をなくそう 【不平等】	265	13.6%
11	住み続けられるまちづくりを 【持続可能な都市】	506	26.0%
12	つくる責任つかう責任 【持続可能な消費と生産】	205	10.5%
13	気候変動に具体的な対策を 【気候変動】	474	24.4%
14	海の豊かさを守ろう 【海洋資源保全】	139	7.1%
15	陸の豊かさも守ろう 【陸上資源保全】	72	3.7%
16	平和と公正をすべての人に 【平和と公正】	308	15.8%
17	パートナーシップで目標を達成しよう 【目標達成の実施手段】	24	1.2%
18	特に関心のあるもの（気になるもの）はない	70	3.6%
	無回答	89	4.6%

- 性別によるSDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについてみると、男女とも回答全体と同様に「すべての人に健康と福祉を【保健】」が最も高くなっています。
- 年齢別によるSDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについてみると、多くの年代が「すべての人に健康と福祉を【保健】」、「貧困をなくそう【貧困】」、「住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】」、「気候変動に具体的な対策を【気候変動】」を上位に挙げています。

図表 SDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=857)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	36.9%	28.0%	25.6%
女性 (n=1,035)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	37.6%	31.6%	26.5%
10代 (n=37)	貧困をなくそう【貧困】	すべての人に健康と福祉を【保健】、 住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】
	29.7%	24.3%	21.6%
20代 (n=147)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	質の高い教育をみんなに【教育】
	38.8%	34.7%	22.4%
30代 (n=277)	すべての人に健康と福祉を【保健】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】	貧困をなくそう【貧困】
	32.9%	28.2%	24.9%
40代 (n=325)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】
	35.7%	27.4%	21.8%
50代 (n=312)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】
	34.6%	34.3%	24.4%
60代 (n=387)	すべての人に健康と福祉を【保健】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】	貧困をなくそう【貧困】
	38.5%	31.8%	30.0%
70歳以上 (n=428)	すべての人に健康と福祉を【保健】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】	貧困をなくそう【貧困】、 住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	43.0%	31.1%	29.7%

- 居住地区別によるSDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについてみると、多くの地区が「すべての人に健康と福祉を【保健】」、「貧困をなくそう【貧困】」、「住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】」、「気候変動に具体的な対策を【気候変動】」を上位に挙げています。

図表 SDGsの「17のゴール」のうち関心のあるものについて（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=520)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】
	38.5%	28.3%	25.8%
東船岡小学校区 (n=292)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	34.2%	31.2%	27.4%
槻木小学校区 (n=477)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	40.0%	30.6%	25.8%
柴田小学校区 (n=93)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	40.9%	37.6%	31.2%
船迫小学校区 (n=407)	すべての人に健康と福祉を【保健】	貧困をなくそう【貧困】	住み続けられるまちづくりを【持続可能な都市】
	33.9%	29.0%	28.3%
西住小学校区 (n=96)	すべての人に健康と福祉を【保健】	気候変動に具体的な対策を【気候変動】	貧困をなくそう【貧困】
	42.7%	30.2%	24.0%

第6次総合計画後期基本計画策定に係る
まちづくりアンケート調査報告書

令和4年3月

発行 宮城県 柴田町

編集 まちづくり政策課

〒989-1692 宮城県柴田郡柴田町船岡中央2丁目3-45

電話: 0224-54-2111

FAX: 0224-55-4172

町ホームページ: <http://www.town.shibata.miyagi.jp>
